

第六十九回帝國議會
衆議院

米穀自治管理法案外二件委員會會議錄(速)第二回

付託議案

米穀自治管理法案(政府提出)
米穀統制法中改正法律案(政府提出)
米穀共同貯藏助成法案(政府提出)

會議

昭和十一年五月十二日(火曜日)午前九時十分分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事松村 謙三君 理事川崎末五郎君

理事佐藤謙之輔君 理事角 源泉君

理事石坂 養平君 理事三善 信房君

高橋 守平君 岡田 春夫君

澤田 利吉君 中村 梅吉君

池本甚四郎君 長井 源君

岡田喜久治君 服部 崎市君

山森 利一君 渡邊 鍊藏君

木村 淺七君 喜多壯一郎君

胎中楠右衛門君 中田 儀直君

國光 五郎君 牧野 良三君

田村 實君 小笠原八十美君

沖 藏君 上田 孝吉君

立川 太郎君 平野 力三君

北 勝太郎君 森 肇君

永山 忠則君 三宅 正一君

富吉 榮二君 野中 徹也君

内藤 正剛君

同日委員岡田春夫君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ内藤正剛君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

拓務大臣 永田秀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 田邊 七六君

農林參與官 小林 絹治君

農林省米穀局長 荷見 安君

農林書記官 周東 英雄君

農林書記官 三浦 一雄君

拓務政務次官男爵 稻田 昌植君

拓務參與官 林 路一君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀自治管理法案(政府提出)

米穀統制法中改正法律案(政府提出)

米穀共同貯藏助成法案(政府提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス、前ニ理事會ノ理事ノ諸君ガ御集マリニ

ナツタ時分ニ、大體一人一時間見當ト云フコ

トデ、各委員、各特別委員等モサウ云フ風

ナ申合フヤツテ、ソレヲ嚴格ニ實行致シテ居

ル、即チ豫算委員等モ其通りニヤツテ居ル

ノデアリマシテ、本會モ其方針デ理事ノ諸

君ガ打合セヲ致シタノデアリマシタガ、併

シ此委員會ハ非常ニ前後ヲ爭フト云フヤウ

ナ風ナコトデ發言ノ要求モアリマセズ、又

所論ヲ盡ス上ニ於テ成ベク其人ガ何カ盡シ

タイト云フヤウナ意見ヲ持ッテ居ル場合ニ

ハ、成ベク滑ラカニ其意見ヲ盡シタ方ガ

議事ノ進行上宜イト考ヘマシテ、本日更ニ

渡邊君ニ發言ヲ許シマス

○渡邊委員 昨日ハ最後ニ本年度ノ過剩米

ガ實際ニアルカナイカ、サウ澤山ナササウ

ニ思フガト云フコトヲ申上ゲタニ對シテ、

ヤハリ需給計算ヲヤツテ見レバ、ソコニ出デ

來ルヤウニ思フカラ、統制ノ必要ガアルヤウ

ニ思フ、サウ云フ趣旨ノ御答辯ノヤウデア

リマス、其程度デ私ノ質問ガ終ッテ居ッタカ

ト思ヒマス、ソコデ少シ本案ノ内容ニ入ッテ

御聽キシタ方ガ話ガ早ク進ムト思ヒマスカ

ラ、サウ致シタイト考ヘマス、本案ノ第四

十一條ニ米穀需給推算ヲ行フ其方法ハ勅令

デ之ヲ定メルト云フコトガ第二項ニ出デ居

リマスルガ、其方法ノ概略ヲヤハリ此席デ

伺ッテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○島田國務大臣 是ハ十一月一日現在ノ米

ノ在高、ソレカラ理想的ノ持越米ノ額、サ

ウシテ米穀年度ニ於ケル……

○渡邊委員 斯ウ云フ法文ノ少シ小サイヤ

ウナ所ニ入りマシタラ、政府委員カラ御答

願ッテ宜シウゴザイマスカラ……

○島田國務大臣 ソレデハ政府委員カラ……

○荷見政府委員 只今ノ御尋ノコトハ、大

體此米穀政策ノ運用上毎年十一月カラ翌年

ノ十月末マデデラ一ツノ米穀年度ト致シマシ

テ政策ノ方針ヲ立テ、居ルノデアリマスル

ノデ、ソレニ對應致シマシテ大體ニ於キマ

シテ只今大臣カラ御話申上ゲマシタヤウナ

米穀ノ收穫豫想高、ソレカラ十一月一日ノ

米穀現在高ト云フモノヲ供給ノ方ニ立デマ

シテ、ソレカラ過去ノ消費狀況ヲ參酌致シ

マシタ消費見込高、ソレカラ理想持越高ト

云フヤウナモノヲ需要ノ側ノ方ニ持ッテ參

リマシテ、ソレデ需要ト供給ヲ比ベマシテ

推算致スノデアリマスガ、ソコデ需要ノ方

ガ少クテ供給ガ過剩デアルト云フヤウナ場

合ニハ其分ガ過剰ノ分量ニナル譯ニナリマス

○渡邊委員 大體需給計算ノ方法ヲ承リマシタガ、此殘存米ノ十一月一日ノ現在高ノ豫想ト申スモノモ、在來ノ經驗ニ依リマスルト、推算ト實際トガ非常ニ違フヤウナコトガアリマシテ、三百萬石或ハ八百萬石モ相違ノアツタ時ガアルヤウニ思フノデアリマス、結局供給側ノ收穫豫想ノ計算ノ完全ニ出來ナイト云フコト、殊ニスウ云フ法規ヲ實施スル場合ニハ或ハ故意ニ此報告ガ變テ來ル虞モ含マレテ來ハシナイカト思ヒマスガ、要スルニ供給側ノ方ニモ不完全ナ點ガアルト思ヒマス、又實ハ將來ノ消費ト云フモノハ價格ノ變動ニ依ッテドン／＼變テ來ルモノデアリマス、然ルニソレヲ眼中ニ置カズシテ、十一月一日ノ消費ノ狀況ヲ豫想シテ過剰米ヲ計算スルト云フノハ理論上カラモ合ハナイヤウニ思フノデアリマスルカラ、サウ云フ點ニ付テ需給計算ヲ机ノ上デシテ、過剰米ヲ推算スル、サウシテ統制ヲスルト云フコトニドレダケノ自信ヲ持ッテオ居デニナリマスルカ

○島田國務大臣 需給ノ推算ノ仕方ニ付テハ、只今政府委員ヨリ申上ゲタ通りデアリマスガ、之ニ對スル渡邊君ノ只今ノ御意見

ニ付テ一言致シテ置キマス、是ハ生産費ノ場合ニ申上ゲタト同ジヤウナ意味デ、將來ノ事柄ヲ考ヘテ需給ノ推算ヲスルト云フコトハ、外レルコトモアル、必シモ當ルトハ言ヘナイト云フ御議論ハ正シイト思ヒマス、併ナガラ此米ニ關スル事柄ニ限ラズ、生活必需品等ノ需要供給ノ事柄ニ付テハ、俗ニ言フ腰ダメト言ヒマスガ、玄人ノ意見ト言ヒマスガ、之ニ關係シテ居ル人々ハ皆各種々ナ立場カラ見當ヲ付ケテ居ルモノデアリマス、昔カラ豊凶ノ差ハアリマシテモ、大體消費高ハ——今日デハ無論多少違ッテ居リマスガ、古來一人一年一石ト云フコトヲ言ッテ居ル、是ハ永イ間ノ經驗デサウ云フコトガ出テ居ルノデアリマシテ、只今合理的ニ之ヲ考ヘテ推算ヲスルト云フ場合ニハ、既ニ申上ゲタヤウナ標準ヲ以テヤル譯デアリマスケレドモ、ソレガ的確ニ將來ニ當嵌ルト云フコトハ、ソレハ其年ノ豊凶等ガアリマシテ中々斷言出來難イコトデアアルガ、大體左様ニシテ進ムコトガ先ヅヤリ方トシテハ適當デアラウト考ヘテ居ル、サウ云フ意味ニ御了解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、隨テ此法律ニハ第二次ノ統制ヲヤル場合ヲ想像シテ規定シテ居ルト云フ點ニ付テ御考下サレバ御了解ヲ得ラレルデアラ

ウト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 是ハ今ノ御答辯ノ如ク正確ヲ期スルコトハ到底出來マセヌ、尙ホ供給ノ方モ御承知ノ如ク今日ノ實情トシテハ十一月一日ニ計算ヲナサレマスガ、是ハ寧ロ十二月頃ニナッテ追々市場ニ現レル、或ハ臺灣米ノ如キハ年ニ二期出ルトカ、或ハ非常ニバラ／＼ニ各地方カラ米ガ入ルヤウニナッテ、餘程從來ト供給ノ狀況モ違フト思ヒマスカラ、其關係カラ一定ノ時期ニ計算スルノデハ正確ヲ期シ得ナイト思フ、ソコデ過剰米ノ推算ヲスルコトハ大膽ノヤウニ思ヒマスガ、今御説明ノヤウニ第二次ノ統制ヲヤルト云フコトデアアルガ、是等ノ點ハ他ノ委員カラ詳シク御尋ガアラウカト思フノデ此程度ニ止メテ置キマス

○渡邊委員 サウスルト本年度末數百萬石ノ過剰米アリト決定サレタ場合ニ、米價ハ今日三十二三圓デアリマスガ、今年末ニナッテ高クナリ、下ルヤウナコトモナイヤウニ考ヘラレマスガ、假ニ下ッテ三十圓或ハ二十八圓ト云フヤウナ相當高イ米價デモ貯藏ヲ命ゼラレルノデアリマスガ

○荷見政府委員 ソレハ大體此統制ヲ命ジマシタ米價ガ値上リシテ最低標準價格カラ一割程度ニ上レバ解除スルト云フ立前ニナッテ居リマスノデ、ソレヨリ高イヤウナ場合ニハ統制ヲ命ズルト云フコトト解除ヲスルト云フコトガカチ合フト思ヒマスカラ、是ハ統制セシムル必要ガナクナルト思ヒマス

○渡邊委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ハ大臣ノ御答ト違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、大臣ハ兎ニ角數量的ニ過剰ト云フコトガアレバ貯藏ヲ命ズル、統制ヲ命ズルト云フ御話デアリマシタガ、今ノ政府委員ノ御答辯デハ、最低價格ノ一割上、其範圍内ノ時ニハ貯藏ヲ命ズルガ、ソレ以上ノ時ニハ統制ヲシナイト云フ風ナ御答辯ニナッテ居ルノデアリマシテ、其間ニ非常ナ齟齬ガアルト思フノデアリマスガ、吾々ハ多少知ッテ居リマス、此最低價格ノ一割上ノ範圍内ノ所ニ米價ガ

○島田國務大臣 ソレハ其通りニスルノデアリマス、又シナケレバナラスト思ヒマス

アル場合ニ統制スルト云フコト思ヒマス
ルガ、其根據ハ法文ノ何處ニ書イデアリマ
スカ

○島田國務大臣 只今政府委員ノ答辯ト私
ノ申上ゲタコト矛盾シテ居ルヤウナ御話
デアリマスガ、サウデハアリマセヌ、私ノ
答辯ト政府委員ノ答辯ヲ續ケテ御聽キ下サ
レバ矛盾ハナイ、質問者ガ量的ニ過剩ナル
場合ニハ統制スルカト云フ御話デアリマシ
タカラ、量的ノ關係カラ言ヘバ統制スル、
其次ノ御質問ガ價ノ場合ヲ以テ御話ニナリ
マシタカラ、其場合ニハ價ノ關係カラ統制
ノ必要ガナクナル場合ガアルト云フコトヲ
政府委員ガ補充シテ御答ヲシタヤウニ私ハ
聽取リマシタガ、若シサウ云フ風ニ切レ切
レニ御尋ネ下ステ矛盾ガアルト云フコト
ノ御指摘ニナルノデゴザイマス、甚ダ其
爲ニ困リマス、サウ云フコトハ私モコ、ノ
所ヲ詳シク研究シテ居ラスデモ、サウ云フ
ヤウナ矛盾ハ致ス筈ハナイ、是ハ御信用下
ステ宜カラウト思ヒマス

○渡邊委員 矛盾ト云フ言葉ハ少シ當ヲ得
ナカッタカモ知レマセヌガ、今ノ政府委員ノ
御答ニ依リマス、最低價格ノ一割以上ノ
價格、ソレ以内ノ時ガ統制ノ出動スル時ダ
ト云フコトニナルト承ッテ居リマスガ、ソレ

ハ法文ノ何處ニモ現レテ居ナイヤウデアリ
マス、ソレガ統制ノ絕對條件デアルトスレ
バ明白ニ法律ニソレガナケレバナラス、即
チ四十一條ノ、需給計算ヲ行ッテ過剩ガアレ
バ統制スル、其數量的ノ條件ト其價格ノ條
件、是ハ非常ナ大切ナコト思フノデアリ
マスガ、サウ云フコトガナケレバ全國ノ農
民ハドシナ場合ニ統制ヲ受ケルカト云フコ
トハ、全ク見當ガ付カヌ、左様ナコトガ明
白ニ定マデオ居デニナルナラバ、之ヲ法文
ニ御規定ニナッテハ如何デアリマスカ

○荷見政府委員 ソレハ第四十八條ノ規定
ニ「米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體
ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除ク
ノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米
穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ」ト
致シテアリマシテ、サウシテ其勅令ヲ以テ
米價ガ一定價格以上トナリマシタ場合ニ
ハ、貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルト云フコ
トヲ規定致スコトニナッテ居ルノデアリマ
ス、ソレデ經濟關係ノ法規デゴザイマスカ
ラ、其一割ト云フヤウナコトモ或ハ經濟事
情ノ模様ニ依リマシテ、之ヲ幾分動カスコ
トモ適當ナ場合ガアラウカト思フノデアリ
マシテ、サウ云フノハ差當テノ目標ト致シ
テハ考ヘテ居ラスカラ、勅令等ニ明確ニ此

法律ヲ施行スル時ニハ書ク積リデアリマス
ケレドモ、絕對的ニ長クソレヲ變更シナイ
ト云フコトヲ豫定スルコトモ如何カ、今デ
ハ變更スル豫定ハゴザイマセヌ、大體一割
程度デ宜イト思ヒマスガ、ソレハ勅令規定
ニ依ッテ明瞭ニ致シタイト思ヒマス

○渡邊委員 洵ニ意外ニ存ズルノデアリマ
スガ、米穀統制法ノ統制出動ハ勿論價格ダ
ケガ條件デナクテ、最低價格ニ依ッテ申込ガ
アレバ買フ、今度ノ法案ハ數量ヲ基礎ニシ
テ、新ニ法律デ需給推算ニ依ッテ統制スルコ
トニナッテ居ル、私共サウナッテ居ルト考ヘ
マス、所ガ今ノ日本ノ米ノ事情ヲ色々考ヘ
テ見マスルト、過剩米ガ今年ハ出ルト思ヒ
マス、出ルト出ナイハ是ハ水掛論デアリマス
ガ、是ハ出ルトシテ貯藏ヲ命ゼラレタ場合
ヲ考ヘ、價格ガ三十圓トスル——如何ニモ
是ハ價格ノ點ニ付テ何カ條件ガナイトオカ
シイト思ヒマス、然ルニ農林當局ガ出サレ
マシタ米穀自治管理案ノ要旨ニハ、解除
ノ場合ニハ一定ノ程度値上リシタ場合ニ貯
藏ヲ解除スルト言ッテ居ラレマスガ、各方面
デノ御説明ニ依ルト最低價格以上一割ニ
ナッタラ解除スルト云フコトデアリマス、然
ラバ斯ウ云フコトカラ間接ニ吾々ガ想像シ
テ、若シ統制サレタ米ガ倉庫ニ入ッテ、同時

ニ一割以上ノ値上ガアレバ解除サレルト云
フコトナラバ、數量的ニハ統制シナケレバ
ナラヌト云フ過剩米ガ指定サレテモ、最初
カラ最低價格以上ノ二割モ三割モ高イ價格
デアッタラ統制ヲシナイト云フコトハ、何カ
法律ノ規定ガナケレバナナイヤウニ私共
ハ感ズルノデアリマス、然ルニ解除ノ勅令
ニ若シ一割以上ノ値上ト云フコトヲ規定サ
レルナラバ、ソコガ詰リ解除ノ條件デア
ルト同時ニ、統制ヲ命ズル價格ノ標準ニナル、
斯ウ思フノデアリマス、實際サウ云フコト
デアレバ、ドウシテモ此法律ノ中ニドウ云
フ需給計算デ過剩米ガアッタ場合、其數量的
ノ條件ト、ソシテ價格ガ斯ウ云フ場合ニ貯
藏ヲ命ズルト云フ二ツノ規定ガ明白デナケ
レバ農民ハ勿論、政府デモ財政上ノ豫算モ
アリマセウシ、吾々トシテモドウ云フ程度
デ統制ガ發動スルカ見當ガ付カヌ、是ハ非
常ナ法文ノ不備ダト思ヒマス

○荷見政府委員 只今ノ御話ハ私共米穀問
題ニ關聯致シテ居リマス者ト致シマシテ
ハ、ドウモ實際上過剩數量ガアリマス、
而モ普通ノ豫想持越額トセラレテ居リマス
モノヲ差引イテモ、尙ホ米穀ガ過剩デア
ルト云フヤウナ場合ニ、米ガ非常ニ高クアル
ト云フコトハ想像セラレナイノデアリマシ

テ、其點カラ致シマス、大體第四十一條ノ規定ハ米穀ニ過剩ガアル場合ニハ統制セシムルコトヲ得トスルノガ、ソレガ常識ノヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ過剩米ガアツテ、米價ガ非常ニ高イト云フヤウナ變態ナ時ガアリマスレバ、是ハ御話ノヤウニ、ソレデモ貯藏スルノカト云フ御疑問ガ出ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハモウ既ニ貯藏サレタモノモ段々解除致シテ行クヤウナ時期ニ達シタノデアリマスカラ、ソレハ貯藏ヲ命ズルコトハシナイデ宜イ、斯様ニ考ヘルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、其解除ノコトハ勅令デチヤント明定致シテアリマスレバ、別ニ疑問ヲ生ズルコトハナイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 茲デ全ク需給推算、過剩米ノ机上ノ推定ト云フモノハ何等ノ意義ヲナサナイト云フコトガ明白ニ分ルノデアリマス、即チ此法文ヲ御説明ニナル時ニ御話ニナツタ最低價格以上一割ニナツタラ解除ヲ命ズル、即チ逆ニ四十一條ノ貯藏ヲ命ズルカラ言ヘバ、其價格以上ノ時ニハ貯藏ヲ命ゼナイト云フコトニナルノデアリマスガ、サウ云フ規定ヲ一割以上ト云フ風ニ説明シテオ居デニナリマシタケレドモ、場合ニ依レバ二割三割ト云フコトモ御考ニナッテ居

ルノデヤナイカト云フ風ニモ見エルノデアリマス、ソレハサウシナイト、過剩米ガアルト計算シテモ貯藏出來ナイト云フコトニナルカラ、ソコニ動搖ヲ感ジテオ居デニナルヤウナ風ニ感ズル、茲ガ即チ斯様ナ當ニナラス數量ヲ基礎トシテ計算ヲ爲サルカラ、サウ云フ風ニナッテ來ルト思フノデアリマシテ、寧ロ自然ノ價格ト云フモノガ過剩米ガアルカナイカヲ示シテ居ル、今日ノヤウニ三十二圓米ガスル時ニ、何處ニ過剩米ガアルカ、米ガ足りナクテ困ッテ居ル、價格ダケヲ維持シタイナラ、價格ト云フモノニ制限ヲ設ケラレ、便宜シイノデアリマス、標準ヲ置ケバ宜シイノデアリマシテ、ソレヲ併セテ規定ノ中ニ現ハス必要ガアル、其方ヲ曖昧ニシテ置イテ、數量ダケデ基準ヲ取ツテ需給計算ヲシテ統制スルト云フ規定ヲ設ケテオ居デニナルカラ、今年ノ暮ニナッテ、假ニ二百萬石ノ需給計算上統制シナケレバナラヌ米ガ出デモ、値段ガ三十圓ダト云フコトニナルト、價格ノ點カラ、サウ云フアナタ方ノヤウニ最低價格以上一割ト云フ規定ヲ拵ヘラレタラ、統制ガ出來ヌト云フ矛盾ガ出テ來ル、是ハ矛盾デナイノデアリマシテ、斯ウ云フ當ニナラス計算ヲシテ、勝手ニ机上デ過剩米ヲ出シテ統制ヲシヨウト

云フ自然ニ反シタコトヲヤラレルカラ、斯ウ云フ矛盾ガ暴露スルノデアリマス

○荷見政府委員 ドウモ御意見デゴザイマスカラ、私カラ御説明致ス筋合デハナイカモ知レマセヌガ、一應御返事ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウカト思ヒマス、當ニナラス机上ノ需給推算ト御話ニナリマスガ、此豫想收穫高ハ各市町村ニズツト分布サレマシタ調査委員ガ現實ニ有ニル手段ヲ以テ其作況ヲ調査致シマシタモノニ基イテノ豫想高デゴザイマシテ、是ハモウ久シイ間致シテ居ルノデアリマシテ、決シテ机上デハゴザイマセヌ、實際現場ニ付テノ調査ノ集計デゴザイマス、ソレカラ現在高ノ調査ニ致シマシテモ、是モ各倉庫其他ニ付テノ所在別ノ調査ヲ全國一萬數千ノ人ガ現實ニ致シマシタ、机上デヤナイ、現實ノ數字デゴザイマス、消費量ニ致シマシテモ、モウ無クナリマシタ數量ヲ——ズツト過去ニ消費致シマシタモノヲ推算致シテ居ルノデアリマスカラ、是モ全ク勝手ニ考ヘタ筋合デハナイノデアリマシテ、是等ヲ勝手ト申シマスレバ勝手ト云フノデアアルカモ知レマセヌケレドモ、私共カラ考ヘマス、是ハ實際ニ就テノ調査ヲ出來得ル限り取入レテアル問題ト考ヘテ居リマス、ソレカラ米穀ノ價格ガ過剩米

ガ無イニ拘ラズ非常ニ高クナルト云フヤウナコトハ、實際問題トシテ私共ハナイデアラウ、是ハ御意見デゴザイマスカラ、私ハ別ニ反對ヲ致ス譯デハゴザイマセヌガ、私共ノ考デハ、過剩米ガ市場ニダブツイテ居ル際ニ非常ニ米ガ高クナルコトハナイト思ヒマス、ソレカラ一割以上ニ上ツタ時ニハ解除スルト言フガ、數量ガ若シモ餘ッテ居ルト云フ見込ガ付キマスレバ、此價格ヲ二割モ三割モ高ク考ヘテ貯藏ヲ命ズルト云フヤウナコトガアルノデヤナイカト云フ御話デゴザイマスガ、サウ云フコトハ決シテゴザイマセヌ、只今ハ一割ト云フコトデ勅令ニ書キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、若シモ二割三割高張ッタト致シマス、是ハ吾々ガ出來ルダケ消費者ノ立場等モ考ヘテ調節セネバナラス、最高價格ヲ遙ニ突破スルヤウナコトニ若シモ御話ノヤウデアレバナルノデアリマスガ、斯様ナコトハ統制法ヲ根幹ト致シマシテ、此法律ガ補強ニナッテ居リマス云フコトハ大臣カラモ屢、申上ゲテアルコト、私ハ承知致シテ居ルノデゴザイマスカラ、サウ致シマス最高價格ノズツト上ニナッテモ統制スルト云フヤウナコトニナルノデアアルガ、サウ云フコトハ決シテ致ス筋合デモナシ、致ス積リモゴザイマセヌノデ、

ソコハドウゾ御安心ヲ願ヒタイト考ヘルノ
デアリマス、唯勅令ニ委任致シマシテ此法
律ニ書キマセナシタノハ、斯ウ云フ場合ノ
コトハ將來無キコトヲ豫想致シマスレバ、
寧ロ勅令ニ規定致シマシタ方適當デア
ルト思ヒマシテ、此解除ノ場合ヲ第四十八條
ノ一項ノ勅令ニ譲ツタ、斯様ナ譯デゴザイマ
スカラ、ソコハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

案ノ發動スルヤ否ヤヲ定メル條件デアリマ
スカラ、法律ニ定メルノガ當然ト思ヒマス
ガ、是ハ意見デアリマスカラサウ云フコト
ヲ希望のニ申シテ置クノデアリマス、尙ホ
事實上トシテハ若シ斯様ナ自治管理法案ノ
出動條件ニナルトスレバ、今日ノ米穀事情
ヲ見マスレバ、私共ハ此法律ガ制定サレマ
シテモ、來タルベキ最近ノ一年ノ間ニハ自
治管理法案ヲ用ユベキ事態ハ生ジナイモノ
ト思ヒマスガ、其點ニ付テノ御觀察ハ如何
デアリマスカ

ルノデアリマスガ、豐作ノ場合、豐作デナ
クトモ平年作若クハ少シクソレヨリモ良イ
ト云フヤウナ作柄デアリマス、直チニ本
法律ノ發動ヲ必要トスルノデアリマス、ソ
コニ或ハ反對ノ立場ト之ヲ主張スル立場ト
ノ間ノ相違ガアルカモ知レヌト思ヒマス
ガ、此點ハドウモ見込ノコトデアリマスカ
ラ此處デ論議ヲ申上ゲテモ結局水掛論
ニ終ルノ外ハナイ、デ政府トシテハ非難ガ
アツデモ、サウ云フヤウナ場合ヲ考ヘテ、用
心ノ爲カラ言ッデモヤッデ置カナケレバナラ
スト云フノガ、提案ノ趣旨デアルト云フコ
トニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

居ラレルグラウト思フノデアリマス、ソレ
ハ私ノ觀察ガ間違ッテ居ルカモ知レヌガ、併
シ頻々トシテ農民方面カラ之ヲ制定シテ吳
レナイト農村ノ危急ガ救ヘナイトカ云フ風
ナコトヲ言ッデ參ラレルヤウデアリマス、併
シ此法案ノ成否ハ農村ノ利害ニハサウ大シ
タ關係ノアルモノデハナイノデアリマシ
テ、寧ロ此適用ノ方法如何ニ依ッデハ、農民
ニ非常ナ迷惑ト混亂トヲ與ヘ、或ハ刑罰ヲ
科セラレルヤウナ虞モアルシ、其ノ點カラ
餘程慎重ニ農民ノ爲ニハ研究スル必要モア
ルト思ヒマス、ソレ等ノ觀點カラ二、三ノ
點ヲ御尋シタイ、四十六條ト七條ニ依ッテ
寄託貯藏ヲ命ゼラルノデアリマスガ、サ
ウスルト農民ハ之ニ依ッテ割當テラレタ
數量ノ米ヲ自ラ處分シ得ナイト云フ不都
合ヲ感ズル、之ニ對シテ始終印刷物等デ
當局ノ御説明等モアリマスガ、此機會ニ、
所有者ノ意思ニ反シテ其米穀ノ貯藏ヲ命
ズル、之ニ對シテドウ云フ御取扱ガアリ
マスカソレヲ承リタイ

○荷見政府委員 一寸御言葉ノコトデゴザ
イマスガ、統制法デナク自治管理法デゴザ
イマスネ

○島田國務大臣 是ハ渡邊君ノ御見込ト政
府トシテ考ヘテ居ル事柄トノ間ニ、見込ノ
點ニ付テノ意見ノ相違ト申シマスルカ、或
ハ質問ノ立場ニ居ル人ト御答フスル立場ニ
居ル者トノ立場ノ相違ト申シマスガ、討論
的ニ意見ノ交換ヲスルコトハ避ケマスガ、
只今ノヤウナ事情デアレバ本年アタリ之ヲ
制定シテモ發動ノ機會ハ無イデハナイカト
云フコトハ、本案ニ反對ヲセラル、方々ノ
方カラ能ク聞クコトデアリマスケレドモ、
尙ホ雪害等ガアリマシテモ米ハ是カラ出來
ルノデアアル、今年ノ豐凶ニ付テハ何人モ餘
斷ノ出來ナイコトデアアル、凶作ニ對シテノ
場合ハ是ハ不幸ノコトデアリマスケレド
モ、從來ノ經驗ニ依ッテ相當ノ處置ガ出來

○渡邊委員 此問題ハソレダケニシテ置キ
マス、ソレカラ次ニ此法律案ハ大體過剩米
ヲ統制スル、ソレハ米穀統制法ト同ジヤウ
ナ目的デアリマス、他ノ一ツハ財政上ノ負
擔ヲ輕減スルト云フコト、第三ニハ外地米
ノ統制ト、此三ツノ目的ガアルノダラウト
思ヒマス、所ガ一般今マデノ米穀法ハ總テ
大體生産、消費ノ間ノ價格調節ヲ圖ルト言
ヒ條、其内心ハ政治的ニハ米價ノ引上ニア
タヤウニ存ズルノデアリマス、此法律ハ必
シモサウデハナイト思フノデアリマシテ、
寧ロ財政上ノ負擔ヲ輕減シタイト云フコト
ト、外地米統制ト云フコトニ主眼ヲ置イテ

○荷見政府委員 只今ノ御質問ハ、四十六
條ノ規定ニ依ッテ貯藏スルモノニ對スル政
府ノ施設ハ如何デアアルカト云フコトデスカ
——ソレデハ一寸御説明ヲ加ヘマスガ、此
米穀ノ自治的管理ヲ行フコトト致シマシタ

○渡邊委員 四十八條第一項ノ勅令ニ定ム
ル場合、是ノ内容ハ最低價格以上一割、
斯ウナルト云フコトヲ只今言明サレタヤウ
デアリマスカラ、サウ私ハ信ジタイト思ヒ
マス、是ハ速記録ニ殘ルコトデアリマス、
サウシテ同時ニ此價格以上ニ米價ガ上ル場
合ニハ假令需給計算上過剩米ノ數字ガ出テ
參ッデモ、其場合ニハ統制法ハ出動シナイモ
ノダ、統制法ニ依ッテ貯藏ヲ命ズルコトハ
シナイ、斯様ニ承知致シテ宜イ譯デアリマ
ス

○渡邊委員 四十八條第一項ノ勅令ニ定ム
ル場合、是ノ内容ハ最低價格以上一割、
斯ウナルト云フコトヲ只今言明サレタヤウ
デアリマスカラ、サウ私ハ信ジタイト思ヒ
マス、是ハ速記録ニ殘ルコトデアリマス、
サウシテ同時ニ此價格以上ニ米價ガ上ル場
合ニハ假令需給計算上過剩米ノ數字ガ出テ
參ッデモ、其場合ニハ統制法ハ出動シナイモ
ノダ、統制法ニ依ッテ貯藏ヲ命ズルコトハ
シナイ、斯様ニ承知致シテ宜イ譯デアリマ
ス

○渡邊委員 四十八條第一項ノ勅令ニ定ム
ル場合、是ノ内容ハ最低價格以上一割、
斯ウナルト云フコトヲ只今言明サレタヤウ
デアリマスカラ、サウ私ハ信ジタイト思ヒ
マス、是ハ速記録ニ殘ルコトデアリマス、
サウシテ同時ニ此價格以上ニ米價ガ上ル場
合ニハ假令需給計算上過剩米ノ數字ガ出テ
參ッデモ、其場合ニハ統制法ハ出動シナイモ
ノダ、統制法ニ依ッテ貯藏ヲ命ズルコトハ
シナイ、斯様ニ承知致シテ宜イ譯デアリマ
ス

○渡邊委員 四十八條第一項ノ勅令ニ定ム
ル場合、是ノ内容ハ最低價格以上一割、
斯ウナルト云フコトヲ只今言明サレタヤウ
デアリマスカラ、サウ私ハ信ジタイト思ヒ
マス、是ハ速記録ニ殘ルコトデアリマス、
サウシテ同時ニ此價格以上ニ米價ガ上ル場
合ニハ假令需給計算上過剩米ノ數字ガ出テ
參ッデモ、其場合ニハ統制法ハ出動シナイモ
ノダ、統制法ニ依ッテ貯藏ヲ命ズルコトハ
シナイ、斯様ニ承知致シテ宜イ譯デアリマ
ス

ノハ、要スルニ米穀調節ノ圓滑ヲ期スル爲ニハ、政府ノミデハ十分デナイノデアルカラ、民間ノ協力ニ依ッテ圓滑ニ之ヲ期サウト云フコトモ其目的ノ一ツニ相成ッテ居ルノデアリマス、隨テ其仕事ヲ民間ニサセマス際ニハ、之ヲ行ッテ者ガ之ニ依ッテ迷惑ヲ被ラナイヤウニスルコトガ、極メテ必要ナル事デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、

隨テ之ヲ貯藏致シマスニ付テハ、第一ニ保管料ガ要リマスカラ、是ハ保管料ノ補助ヲシヨウ、ソレカラ之ヲ賣ラズニ——詰リ金ニ換ヘズニ持ッテ居ルト云フコトニナリマス、金ガ必要ナ者ハ何處カラカソレヲ融通シテ參ラナケレバイケナイノデアリマスカラ、此融通資金ニ對スル金利ヲ補助致サウト云フコト、ソレカラモウ一ツハ、資金ヲ借リヨウト思ッテモ、他ヘ參リマシタノデハ中々低利ノ資金ヲ借ルコトガ困難デアリマスカラ、之ニ對シテハ政府カラ低利資金ヲ供給スルコトニ致サウ、是等三ツノ點デアリマス、尙ホ此貯藏ヲ致シテ參リマスニ付テハ、煙蒸其他手入等ヲ要スルノデゴザイマスカラ、之ニ付キマシテハ昨日モ申上

デマシタ通り、貯藏致シマシタ場合ニ、石當リ約十二錢程度ノ煙蒸手入費ノ補助ヲ致サウ、斯様ナコトニ致シマシテ、貯藏ヲ致シマシタ者ガ先ヅ迷惑ヲ被ラナイヤウニ致シテ參リタイ、又倉庫其他ノ關係カラ貯藏能力ノ困難ナ者ニ付キマシテハ、其部分ハ幾分政府ニ於テ買上ヲ致サウ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス

シマシタ者ガ先ヅ迷惑ヲ被ラナイヤウニ致シテ參リタイ、又倉庫其他ノ關係カラ貯藏能力ノ困難ナ者ニ付キマシテハ、其部分ハ幾分政府ニ於テ買上ヲ致サウ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス

○渡邊委員 私ハ貯藏ヲ命ゼラレタ者——

大キナ地主ハソレ程困リマスマイガ、小農以下、三俵ナリ、十俵ナリ、一舉ニ金ニシタイ、皆賣ッテモマダ金ガ足りナイト云フ風ナ者ガ困リハシナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマシタガ、ソレニ對シテ何等カノ方法ヲ御考ヘニナッテ居ルト云フコトハ、勿論説明書等ニモ見受ケテ居リマスルガ、ソレガ實際的ニドレダケ農民ニ效果ガアルカドウカ、其微細ノ點ニ付テハ、他ノ委員デ又之ヲ御質問ニナル方ガアルト思ヒマスルカラ、私ハ其内容ニ付テハ是ダケニ止メテ置キマスルガ、後ニ財政ノ點ニ付テ御尋スル場合ニ關聯スルト思ヒマスガ、斯ウ云フ補助ガ十分ニ行ケバ、今度ハ内地バカリデナシニ、臺灣、朝鮮ニモ亦地域ガ擴マルノデアリマスカラ、政府ノ財政上ノ負擔ハ重クナルシ、之ヲ少クヤレバ農民ハ到底承知シマイ、ソレデ非常ナ騒ギガ起ル、而モ此貯藏ニ依ル統制、民間ノ自由貯藏——自由デヤナイ、強制デス、自治管理法案ト云フノハ

間違ト思ヒマス、實質ハ強制管理法デアリマスガ、此強制的貯藏ヲ命ズルト云フコトニ依ッテ、ソレニ從ハナイ場合ニハ重イ罰則ガアルノデアリマス、五百圓ト云フ罰金刑ガアリマスカラ、中々紛争モ起ルト思ヒマス、ソレデ其點ニ付テハ餘程農民ノ不便ニナラヌヤウナ法規ガ必要ト思フノデアリマス、此點ハモウ御答辯ハ求メマセヌ

次ニ第四十八條ノ二項、「政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏解除ヲ命ズルコトヲ得」トアリマス、日本ノ法律ハ何デモ勅令ニ委任シテ見タリ、當然法律ニ定メナケレバナラス——私共カラ見レバ絶對的ニ定メナケレバナラス事、先程申シマシタヤウナ條件マデ勅令ニ委任スルノデアリマス、ソレカラ尙ホ「必要ト認ムルトキハ」ト云フヤウナコトガ辯ノヤウニナッテ居リマスガ、併シ重大ナモノデアレバ、其内容ニ付テス様ナ席デ確メテ置ク必要ガアルト思フノデアリマスガ、此「必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」、是ダケノ内容ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○島田國務大臣 命令トシテ規定スベキ内容ニ關スル事柄ハ政府委員ヨリ御答致シマスガ、只今、必要ナルトキハ勅令ニ依ルト云ッテ、委任命令ノ形ヲ採ルコトニ付テノ御意見ハ、是ハ私ハ同感デアリマシテ、他ノ法案即チ產鹵處理ニ關スル法案ニ付キマシテモ、昨日本議場ノ質問ニ答ヘル場合ニ其意見ヲ申シテ置キマシタ、是ハ御話ノ通りデアリマス、併シ唯斯ウ云フコトヲ御考ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、是ガ刑罰法規デアリマス、サウ云フヤウナ性質ノモノデアリマス、委任命令ノ形式ハ出來ルダケ避ケル、即チ最近吾々ガ經驗シマシタ選舉法ノ規定ノ如キ場合ニ於テ、委任命令ト云フ形式ヲ採リマス、法律ニ豫期セザル結果ノ起ルコトガアルコトヲ承認シマス（ヒヤ／＼）サウ云フ場合ニハ出來ルダケ避ケルコトヲ努メナケレバナラスト思フノデスガ、經濟ノ方面ニ關スル事柄、殊ニ産業ノ獎勵助長補助ト云フヤウナコトニ關スル場合ニ於キマシテハ、色々ナ場合ニ應ジテ變化ヲスベキ必要ガアリマスノデ、法ノ適用ヲ受ケル國民大衆ノ側カラ、之ヲ命令ニ委任シテ置ク場合ノ方ガ便宜ガアリ、法ノ精神ヲ發揮スルノニ適當ナ場合ガ隨分アルノデス、其反對ノ場合モアリマスガ、是ハ運用ノ責任ニ當ル者ノ心得ニ依ルコトデアリマス、ソレヲ以テ直チニ此場合ニ總テ委任シテシマフト云フコトヲ強調スル譯

云ッテ、委任命令ノ形ヲ採ルコトニ付テノ御意見ハ、是ハ私ハ同感デアリマシテ、他ノ法案即チ產鹵處理ニ關スル法案ニ付キマシテモ、昨日本議場ノ質問ニ答ヘル場合ニ其意見ヲ申シテ置キマシタ、是ハ御話ノ通りデアリマス、併シ唯斯ウ云フコトヲ御考ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、是ガ刑罰法規デアリマス、サウ云フヤウナ性質ノモノデアリマス、委任命令ノ形式ハ出來ルダケ避ケル、即チ最近吾々ガ經驗シマシタ選舉法ノ規定ノ如キ場合ニ於テ、委任命令ト云フ形式ヲ採リマス、法律ニ豫期セザル結果ノ起ルコトガアルコトヲ承認シマス（ヒヤ／＼）サウ云フ場合ニハ出來ルダケ避ケルコトヲ努メナケレバナラスト思フノデスガ、經濟ノ方面ニ關スル事柄、殊ニ産業ノ獎勵助長補助ト云フヤウナコトニ關スル場合ニ於キマシテハ、色々ナ場合ニ應ジテ變化ヲスベキ必要ガアリマスノデ、法ノ適用ヲ受ケル國民大衆ノ側カラ、之ヲ命令ニ委任シテ置ク場合ノ方ガ便宜ガアリ、法ノ精神ヲ發揮スルノニ適當ナ場合ガ隨分アルノデス、其反對ノ場合モアリマスガ、是ハ運用ノ責任ニ當ル者ノ心得ニ依ルコトデアリマス、ソレヲ以テ直チニ此場合ニ總テ委任シテシマフト云フコトヲ強調スル譯

デアリマセヌガ——御趣意ハ諒ト致シマス
ケレドモ、サウ云フ事情ノアルコトヲ渡邊
委員ニ於カレマシテモ御諒察ヲ願ッテ置キ
タイ、是ダケヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ命
令ノ内容ニ付キマシテハ政府委員カラ申上
ゲマス

○荷見政府委員 今ノ第四十八條第二項ノ
勅令ノ内容デゴザイマスガ、ソレハ貯藏ヲ
致シマシタ者ガ、モウ米價ガ一定程度値上
リ致シマシテ、解除致シテモ宜カラウト
思フニ拘ラズ、解除ヲ致シマセヌデ居ルト
云フヤウナ場合ニハ、政府ノ方カラ、モウ
解除シテ宜シイト云フコトヲ命ジ得ルコト
ニ致シタノデアリマシテ、米價ガ標準最低
價格ノ上値一割程度以上トナッタ時ニ限ル
譯デアリマス、而シテ其場合ニハ米價ニ影
響ノナイヤウニ、申請ニ基イテ段々ニ比例
的ニ解除致シテ行ク譯デアリマスガ、ソレ
ヲ或ル者ニ限ッテドウシテモ解除セヌト云
フヤウナ場合ニハ、是ハ政府カラ命ジタ方
ガ適當デアラウト云フノデ左様ナ規定ヲ設
ケテ居ルノデアリマス

○渡邊委員 サウ致シマス此第二項ノ
「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フハ、此第
一項ニ依リ勅令ノ定ムル場合ニ、即チ最低
價格以上一割以上ニナッタヲ解除出來ル、是

ハ恐ラク申告カ何カニ依ッテ許スノダラウ
ト思ヒマスガ、ソレデモマダ解除シナイ場
合ニハ、政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ——
此勅令ノ定ムル所ハヤハリ此第一項ノ勅令
ノ定ムル場合ト同ジヤウナ條件、即チ最低
價格一割以上ニナッタ、サウ云フヤウナ場合
ニハ今度ハ解除ヲ命令スル其必要、斯ウ云
フ内容、斯ウ云フ意味デアリマスナ

○荷見政府委員 サウ云フ場合ニハ命令ヲ
スルコトガ出來ルト云フ意味デアリマス

○渡邊委員 ソコデ此規定ノ内容ハ分リマ
シタノデスガ、形式論ハ私共ノ言フ筋合デ
アリマセヌガ、斯ウ云フ規定デハ殆ドアッ
チコッチ研究シテ廻ッテ、農林省ニ何度モオ
百度ヲ踏ンデ餘程研究シタ人デナケレバ、
ドンナ場合ニ解除ヲ命ゼラレルノカ、本當
ニ此統制貯藏ヲ命ゼラレルノダカ、到底分
リコナイト思ヒマス、サウシタ法文ノ體裁
ノ論議ハ私共トシテハ横道カモ知レマセヌ
ガ、斯ウ云フコトデハ世間ニハ中々通ジニ
クイ、或ハ此法文ノ説明書ノヤウナ附屬書
デモ御附ケニナッテ、サウシテ勅令ノ内容ハ
荒マシ斯ウ云フモノダト云フ法文ノ證據ヲ
殘シテ置イテ審議ヲ御進メニナルト大變便
宜ダト思ヒマスガ、唯ソレダケノ感想ヲ申
上ゲテ置キマス

○野中委員 一寸關聯シマスガ……

○東委員長 一寸待ッテ下サイ

○渡邊委員 ソコデ此勅令ノ定ムル所ニ依
リト云フ意味ハ分リマシタガ、其上ノ必要
アリト認ムル時ト云フノハドウ云フ譯デス
カ

○島田國務大臣 渡邊君ノ第一項ト第二項

ニ關スル關係ニ付テノ事ハ政府委員ヨリ申
シマシタガ、是ガマア當業者ト云ヒマスガ、
米ニ關係ノ人ガ分リニクイト云フ御話デア
リマスガ、私共ノ感想ヲ申シマス、是ハ
米ニ關係、米ノ仕事ニ關係シテ居ラス者
ニ分リニクク、關係シテ居ル者ハ分ル、關
係シテ居ル人ノ方ハ實行スレバ直グ分ルコ
トナンデス、此法文ニサウ云フコトヲ書キ
現ハスコトガ難カシイノデ斯ウ云フ法文ニ
ナッテ居ルノデスケレドモ、米ノ商ヒヲシ
テ居ルトカ、米ニ關係シテ居ル人ハ、此法
文ハ斯ウ云フコトダト云フコトヲ、此委員
會デ言フヤウデナシニ、俗語ヲ以テ話ヲシ
合ヘバ直グ分ルノデアリマス、是ハ學者ヤ
(笑聲)其外ノ方面ノ人ニ(拍手)分リニク
イ、實地ニハ直グ分ルコトデアリマスカ
ラ、於ハヤハリ院外ノ場合ニ於テ説明書ヲ
附ケト仰シヤイマスガ、是ハ米穀局長ト
一寸御話シ下サレバ非常ニ簡單ニ分ル事柄

ダト思ヒマス、私モ實ハ分リニクカッタノ
デアリマスガ、聽イテ見タラ直グ分ル事デ、
サウ云フコトヲ法文ニ現ハス時ニハ斯ウ云
フ風ナ書方ヲ成ベクシナケレバナラヌカト
斯ウ思ッテ分ッテ譯デアリマス

○渡邊委員 是ハ唯米ニ關係ノアル者ハ分
ルトカ、分ラヌトカ云フコトヲ申シタノデ
ハナイノデ、實ハ是ダケデハ私共モ之ヲ讀
ンデモ分ラナイ、頭ガ惡イカドウカ知レマ
セヌガ……デスカラ此必要アリト認ムル時ハ
ト云フ意味ハ、即チ上値一割以上ニナッテ
モ正確ニハ解除ヲ命ズルコトモアルベシ、
命ゼザルコトモアルベシ、最低價格以上一
割ニ米價ガ達シ尙ホ解除セザル場合、解除
ヲ申告セザル場合、解除ヲ命ズルヤウニ此
法律デ此勅令ノ定ムル所ニ依リト云フコト
ニナルノデアリマスガ、併シソレニモウ一
ツ重ッテ條件ガ附イテ居ル、即チ「必要アリ
ト認ムルトキハ」斯ウ云フ條件ガモウ一ツ
附イテ居ルカラ、其必要ト云フノハドウ云
フ場合ノコトヲ申サレルノカ、之ヲ御尋ス
ルノデアリマシテ、ドウモ質問ガ……

○野中委員 議事進行ニ付テ……

○東委員長 宜シウゴザイマス

○野中委員 今渡邊サンガ質問シマシタ
ガ、昨年ノ委員會ニ於キマシテハ、斯ウ云

フ勅令ノ定ムル所ニ依リ、或ハ命令ノ定ム

ル所ニ依リト云フヤウナコトハ、皆謄寫版

ニ刷ッテ、吾々ニ與レタモノデス、ソレハ古

イ方ノ人ハ元ノ條文ヲ持ッテ居リマスカラ、

又政府カラノ材料ヲ持ッテ居リマスカラ、大

體政府ノ意向ハ分リマスケレドモ、マダ初

メテ委員ニオナリニナッタ方ヤ何カハ、サウ

云フ風ナ事柄ガハッキリ分ラナイ、隨テ此

勅令ナリ或ハ命令ナリヲ中心トシテ澤山ノ

問答ガ重ネラレルト思フ、ソレデアルカラ、

ソレヨリハ大體政府ハ斯ウ云フコトヲ考ヘ

テ居ルノダ、今農林大臣ハ之ヲ見レバ分ル

ト言フガ、サウ云ウヤウニ見レバ分ル人バカ

リハ居ラス(「ヒヤ／＼」)ソレデ委員ノ中デ

モ割合ボンクラガ——ボンクラデヤナイ吾

吾ノヤウナ……(笑聲)一寸見タ所デドウ云

フヤウナコトガ命令ニナルカ、勅令ニナル

カ分ラナイ、ソレデアリマスカラ、政府ハ

速ニ此自治管理法案中ニ於テ、ドウ云フノ

ヲ命令ト定メルカ、又ドウ云フ氣持ヲ以テ

命令ヲ定メルカ、之ヲ昨年ト同ジヤウニ各

委員ニ配布ニナッタ方ガ議事進行ガ早ク濟

ムト思ヒマスカラ、ドウカ委員長ハ此氣持

ヲ以チマシテ、農林當局ニ御請求ニナッテ、

出來ルダケ早く之ヲ各委員ニ配布シテ餘分

ノ質問ヲ、或ハ應答ヲ續ケルヤウナコトノ

ナイヤウニ御取計ヒヲ願ヒマス

○東委員長 分リマシタ

○三宅委員 議事進行ニ付テ本日少シク材

料ヲ戴イタノデアリマスガ、請求致シタ材

料デマダ大變戴カヌノゴザイマス、所ガ

請求致シタ材料ガ基礎ニナッテ御質問等ヲ

申上ゲナケレバナラスノデアリマスカラ

シテ、渡邊サンガ御請求ニナリマシタ材料

ニ付テモ、マダ來テ居ラス分ガアルト思ヒ

マスシ、私ガ請求致シマシタ材料モ殆ドマ

ダ來テ居ラスヤウデアリマス、何時マデニ

戴ケルノカ、又直グ戴カナイト、ソレヲ基

礎トシテ御質問致シマスノ——ソレデモ

數十日掛ッテ審議シテ宜イト云フナラ別デ

スガ、審議ヲ急ガレルナラバ、直グ出シテ

戴キタイノデアリマス

ソレカラ序ニ尙ホ一ツ戴キタイモノガア

リマスガ、是ハ渡邊サンカラモ御請求ニ

ナッタカモ知レマセヌ、米穀需給特別會計ノ

内容ヲ一ツ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

ガ、昨日請求致シマシタ分ニ付テ午後位ニ

戴ケマスカ

○東委員長 大體昨日相談シマシテ、サウ

シテ出來ルモノハ本日中位マデニ提出スル

ト云フコトニ取計ヒヲスルト云フコトニ

ナッテ居ルノデスガ、尙ホ其コトハ考慮シテ

相談致シマス

○渡邊委員 次ニ五十條、政府ハ必要アリ

ト認ムルトキハ、貯藏シタ米穀デ當該年度

ヲ越ユルモ、其貯藏ヲ解除セラレザルモノ

ニ付買入ヲ爲ス、斯ウ云フ規定ガアリマ

ス、此法規デアリマスルガ、政府ガ必要ヲ

認メテ買入レテ貰フ場合ハ宜イノデア

リマスガ、併シ其買入ノ必要ヲ認メナ

イト云フ風ナコトニナル場合ニ、即チ

次年度ニ至ッテモ尙ホ貯藏ノ繼續サレルト

云フコトガアルヤ否ヤ、アッタトシタナラバ

サウ云フ場合ニ對スル自分ノ所有物ガ處分

出來ナイ農民ニ對スル手當ハドウ云フ風ニ

ナルノカ、此點ヲ一ツ……

○荷見政府委員 是ハ貯藏致シマシタ米ハ

大體ハ出廻リ期ニ米價ハ低クナッテ、端境期

ニ高クナル傾向ガアルノデゴザイマスカ

ラ、相當解除スル場合ガ多イダラウト考ヘ

マスケレドモ、若シモ解除ヲ致シマセヌデ、

貯藏ヲ致シタ儘年ヲ越スト云フヤウナ場合

ニナリマシタ時ニハドウスルカト云フコト

ヲ規定致シマシタノデアリマス、米穀統制

組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ、第四十六

條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該

米穀年度ヲ超ユルモ其貯藏ヲ解除セラレザ

ルモノニ付テハ政府ハ必要ト認ムル時ハ買

入ガ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデ

アリマス、是ハ大體年度ヲ越シマスレバ、

古米格ヲ補助致シマシテ、サウシテ古イ米

ニナッテモ損ノ行カナイヤウニ致サウト云

フヤウナ仕組ニナッテ居ルノデゴザイマス

ガ、尙ホ古米格ヲ貰ヒマシテモ、又次ノ年

モダブツイテ居ッテ、米價ガ上ラヌ、貯藏シ

タ物ハ處分ガ困難デアルト云フヤウナ場合

ニハ、政府ガ買入ヲ爲シタ方ガ宜シイ、詰

リ經濟上ノ見透シデ必要アリト認メタ時ハ

買入ヲ爲シタ方ガ宜シイ、又古米格ハヤリ

マシテモ、米價ガ相當ナ價格ニアルノデア

リマシテ、政府ガ買入ヲ致シマセヌデモ、

貯藏致シタ者ガ任意ニ賣却致シマシテ、其

方ガ希望ダト云フヤウナ場合ニハ、政府ハ

買入モ何モスル必要ハナイノデアリマスカ

ラ、買入ヲシナイ、詰リ經濟上ノ——米穀

事情ノ如何ニ依リマシテ、貯藏致シタ物ガ

處分ガ中々困難デアッテ、政府デ買ハナケレ

バ困ルト云フヤウナ見込ガ著キマスレバ買

入ヲ致シマスシ、サモナイ場合ニハ買入ヲ

致サスト云フヤウナ、經濟事情ニ依ッテ判斷

致シテ動ク、斯ウ云フ規定デゴザイマス

○渡邊委員 米穀年度ヲ越エテモ解除セラ

レナイモノニ付テ、政府ノ方デ必要ガアッ

ラ買ッテヤルガ、必要ヲ認メナケレバ買ハナ

イ、斯ウ云フ形ノ規定ニナルノデアリマス
ケレドモ、今ノ御説明ニ依ルト、其實質ハ
サウ云フノデハナクシテ、要求ガアッタ大
體解除シテヤルノダ、サウデナイ場合ニハ
古米格ダケ渡スノダ、古米格デ、自分ガ解
除シテ貰フデモ、古イカラ、モウ賣リ惡イカ
ラ、マア政府デ結局最後ノ處置ハシテヤル、
併シ其間古米格ヲ與ヘル、斯ウ云フノデア
リマス、古米格トシテ何圓御與ヘニナルカ
知レマセヌガ、假ニ政府ガ解除シナイ、認
メナイトシタ場合ニハ、自分ノ米ナガラ處
分出來ナイデ、古米格ダケヲ強制的ニ貰
テ、ソレデハ引合ハヌト云フヤウナ場合ガ
ナイノデアリマス、其古米格ノ限度、ソ
レカラソレニ依ッテノ農民ノ利害關係ヲ一
ツ明カニシテ戴キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 古米格ハ大體一石ニ付
テ標準ガ一圓二十五錢程度、玄米ニ引直セ
バ二圓五十錢程度ニ致ス豫定デゴザイマ
ス、ソレカラ粳ノ貯藏ヲ致シマスル場合ニ
ハ、是ハ過去ノ經驗ニ依ルト、水分等ノ餘
リ餘計ニ含マレヌヤウニ設備致シマシタ場
合ニハ、玄米ヨリハ品傷ミ等ニ付テモ餘程
少イノデ、ザイマス、是ハ從來モサウ云フ
話ガアッタガ、實行ヲ致シマシタ經驗ハ昭和
八年ガ最モ大規模デアリマシタガ、此時ノ

經驗ニ依ルト、非常ニ從來ノ謂ハ、通説ヲ
裏書キ致シテ居ルヤウニナッテ居リマス、粳
デ貯藏ヲスレバ、玄米ヲ貯藏シタモノヨリ
モ餘程貯藏ノ程度ハ良イノデアリマス、隨
テ貯藏ヲ致シマシタモノガ受ケル損害ト云
フヤウナコトハ殆ド少イ、却テ有利ノ場合
ノ方ガ多イト思ヒマス。蒸レルト云フヤウ
ナコトニ付テモ玄米ヨリハ餘程少イト思ヒ
マスガ、大事ヲ取ッテ大體只今申上ゲマシタ
古米格ノ程度ヲ標準ニ考慮シタイト考ヘテ
居リマス

○渡邊委員 ソレ等ノ點ハ、他ノ委員カラ
又實際ノ利害關係ヲ御尋ニナルト思ヒマス
カラ私ハ此程度デ止メテ置キマス、今度ハ
モット根本ノ方ヘ參ッテ御尋ヲシテ置キタイ
ト思ヒマス、此米穀統制法ト自治管理法案
トノ關係ノ問題デアリマス、今ノ米價ノ實
情カラ申セバ、統制法ノ最低價格ノ規定ノ
實施ニ依ッテ買入ノ要求ガ起ルト云フヤウ
ナ實情ハ起ラヌト思ヒマスカラ、其點カラ
ハ米穀ノ統制法ハ目下ノ情勢デハ適用サレ
ルコトハナイヤウニ思ハレマス、將來最高
價格以上ニ達スレバ、其點ハ間モナク起ル
カモ知レナイガ、最低價格デ買入ヲ要求サ
レルコトハ起ラヌト思ヒマス、諸テ自治管
理法案ガ制定サレタト致シマスルト、先程

ノ御話デハ統制スベキモノガアルト云フコ
トデアル、私ハ無ササウニ思ヒマスガ、殊
ニ價格ヲ四十八條一項ノ勅令ニ依ッテ最低
價格以上一割ト云フコトニ御決メニナル
ト、本年ハ統制スル必要ハナイト思ヒマス、
假ニ自治管理法案ガ成立シテ、ソレデ米穀
ノ統制ガ行ハレルヤウニナル、サウ云フ所
マデ米價ガ下ッテ來ル、即チ最低價格ニ近付
イテ來タ場合ニ於テ自治管理法案デ先ヅ第
一次ノ統制ヲヤル、更ニ其價格以下ニ下リ
サウナ虞ガアルカラ第二次統制ヲヤル、サ
ウ云フコトデ凡ソ此米穀ノ統制ノ目的ヲ達
シテ、ソレ以上ニ過剩米ノ——需給計算ニ
依ッテ過剩米ノ數量ヲ決定シタ、即チ二百萬
石ト決ッたら其數量ト第二次統制ノ數量以
上ニ更ニ數百萬石ト云フヤウナモノガ將來
米ノ作柄如何ニ依ッテ、米穀統制法ノ最低價
格ニ依ッテ買入ヲ要求シテ來ル事情ガ生ズ
レバ、又米穀統制法ガ動ク譯デアリマスカ
ドウカ

○荷見政府委員 御話ノ點ハ、米穀統制法
ハ現行ノ通りデアリマスカラ、民間カラ最
低價格ニ依ッテ買入ノ申込ノ要求ガアリ
マスレバ、之ニ依リマシテ買入ヲ致ス譯デ
アリマス
○渡邊委員 サウ致シマス、大體過剩米

ノ計算ガ能ク出來テ居レバ自治管理法案ノ規
定デ貯藏ヲ命ズル、サウ云フ程度デ統制ヲ
シ、足りナケレバ第二次統制デ進ム、其程
度デ終ルト思ハレルヤウデアリマスガ、場
合ニ依ッテハ米穀統制法ニ依ッテ買入レルト
云フ所マデ行クカモ知レナイト云フ御話デ
アル、是ハ將來ノ事デアアルカラ豫測ハ著カ
スト思ヒマスガ、先ヅ私ハ此程度デ其問題
ハ打切ッテ置キマス

次ニ此法律ノ目的ガ外地米ノ統制ト云フ
コトニ置カレテ居ルヤウデアリマス、
四十一條デ毎年内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジ
テ需給計算ヲ行ッテ統制ヲスルト云フコ
トデス、其統制ノ割合ハ他ニ標準トシテ、
之ヲ勅令ニ委任シテアルヤウデアリマス
ガ、是ハマア時間ヲ費シマスカラ御尋致シ
マセヌ、結局當座ノ問題トシテハ附則ニ其
割合ヲ定メテ、内地百分ノ三十五、朝鮮百
分ノ四十三、臺灣百分ノ二十二、斯ウ定メ
テアル、斯ウ云フ割合デ貯藏サレルト云フ
コトガ外地米統制ノ方法竝ニ割當デアリマ
ス、是ハ貯藏ヲスルト云フコトダケニナッ
テ居ルガ、此點ニ付テドレダケ外地米統制
上ニ是ガ效果ガアルカドウカト云フコトニ付
テ御伺ヲシテ見タイト思フノデアリマス、
實ハ私モ此問題ニ付テハ、齋藤内閣ノ時ノ

米穀統制調査會ニ居リマス時ニ、餘程議論モ致シタノデアリマスガ、其委員會ノミナラズ、他ノ會デ此問題ヲ研究サレタ多クノ人ノ意見ハ、日本ノ米穀政策ガ一番急所ヲ捉ヘテ、簡單ナ解決ヲスルニハ、所謂外地米ノ統制——外地カラ澤山米ガ入ッテ來ル、其爲ニ内地ノ米價ヲ壓迫スルト云フノダカラ、之ヲ統制スルノダト云フ風ナ考ハ實際問題トシテ一致シテ居ルノダラウト思ヒマス、唯其實行上ニ付テ種々ノ議論ガアル、ドウ云フ方法ヲ採ルカト云フコトニナルト移入税ヲ課ケル、或ハ移入ノ數量ノ制限ヲヤル、或ハ或ル期間貯藏サセル、コンナコトガ今マデ考ヘラレタ所ノ解決策ノ内容ト思フノデアリマス、所ガ米穀統制調査會ノ場合ノ實情ニ依リマシテモ、私共ガ斯ウ云フ點ニ付テ質問若クハ意見ヲ述べマス、外地米統制ノ方法トシテ、移入税ヲ課ケルト云フコトハ、植民地ノ政策上宜シクナイ、サウ云フコトハモウ數年來ノ農林省並ニ政府ノ研究ノ結果、又政府ノ他ノ政策上ノ方針カラシテモ出來ナイト決定シテ居ルト云フ御話デアリマス、ソコデ課税問題ハ殆ド實際上議論ニ上ラナイデ、數量制限位ノコトガ意見ニ稍出テ參ッタノデアリマス、私自身モ色々意見書ヲ其當時提出致シマシ

タケレドモ、其中ニ普通ノ場合ハ移入制限ハ出來ナイトシテモ、大豐作トカ云フ場合ニ移入數量ノ制限ハ出來ハシナイカト御尋シタ場合ニ、政府當局ノ御答ハ全部買上ゲルコトハ出來ナイト云フ御話デアリマシタ、所ガ段々他ノ委員ガ御尋ラスルト、態度ガ少シツゞ變ッテ參リマシテ、結局大豐作ノ如キ場合ニ、例外的ニ外地ニ不利益ヲ與ヘナイ場合ニ於テハ制限ヲ受ケテモ已ムヲ得マイト云フ位ニナリマシタガ、數量ノ制限ヲ簡便ナ方法デ行フト云フコトハ、是モヤハリ今マデノ經過上實現殆ド不可能ノヤウニナッテ居ルト思フノデアリマス、ソコデ昭和九年ノ臨時移入制限ノ法律等モ一年デ止メラレタヤウニ思フノデアリマスルガ、サウ云フコトデ、貯藏ト云フコトニオ出ニナッタノダラウト沿革的ニ想像スルノデアリマス、勿論月別平均ノ移入制限ト云フコトモアリマスガ、茲ニ改メテ此法律デ貯藏ノ方法ニ依ッテ、外米ノ一時的ニ入ッテ來ルコトヲ防ガウ、是ハ御趣旨ハ能ク分リマシタガ、其實行ノ程度ハ、何處マデソレガ適用出來ルカ、又ソレニ伴ッテ、買ッテ却ッテ弊害ガ起ッたり或ハ費用ガ非常ニ掛カルト云フコトハナイカドウカト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマスガ、殊ニ臺灣米ノ貯藏ハ

餘程困難ダト云フ風ニ聞イテ居リマス、三箇月、四箇月ヲ保タスコトハムツカシイ、私昨年參ッテ實情ヲ相當見タリ聞イタリシテ參ッタノデアリマスガ、ヤハリ貯藏ハ困難ト申スヨリ寧ロ不可能デアルト申シタ方ガ宜イ位デハナイカト思フノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ、此貯藏ガ出來ルカドウカ、ソレニ關スル經費ハドレ位要ルカト云フコトヲ御尋致シマス

○荷見政府委員 此貯藏ノ問題ニ付キマシテハ、私共ノ方デモ數年試驗ヲ致シテ居リマスノデ、二三年來貯藏ヲ致シテ居ルモノモアリマス、數量ハ三千石位ノ程度デアリマスガ、只今デモ相當ノ程度ニ保管サレテ居リマシテ、別ニ駄目ニナッタト云フコトハナイノデアリマス、貯藏ハ出來ルト思ヒマス、尙ホ併シ貯藏ヲ致シマスニハ、設備ガ必要デアリマスカラ、其設備ハ段々臺灣ノ方ニ於テ整備致シテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ内地デモ同ジコトデアリマシテ、何處ニ致シマシテモ、倉庫等ノ設備ハ相當施設シテ參ラナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ金額其他ノコトハ他ノ政府委員カラ申上ゲマス

○北島政府委員 臺灣ノ粳ノ長期ノ貯藏ガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、只今渡

邊君カラ臺灣デハ非常ニ困難デハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、此問題ニ付キマシテハ、過去ニ於キマシテモ、當委員會デモカナリ論議ガアリマシテ、農林省デモ從來臺灣デ小規模ノ調査ハシテ居ル次第デアリマスガ、總督府デモヤハリ試驗ノ必要ヲ認メマシテ、昨年ノ七月以來州農會ノ事業ト致シマシテ、昭和十年第一期作ノ粳ヲ約四千石ヲバ數箇所ニ於テ貯藏ヲシテ、現ニ貯藏シテ居ルノデアリマス、其現在三月末日マデノ約九ヶ月間デアリマスガ、其實績カラ見マスト、南ト北ニ依ッテ多少ノ差違ハアリマスケレドモ、南北共ニ大體ニ於テ品質ハサウ變ッテ居ナイト云フ成績ヲ舉ゲテ居リマス、ソレデマア大體臺灣ニ於キマシテモ——ソレハ内地或ハ朝鮮ニ比ベマスト勿論相當ノ手入、或ハ又倉庫ノ設備等ニ付キマシテモ、考慮スベキ點ハアリマスケレドモ、貯藏其モノハ十分一年ヤソコラハ確實ニ出來ルト云フ今迄ノ成績ヲ得テ居リマス、ソレカラ經費ノ問題ニ付キマシテハ、臺灣デハ差當リ粳二十二萬石ノ貯藏ヲスルニ必要ナル倉庫其他ノ豫算ヲ計上致シテ居リマスガ、大體昭和十一年度ニ於キマシテハ粳倉庫ノ建設費補助ト致シマシテ九十五萬圓、ソレカラ貯藏資金ノ利子補給、是ハ貯

藏シテ居ル米ニ對シテ預金部カラ資金ヲ融
通致シマシテ、ソレニ對スル利子ヲ政府カ
ラ補助スル譯デアリマスガ、是ガ石當リ七
圓五十錢、年四分七厘デアリマスガ、大體
二萬五千八百五十圓、燐蒸其外ノ費用ガア
ルト思ヒマスガ、是ハ後デ一寸調べマシテ
カラ御答申上ゲマス

○渡邊委員 唯ソレガ可能カドウカと思ッ
テ、大體ノ貯藏ノ費用ノ概數ヲ御伺ヒシタ
ノデアリマスガ、今ノ説明デ大體分リマシ
タガ、外地米統制ノ根本方針ガ始終動イテ
居ルヤウニ思ヒマスカラ、其點ハ後デ農林
大臣ガ御見エニナリマシタラ簡單ニ御伺シ
タイト思ヒマス、ヤハリ是ハ日本ノ食糧政
策ノ問題トモ關聯致シマス、丁度拓務大臣
ガ御見エニナリマシタカラ、拓務大臣ニ改
メテ聞イテ見マセウ、今丁度米穀統制法關
係デ、外地米統制ノ問題ノコトヲ御尋シテ
居リマス、今マデ私モ幾ラカ米穀調査會等
ニ關係シテ居リマシタガ外地米統制——内
地ノ米價ガ下ル、少クトモ壓迫サレルト云
フコトニ付テハ、外地ノ生産ガ多クナル、
又移入ガ多クナルト云フコトガ影響スルト
云フヤウナ感ヲ持ツ人ハ可ナリ多數デアラ
ウト思フ、ソコデ外地米ヲ統制スルコトガ
出來レバ、割ニ此米價問題ト云フモノハ解

決ガ易シイト云フコトヲ多クノ人ハ感じテ
居ルト思フ、所ガ實際問題トシテハ、ソレナ
ラ方法ハドウカト云フト、移入税ヲ課ケル
ト云フコトハ一番有效ダト思フガ、是ハ中
中植民地政策上イカヌ、數年來論議サレテ
居ルケレドモ是ハ行ハレナイ、又數量制限
ガ其次ニ必要デアラウ、有效デアル、是モ
外地ニ財政上ノ迷惑ヲ掛ケルトカ云フ風ナ
ヤリ方デハイカヌ、内地トシテ有效ナモノ
ハ出來ヌト云フコトデ、此管理法ニアル貯
藏ト云フコトニ參ッタノデアラウ、ソレカラ
又前ノ岡田内閣ノ委員會等デ御決メニナッ
タ代作獎勵ト云フ風ナヤリ方ヲ加味シテオ
ヤリニナルヤウニナッタト思フ、今貯藏ノ方
ノコトヲ御尋致シテ居ッタノデアリマスケ
レドモ、是ハ貯藏ガ出來ルカドウカト云フ
ヤウナコトヲ拓務大臣ニ——是ハ御尋ハ致
シマセヌガ、唯拓務大臣ノ今日マデノ御經
驗デ、尙ホ今後御研究ニナルコトモアラウ
ト思ヒマスガ、今日マデノ御經驗デ、外地
米統制ト云フモノハ政治的ニ、又實際的ニ、
何處マデヤレルモノカ、ドウ云フ方法マデ
ハヤッデモ、日本ノ内外地兩方ノ立場カラ見
テ差支ナイモノカドウカト云フ御考デモ
アッタ御伺申シタイト思フノデアリマス、
甚ダ抽象的デゴザイマスガ……

○永田國務大臣 米穀統制ノコトニ付テ外
地トノ關係ハ洵ニ微妙ナモノデアルト考ヘ
マスガ、内地デハマア御承知ノ通り常ニ毎
年約一千萬石モ足ラヌヤウナ狀態ニナルノ
デ、之ヲ朝鮮ナリ臺灣ノ米デ補ッテ居ル、以前
モ御承知ノ米騒動ガ起キテカラ以來、日本
デハドウシテモ外地ノ方ノ米ヲ持ッテ來ル
必要ガアルト感じタコトガアルシ、其當時
ハ開墾助成ト云ッタヤウナコトモ非常ニ内
地デ獎勵サレタト云フヤウナ時代モアッタ
ノデアリマスガ、近頃デアリマス、ドウモ
外地ノ方ノ米ガ入ッテ來ル爲ニ、凡ソ年々
五百萬石位モ餘ルヤウニモ——平均デ言ヒ
マスレバサウ云フヤウナ情勢ヲ示シテ居
ル、此問題ニ付テハ私極ク概括的ニ考ヘテ
内地ノ米ハ兎ニ角一千萬石凡ソ足ラヌノデ
アルカラシテ、ソレヲ外地カラ一千萬石位
補充スルト云フ程度ノ狀態ニ居ルト云フコ
トガ一番大切ナノデ、先ヅ生産ノ統制ガ出
來レバ一番宜シイノダラウト思フノデス、
所デ生産ノ統制ト云フコトハ法律的ニ餘リ
嚴格ニヤリ惡イノデアリマスケレドモ、其
心持デ臺灣總督府ナリ、朝鮮總督府デ内地
ノ事情ヲ考慮シテ、朝鮮ノ米、臺灣ノ米ヲ凡
ソ今ノ現狀デ増加サセナイ、内地ノ方ニ持ッ
テ來ルコトノ餘リ増加シナイヤウナ積リ

デ、其心持デヤッテ居レバ餘程效果ノアル
コトト思フノデアリマス、御承知ノ通りモ
ウ朝鮮デハ產米増殖計畫ト云フモノヲ拵ヘ
テ居ッテ、サウシテ色々水利ノコトナンカラ
獎勵シタリシテ居リマシタノヲ、途中カラ
又内地ノ事情ガアルカラ、ソレヲ止メテシマ
ヘト云ッタヤウナ譯デ、中絶ヲ聲明シテ居ル
ト云フヤウナコトハ、朝鮮當局ノ方デハ可
ナリ苦痛ナ點モアッタラウト想像サレルノ
デスガ、併シ統制ヲ一應致シマシテ、サウ
シテ餘計ニ作ラナイヤウニ今ヤッテ居リマ
ス、朝鮮ノ生産高ヲ最近ニ於テ調査シテ見
マシテモ、大シテ殖エテ居ラヌヤウニ考
ヘラレルノデアリマス、面積ナンカモ餘リ
殖エテ來テ居ルヤウデアリマセヌ、凡ソ面
積ノ方デ申シマス、十年ノ時ハ百六十九
萬町歩、其前ガ百七十一萬町歩、其前ガ百
六十九萬、其前ガ百六十七萬、百六十四萬
ト云ッタヤウナ風ニ、大シテ殖エテ居ラナ
イ、十年度ハ九年度ヨリモ米ヲ作ッテ居ル
水田ノ面積ガ減ッテ居ルヤウナ狀態ガゴザ
リマス、サウ云フ風ニ成タケ殖ヤサナイヤ
ウナ方針ヲ朝鮮デ執ッテ行ク、臺灣ハ又臺灣
デ是ハ出來タ米ヲ貯藏スルト云フコトガヤ
ハリ大分困難ガ伴フモノデアリマスカラ、
出來ル限り代作ヲスルト云フコトデ、代作

ヲ獎勵スル方針ニナッテ居リマスカラシテ、今ノ狀態デ行キマス、年々多少ハ殖エルカモ知レマセヌケレドモ、御承知ノ人口ハ双方合セテ百四十六萬毎年殖エテ行ク、内地ト朝鮮、臺灣ヲ加ヘテ百四十六萬人ノ人ガ殖エルト云フノデアリマスカラ、多少ノ米ノ増加ハ餘リ心配ニナラヌカト思ヒマス、出來得ル限り朝鮮、臺灣デモ生産ヲ統制スルヤウナ意氣込デ進ンデ行キマシテ、共存共榮ノ目的ヲ達セラレルヤウニ出來得ルノデヤナイカ、今ノ狀態デハ出來得ルノデヤナカラウカト私ハサウ考ヘテ居リマス、尙ホ御問ニ依リマシテハ御答致シマス

〔朝鮮、臺灣デハ之ヲ嫌ッテ居ルト云フコトヲ正直ニ仰ッシャイ〕ト呼フ者アリ

○渡邊委員 外地米ト内地米ノ關係ハ非常ニムヅカシイ問題デアリマスガ、丁度昭和四年ノ衆議院ノ本會議デ米穀法ニ關スル間答ガアリマシタ、其時ニ田中隆三氏ガ斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレマス、ドウモ外地、朝鮮臺灣カラ大變米ガ入ッテ來ル、所ガ政府ガソレニ對シテ非常ニ開墾ヲ獎勵シタリ、干拓ヲスルトカ、埋立テスルトカ、補助金ヲ與ヘテ獎勵シテ居ル、惡イトハ言ハナイ

ガ、今日ノ如ク米ガ多クナッテ、米ノ洪水ガ起ッテ安クナルト云フノデ、農民諸君ガ騒イデ居ル時ニ、他ノ一方ニハ米ヲ益、多クシナケレバナラスト云フ施設ヲ補助金マデモ出シテ獎勵シテ、益、農家ヲ困ラセルヤウナコトヲシテ居ルノハ、ドウモ政策ノ矛盾ニナリハシナイカト云フ懸念ヲ私ハ持ッテ居リマス、所ガ時ノ農林大臣ハ、多イドコロデハナイ、足りナイト云フ御答辯デアリマス、可否ハ申シマセヌガ、此時カラ指摘シテ居ッタ先覺者ガ居ッタノデアリマスガ、其後獎勵ヲ御ヤリニナッテ居ッタ、所ガ今度ハ慌テ又過剩ダト云フコトデ代用作獎勵ト云フコトヲヤッテオキデニナル、私ハ昨年モ臺灣ニ參リマシテ、ソレヲマザル、見テ參リマシテ、ドウモ是ハ政府ガ慌テフタメイタコトヲスル、四五年前ニ注意ヲ受ケナガラ、今度急ニ慌テ、サウ云フコトヲ實行シナイデ居ッテ、齋藤内閣ノ米穀統制調査會ノ時ニハ吾々ハ田地ヲ潰セトマデハ申サナイガ、獎勵金ダケハ廢メタラドウカト云フコトハ、委員會ノ一般ノ空氣デアッタ、サウ云フコトヲ積極的ニ促進スルコトヲ止メタラドウカト云フダケノ話デアッタ、所ガ斯ウ云フ昭和四年ノ注意ガアルニ拘ラズ、獎勵ヲ

續ケテ來テ、獎勵ヲ止メルト云フ其中間的ノ政策ヲ執ラズ、一舉ニシテ今度ハ逆ニ何デモ獎勵金ヲ稻ノ田ヲ潰ス方ニヤル、斯ウ云フヤウナヤリ方ヲ一足飛ビニヤラレタ、何デモ獎勵金、補助金、斯ウ行クノデアリマスガ、此點ニ於テハ補助金ヲ無暗ニ出シタガルト云フヤウナ、斯ウ云フ一般のナ問題ニ付テハ私ハ非常ニ疑念ヲ持ッテ居リマス、尙ホ此米ノ問題カラ申シテ、是ハ臺灣ヘ參リマシテモ、今後ロノ方カラ御話ガアリマシタガ、非常ニ嫌ッテ居ル、折角物ノ出來ル土地ガアルノニ、東北ノ方ハ雪ニ閉サレテ居ルガ、臺灣デハモウ太陽ガカン、熱モ十分、サウシテ年ニ二期出來テ、サウシテ芋ガ一回穫レル、サウ云フコトニナッテ居ル、臺灣ノ人口五百萬人アルノガ五百萬石モ内地ヘ米ヲ移入スル、日本ノ内地カラ申セバ、丁度七千萬石ノ米ヲ外國ヘ輸出スルダケノ力ヲ持ッテ居ル、エライ力ヲ持ッテ居ル、其上ニ砂糖モアレバ、「バナナ」モアリ、何デモゴザイマス、エライ鼓腹擊攘ノ樂天地ト私ハ思ッテ居リマスガ、ソレニ對シテ折角出來ル米ヲ作ルナト云フコトデ潰スノニ獎勵金ヲ與ヘル、臺灣デハ斯ウ云フ風ナコトヲ言ッテ居ル、「駿馬ノ手綱ヲ控ヘテ内地ノ驚馬ニ鞭ツ、ドウモヲカシイ」ト云

フコトヲ言ッテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ餘リ急激ニヤルト農家ノ疲弊等モゴザイマスカラ、ソレヲ救済スル爲ニ、有ユル方策ヲ講ジナケレバナリマセヌガ、併シ日本ノ人口食糧政策、十年前カラ續ケテ來タ政策ヲ、突如ブツント止メルノデハナクシテ逆行サセテ、又一二年後ニハ或ハ來年、再來年人口増殖ノ爲ニ、田ヲ潰シテ飛ンデモナイコトヲシタ、又米價ガ暴騰シテ來タト云フ騒ギニナル虞モアルト感ジマスカラ、斯ウ云フ自然ニ逆ッテ無暗ニ外地ノ稻田ヲ潰シタリ何カスルト云フヤフナコトハドウカ、少シ慌テ過ギハシナイカト思フノデアリマシテ、先般本會議デ拓務大臣ノ御話ニナリマシタヤウニ、稻ヲ作ルノヲ止メテ、棉ヲ作レト云ッタ所デ、獎勵金デモアレバ作ルケレドモ、結局儲カル物ヲ作ルノガ人情ダト云フ御話、其通りデアリマシテ、先日此席デ申シマシタト思ヒマスガ、臺灣デモ獎勵金ヲヤッテ稻田ヲ潰ス、サウシテ「ラミ」ヲ作ル、其代リニ外デドン、無斷開墾ガ流行スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、先般臺灣ヘ參リマシテ——長官モ御見エニナッテ居リマスガ、サウ云フ實情ヲ見マシテ、成程外地トシテハ、内地ノ米穀政策ニ順應シテソレト出來ルダケ協調ヲ

サレルコトトハ思ヒマスケレドモ、外地―

―臺灣ト言ハズ、日本ノ米穀政策、食糧政

策等ノ見地カラ考ヘテ、斯様ナ折角此前ノ

岡田内閣ノ委員會デ御決メニナリマシタコ

トデアリマスケレドモ、亦政府ノ實行サレ

テ居ルコトデアリマスケレドモ、私共ハ獎

勵金ヲ出シテマデ今稻田ヲ潰ス、サウ云フ

ヤリ方ハ誤ッテ居ルト思ヒマスカラ、サウ

云フコトハ改メル方ガ宜カラウト思ヒマス

ガ、是等ニ付テ一ツ拓務大臣ノ御感想ヲ、勿

論農林大臣トノ御關係モアリマセウカラ、

ハッキリト申セナイ點ハ御無理ハ申シマセ

スガ、伺ヒタイト思ヒマス

○永田國務大臣 何カ臺灣デ澤山米ヲ作レ

ト仰シヤルヤウニモ聞エタ位デアリマシ

タケレドモ、ソレハ今日マデ臺灣デ米ヲ澤

山作ッテ行クコトニ付初メハエライ獎勵

ヲシテ、サウシテ今度ハ獎勵ヲ廢メルト云

フ時代ガナクシテ、一足飛ビニ作ルコトヲ

止メサシテ、ソレニ代償ヲヤル、斯ウ言ッ

ヤウナ行方ハ面白クナイト云フ御話ニ對シ

テハ私モ隨分御同感ニ感ズル點ガアリマ

ス(拍手)併シ唯斯ウ云フ政治上ノ情勢ニ

依ッテ、今マデ作ッテ居ルモノヲ止メテ獎勵

費ヲヤル、代償ヲヤルカラ外ノモノヲ作レト

シテ行カクチャ政治情勢ニ適應シナイト

云フ情勢ガアツタラウト思フノデアリマス、

ソレデ必シモ其行方ガ惡イトハ申サレマセ

ス、己ムヲ得ズシテサウ云フヤウナ強行手

段ニ出タモノト思ヒマス、只今モ御話ノ向

フノ者ハ嫌ッテ居ルデヤナイカ、嫌ッテ居ル

者モ自然アリマセウケレドモ、是ハモノノ

考ヘ様デアッテ、臺灣デアラウガ、朝鮮デア

ラウガ、ドウシテアノ外地ガ今此様ニ繁昌シ

テ居ルカト云ヘバ、要スルニ内地ガシッカリ

ト斯ウ繁昌シテ居ル結果ガアチラニ反射シ

テ繁昌スルノデアッテ、内地ガナクテ臺灣ヤ

朝鮮ノ繁昌ヲ私ハ想像スルコトガ出來ナ

イ、ソレデスカラ臺灣ヤ朝鮮ノモノガ小々

ノコトガアッテモ、ソレハ内地ノ人ト共存共

榮デヤルト云フ大キナ考方デ行カナクチャ

ナラヌノデアッテ、今日ノヤウナ狀態デ小々

米ヲ作ルコトニ強イ壓迫ヲ加ヘルヤウナコ

トヲシテモ、マダ朝鮮ヤ臺灣ノ人ハ私等ノ

目カラ見テ相當ニ幸福ナ狀態ニアルト思フ

ノデアリマス、ソレデスカラ或ル程度マデ

忍ンデヤッテ貰フト云フコトハ、總督府トシ

テモ是ハ難キヲ忍ンデヤッテ居ルコトデア

ラウト思ヒマスカラ、其衷情ニ付テハ御察

シテ願ヒタイト思ヒマス(拍手)

○渡邊委員 實ハ此内外地ノ根本問題ニ

入ッテ、尙ホ人口食糧問題ノ關聯等ヲ御聽キ

シタイト思ヒマシタガ、大分昨日來私バカ

リ質問シテ居リマシテ、他ノ委員諸君ニ御

迷惑ヲ掛ケテ居ル節モアルヤウデスカラ：

：(代表質問ダカラヤリナサイ)ト呼フ者

アリ)農林大臣モ見エナイカラ：

○東委員長 一寸田村サンニ御相談シマス

ガ、農林大臣ガ必要デスカ、拓務大臣ガ必

要デスカ

○田村委員 兩方デス

○東委員長 ソレデハ拓務大臣ノ方ノ質問

ヲ進メデモ宜シウゴザイマスカ

○田村委員 宜シウゴザイマス

○東委員長 ソレデハ渡邊サン、田村サン

ガナデスカラ又適當ナ時期ニ御許シ致シ

マス――デハ田村サンニ許シマス

○田村委員 昭和八年ノ米大豐作ノ爲ニ非

常ニ輿論ハ沸騰致シマシテ、遂ニ現行統制

法一本デハ此過剩米ノ調節ガ出來ナイ、米

穀ノ處置ガ出來ナイ、同時ニ米價ノ維持ガ

困難デアル、此儘デ推移スルナラバ遂ニ米

穀統制法ハ破綻ノ外ハナイ、其結果ハ遂ニ

國ノ財政ニ重大ナル關係ヲ及ボスト云フコ

トデ、非常ニ論議ガ衆議院ニ於テ繰返サレ

マシテ、遂ニ現在ノ提案ヲ見ルコトニナッ

由ヲ眺メマシテ、内地ニ移入セラレマス所

ノ外地米ノ内地移入ニ對シテ、相當管理ヲ

スルナラバ、此米穀ノ數量ノ調節、價格ノ

調節ヲ爲スコトガ出來ル、斯ウ云フコトガ

一般ノ一致シタ意見デアッタト思ッテ居ルノ

デアリマス、然ル所臺灣、朝鮮ニ出來ル所

ノ外地米ニ對シマシテ、内地外地ヲ一貫セ

ザル、外地ノミニ或ハ移入管理ト申シマス

カ、相當ノ管理ヲ加ヘル所ノ法令ヲ制定ス

ルト云フコトハ、外地ノ統治上、殊ニ朝鮮

統治上ニ重大ナ影響ヲ來スモノデアルカ

ラ、差別的待遇トシテ之ヲ管理スルコトハ

出來ナイ、斯ウ云フ風ニ主張セラレタト記

憶シテ居リマスガ、拓務大臣ハ現在ニ於テ

モ其ヤウニ御考ニナッテ居リマスカ、其點ヲ

伺ヒタイト思ヒマス

○永田國務大臣 御尤モナ御尋デ、内地ノ

方面カラバカリ考ヘマスレバ、米ガ足ラナ

イ時ニ朝鮮カラ入レル、米ガ足リル時ニハ

朝鮮カラ少シモ入レナイ、或ハ移入税ヲ課

スルト云ッタヤウナコトヲ考ヘレバ都合ガ

好ササウデアリマスケレドモ、ソレデハヤ

ハリ全ク朝鮮ヤ臺灣ヲ外國竝ニ扱フヤウナ

形ニナリマシテ、元來平素當リ前ノ年デハ

約一千萬石米ガ足ラナイノデスカラ、其時

レバナラヌノデ、或ル場合ニハ臺灣、朝鮮ノアル爲ニ内地ガ非常ニ幸福ヲ得、食糧ノ安定ヲ得テ居ルノデアリマス、ソレデスカラ、少シ米ガ餘計ニナリサウダト云フ時分ニ、外地ダケニ其責任ヲ負ハスヤウナ感ジヲ持タスト云フコトハ面白クナイト思ヒマスカラ、ヤハリ是ハ朝鮮、臺灣、内地ヲ一緒ニシテ、其年ノ米ガ多イカ少イカ、斯ウ云フ頭デ物ヲ考ヘナクテハナラヌト思ヒマスカラ、内地ダケニ米ガ多イ少イト云フ考方デナク——モット極端ナコトヲ言ヘバ、九州デ米ガ多イ少イト云フコトヲ本土トサウ區別シテ考ヘナイヤウナ工合ニ、少シ極端ナ例カモ知レマセヌガ、兎ニ角内地ト臺灣ト朝鮮ト一緒ニシテ、其米ノ生産ガドウナルカト云フコトヲ一ツニシテ考ヘル氣持デナケレバ、ヤハリ臺灣ヤ朝鮮ノ統治ヲ圓滿ニ進メルコトガ出來ナイト思ヒマスカラ、私ハ其心持デ、一緒ニシタ考方デ進ンデ御貫ヒシタイ、斯ウ思ッテ居リマス

○田村委員 只今ノ御話能ク分リマシタガ、私ノ間ハント欲スル所ノモノハ、外地内地ト云フヤウニ區別ヲシテ差別的ニ之ヲ考ヘル、斯ウ云フ意味デハナクシテ、我國ノ今日ノ米穀事情カラ見マスナラバ、拓務大臣御案内ノ如ク、内地ニアル米ガ不足シテ

居ルノデアリマシテ、過剰米ハナイノデアリマス、其不足米ニ對スル移入ハ、外地移入ヲ受ケテ、其調節ヲ圖ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、隨テ過剰米ト云フモノハ、此處ニアルト云フコトヲ豫想致シマスレバ、ソレハ外地ニアルダケト思ヒマスカラ、其過剰米ノアルモノニ統制ヲ加ヘルコトガ一番見易イ、又處理スル上ニ一番シ易イ、又サウシタ方ガ效果的デアルト思フノデアリマス、併シサウ云フコトヲスルノハ内地ノ人ハ宜イガ、外地ノ行政長官ハソレハ差別的待遇トシテ臺灣、朝鮮等ニ重大ナル惡影響ガアルト、斯様ニ今モ御考ニナッテ居リマスカ、サウ云フ空氣ガアリマスカ、斯ウ云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス

○永田國務大臣 是ガ米穀自治管理法スル所ノ一定ノ數量ヲドウ云フ風ニ責任ヲ分擔スルカト云フコトニ付テ非常ニ面倒ナル比率ガ出來テ居ル所以デアラウト思ヒマスノデ、ソレ等ノ事柄ハ自分ノ各管外ニ出ル米ヲ取調べテ見テ、大體内地デハ其三十五、朝鮮ガ四十三、臺灣ガ二十二、斯ウ云フヤウナ標準デ行ッたら宜カラウト云フヤウナコトヲ計算サレテ居リマスガ、斯ウ云フコトモ之ヲ決メルコトハ洵ニ困難ナ狀態デアリマセウケレドモ、併シ先ヅ私ナカガ常識

カラ考ヘテ見テ、斯ウ云フ程度ノコトナラ御互ニ忍ブコトガ出來ナイ譯デモナイカラ、朝鮮ハ朝鮮デ四十三ト云フノデアリマスカラ、凡ソ半額ヲ引受ケテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、ドチラカト言ヘバ產額カラ言ヘバ高イ量ダト思ヒマスガ、是ハヤハリ斯ウ言ッたヤウナ行キ方デナイト、朝鮮デハ何時モ米ガ餘ルノダカラ朝鮮ダケ縛ッテ置ケバ宜イト云フヤウニスルト、無イ時分ニハ無暗ニ朝鮮カラ移入ヲ仰グ狀態ニアルノデスカラ、餘ルト云フヤウナ時分ニ非常ニ慘酷ナ態度ヲ以テ、之ニ臨ムヤウナ感ジヲ起サセナイヤウニスル爲ニハ、ヤハリ今度ノヤウナ此程度ノ率デヤッテ行キマスレバ、互ニドウニカ我慢ガ出來ル程度デハナイカ、斯ウ思ッテ居リマス

○田村委員 私ノ質問ニ對シマシテハ、明瞭ニ、ハッキリト統治ノコトニ對シテハ大臣カラ御辯明ハアリマセヌケレドモ、言外ニハ今尙ホ外地ニ對シテノミ特別法令ノ制定ブスルナラバ、茲ニ重大ナ影響ヲ及ボス虞ガアルト云フ御感ジヲ持タレテ居ルト云フ風ニ解釋致シマシテ諒承致シマス

○角委員 臺灣ノ總務長官ニ一寸伺ヒマスガ、今御配布ニナリマシタ表ニ依リマス、臺灣ノ反當リノ收量ノ、第一期作及第二期

作ヲ通算シタモノデアルト云フコトデアリマスガ、ソコデ一寸御尋スルノデスガ、反當リ平均收量ト云フモノハ、是ハ水田ダケデアリマスカ、陸稻モ含ンデ居ル平均ナノデアリマスカ、若シモ陸稻モ含ンデ居ルモノトスルト、水田ダケノ平均ハドノ位ニナリマスカ、現在水田ノ總面積ト云フモノハドノ位アルカト云フコト、次ニ二十年程前ニ總督府ノ、マア獎勵機關トデモ申ス農事試驗場ガ試驗的ニ獎勵的ニ米作ヲ試ミタ時ニ、内地ノ一季作——内地ハ勿論一季作デアリマスガ、内地ノ一年ノ一段當リ約二石弱、之ニ對シテ、臺灣デモソコマデ行ケルト云フヤウナ成績ヲ現ハシタコトヲ承知致シテ居リマスガ、現在農事試驗場ガ指導スル水田收穫ノ成績ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカト云フコトヲ御伺シタイ

○平塚政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、其統計ハ水田トソレカラ陸稻ト兩方合計致シマシタ數デアリマシテ、水田ノ方ハ平均ヲ致シマスルト、一甲歩十三石三斗三升デアリマス、ソレカラ陸稻ノ方ハ平均致シマスルト、八石六斗ト云フコトニ相成ッテ居リマス、尙ホ試驗場ノ方ノ成績ハドウカト云フコトデアリマスルガ、大體的ニ見マシテ試驗場ノ方ノ結果ハ内地ノ段當リ

ノヤウナ程度ニハマダ達シテ居リマセヌ

「モウ少し大キナ聲デ願ヒマス」委員
長整理シテ下サイ」ト呼フ者アリ」

○東委員長 關聯事項トシテ許シテアルノ
デスカラ……

○平塚政府委員 尙ホ水田ノ總面積ハ四十
六萬二千九百十四甲デアリマス、大體御答
申上ゲテ置キマス

○角委員 サウスルト、今御答ノ水田ノミ
ノ收穫ガ一甲歩ニ付キ十三石デスカ

○平塚政府委員 十三石デス

○角委員 一甲ト云フノハ約一町ト見テ宜
イノデスネ

○平塚政府委員 約一町デス

○東委員長 モウ宜シウゴザイマスカ――

ソレデハ田村君

○田村委員 私ハ拓務大臣トシテノ答辯ヨ
リモ、寧ロ政府ノ代表トシテノ答辯ヲシテ
貰ヒタイト思ヒマスガ、私特ニ確メタイト
思ヒマスコトハ、國務大臣トシテ先程私ガ
伺ッタ點ヲ如何ニ御考ニナリマスカト云フ
コトガ此米穀法案ヲ審議スル上ニ於テ重大
ナル關係ヲ持ッテ居リマスカラ之ヲ伺フノ
デアリマスガ、先刻ノ私ノ質問ニ對シマシ
テ唯、肯カレタダケデハ速記録ニ載リマセ
ヌカラ、ハッキリト此點ニ關シテ御明答ヲ承

リタイト思ヒマス

○永田國務大臣 米穀統制ノコトニ付キマ
シテ、外地ダケニ對シテ統制ヲ行フト云フ

コトハ朝鮮ノ統治上臺灣ノ統治上宜シクナ
イト確信シテ居リマス

○東委員長 ソレデ宜シウゴザイマスカ
――ソレデハ中村君

○中村委員 先程來拓務大臣ノ御答辯ヲ
伺ッテ居リマス、朝鮮、臺灣等ノ外地ダケ
ニ付テ統制ヲスルト云フコトハ、何トナク
同ジ日本ノ國民デアリナガラ、不公平ナ取
扱ヲスルヤウナ嫌ヒガアルカイケナイノ
ダト云フヤウナ意味ニ私聽キ取ッテ居ッタノ
デス、又只今拓務大臣ノ結論的答辯ニ依リ
マス、ト、外地ノミニ對スル統制ハイケナイ
ト思ッテ居ル、斯ウ云フ斷言的ノ御言葉ヲ
承ッタノデアリマスガ、私ハ必シモサウ思ハ
ナイノデアリマス、ソコデ更ニ一應拓務大
臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマスガ、今
過剰米ヲ生ズルノハ外地ノ生産高ニ依ッテ
過剰米ヲ生ズルノデアリマス、少ナイ所ニ
統制ヲスルト云フコトハ、私ハ此米ノ問題
ニ付テノミ考ヘナクテモ、他ノ問題ニ付テ
考ヘテモ不合理デハナイカト思フノデアリ
マス、餘ル程出來ル所ニ統制ヲ行フ、是ガ
眞ノ統制デナケレバナラスト思フ、斯ウ云

フ點カラ見マスルナラバ、強チ外地デア
ルガ故ニ特別扱ヲスルヤウナ、精神的ニ變ナ
感ジヲ與ヘル嫌ヒハ全然ナイト思フノデア
リマス、過剰米ヲ生ズル其地帯ニ付テ特別
ノ統制方法ヲ考ヘルト云フコトハ相當理論
的ニモ、又實際的ニモ根據ノアルコトデア
ラウト思フノデアリマス（拍手）嘗テ此米穀
對策調査委員會ノ答申竝ニ其審議當時ニ於
キマシテモ、此處ニ居ラレル渡邊君ハ當時
ノ委員ニナッテ居ッタヤウデアリマスルガ、
外地米ノ統制ト云フコトニ付テハ、相當論
議セラレテ居ル事實ガアルノデアリマス、
尙ホ序ニ私此際承ッテ置キタイト思ヒマス
ノハ、米穀對策調査委員會ノ答申ヲ見マス
ト、附帶決議トシテ、内地ノ生産統制ニ
付テ適當ナル方策ヲ政府ハ講ズベシ、斯ウ
云フコトガアルノデアリマス、既ニ此答申
ガ行ハレテ以來相當期間ヲ經テ居ルノデア
リマスガ、政府ハ此點ニ付テドノ程度ニ考
ヘテ居ラレルカ、殊ニ私ハ拓務大臣ニ對ス
ル質問デアリマスカラ、朝鮮、臺灣ニ付テ
之ヲ御尋シタイノデアリマスガ、私素人デ
アリマスケレドモ、專門家カラ聞ク所ニ依
リマス、朝鮮及内地ノ風土ハ羊ノ飼育ニ
非常ニ適シテ居ル、北米ノ加奈陀デ飼育シ
テ居リマス所ノ羊ハ日本ニ非常ニ適シテ居

ル、將來日本ガ、今加奈陀カラ輸入シテ居
リマスル所ノ羊毛ヲ、此羊ノ飼養ニ依ッテ斷
タレルヤウナコトガアッテハト云フコトデ、
非常ニ向フデハ心配シテ居ルト云フコトデ
アリマス、是ハ羊ニ付テノ專門家ノ話ヲ私
聞イタノデアリマスガ、殊ニ日本ハ貿易關
係カラ見マシテモ、現在ノ狀況カラ見テ、
羊毛ノ輸入ト云フモノハ、可ナリ大キイ輸
入品ノ一ツニナッテ居ルト私ハ思フノデア
リマス、今後益々和服ヲ用ヒテ居ッタ所ノ日
本人ガ洋服ヲ用ヒル傾向ガ強イノデアリマ
ス、茲ニ於テ產業ノ自給自足ノ政策ノ上カ
ラ見テモ、私ハ斯ウ云フヤウナ點ニ付テ當
然政府ノ當局者ハ十分研究ヲ遂ゲナケレバ
ナラスコトデアルト思フノデアリマスガ、
是等ノ點ニ付テ拓務關係ノ當局ニ於カレテ
ハドウ云フ御研究ヲサレテ居リマスカ、ソ
レヲ一ツ此際承リタイト思ヒマス

○永田國務大臣 今御尋ネノ羊ノコトカラ
先ニ申上ゲマスガ、是ハ朝鮮デハ御承知ノ
通り宇垣總督ノ時カラ特ニ南綿北羊ト云フ
コトヲ產業ノ一ツノ方針トシテヤッテ居リ
マス、南綿ハ南ノ方ハ綿ヲ作レ、北ノ方ハ
羊ヲ養ヘ、斯ウ云フコトニナッテ既ニ綿羊ノ
獎勵ノ協會ノヤウナモノヲ作ッテヤッテ居
マス、是ハ朝鮮ニ於テ將來益々北ノ方デ綿

羊ヲ獎勵スルコトヲ努メテヤッテ居ル次第

デアリマス、臺灣デハ綿羊ノコトニ付テハ

聞イテ居リマセヌ、是ハ今ヤッテ居リマセ

ヌ、ソレカラ米ノ方ノ過剩米統制ト云フコ

トニ付テハ、過剩米ト云フコトハソレハ此

自治管理法ノ一番終ヒノ附則ニ出テ居ル率

ハ、ソレハ要スルニ或ル區域々々ニ付テソ

管外ニ出ル米カラ計算シテ斯ウ云フ率ガ

出テ居ルト思ヒマス、ソレハ朝鮮デモ南ノ

方ガ餘計米ガ出ルトカ北ガ少イトカ色々區

別シテ考ヘレバサウ云フヤウナ所モアルト

思ヒマスガ、過剩米ト云フコトヲ計算スル

ノニ、或ル區域ヲ澤山ニ限ッテ管外ニ出ルモ

ノヲ計算シテ斯ウ云フモノニナッテ來タト

考ヘテ居リマスガ、ドウモ朝鮮ヤ臺灣カラ

米ガ入ッテ來ル、ソレダケヲ統制シテ少イ部

分ニ付テハソチカラ持ッテ來サス、内地ニ

豐作ガアッタ時分ニハ一切責任ヲ朝鮮臺灣

デ持ツヤウナサウ云フ形ニナリマスノデ、

ヤハリ私ハサウ云フヤリ方デハ朝鮮臺灣ガ

全ク内地ノ犧牲ニナルヤウナ感じヲ持タシ

テ面白クナイデハナイカ、共々ニヤハリ豐

作ノ時ハ豐作ノ處置ヲスル、凶作ノ時ハ凶

作ノヤウニ餘ッテ所カラ持ッテ行クト云フコ

トヤッテ、ヤハリ所謂一視同仁ノヤウナ氣

持デ之ヲ考ヘテ御覽ヒセヌト統治上モ非常

ニヤリ惡イト考ヘテ居リマス

○中村委員 私ハ朝鮮臺灣ノ農民ニ其統制

ノ負擔ヲセシメヤウト云フ考デハアリマセ

ヌ、其過剩米ヲ生ズル地帯ノ統制ヲスルコ

トガ、統制ニ依ッテ米穀ノ調節ヲ圖ル上ニ一

番便宜デアルト云フ立前カラ云ヒマス、

農民ニ負擔セシムル必要ハナイ、其統制ニ

依ッテ起ル所ノ負擔ハ是ハ政府ガスレバ宜

イノデアリマス、今回ノ此法案ニ依ル所ノ

統制ニ依リマシテモ、自治管理ニ依リマシ

テモ政府ハ低利資金ヲ貸付ケル、其利息ヲ

過日局長ノ御答辯ニ依リマスト補給スル、

倉敷料ヲ補給スルト云フヤウニ資金ノ生ズ

ル所ハ政府デアリマス、此政府ノ資金ニ依ッ

テ統制ヲ行ヒ必要ニ應ジテ之ヲ内地ニ移入

スル、即チ農民ニハソレヲ負擔セシメナイ

ト云フコトデ行ケバ、私ハ何等弊害ハナイ

ノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、

ソレカラ尙ホ一言附加ヘマスルナラバ、過

日ノ局長ノ御答辯ヲ伺ヒマシテモ外地ノ米

ノ生産費ト申シマス、値段ハ内地ニ比較

シテ外地ノ方ガ五十錢安イサウデアリマス、

ソレカラ移入ノ運搬費ガ一圓五十錢掛ルト

云フコトヲ唯耳デ聽イテ記憶シテ居ルダケ

デアリマスガ承ッテ居リマス、サウ云フ經費

ノ安イ所ニ於テ統制ヲ行フ方ガ政府ガ其資

金ヲ調達スル點カラ見マシテモ政府ノ投ズ

ル資金ハ餘程私ハ輕減サレト思フ、此法

案ニ依ッテ生産費ノ高イ所モ安イ所モ運賃

ノ掛ル所モ掛ラナイ所モ一緒ニシテ統制ス

ルト云フコトニナレバ、自然政府ノ拂フ犧

牲ハ多クナル、サウ云フ安イ所ノミニ依ッテ

統制ヲ行ヘバ其犧牲ハ少クテ済ムデハナイ

カ、斯ウ考ヘマスガ、此點ニ付テ拓務大臣

ハドウ云フ御研究、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居

リマスカ、之ヲ伺ヒマス

○永田國務大臣 大部難シイ御話デ、私シッ

カリ吞込メナイヤウナ點モゴザイマス、

朝鮮ハ生産費ガ安イカラ安イ所デ統制シロ

ト云フコトニ付テハ私能ク吞込メナイ、デ

スカラ其點ハ一寸今早速ニ御答ヲ致シ兼ネ

マス、尙ホ生産費ノコトハ政府委員カラ答

辯致サセマス

○荷見政府委員 一寸只今御話ノ五十錢ト

云フ問題ハ、私其數字ハ申シマシタガ、是

ハ生産費ノコトデハゴザイマセヌノデ、昨

日他ノ方カラ朝鮮米ト内地米トノ格差ガ大

體ドノ程度デアアルカト云フコトデ、内地ノ

主要市場ノ平均デ格差ガ五十錢デアルト云

フコトデ申シマシタノデ、生産費ノコトデ

ハゴザイマセヌカラ一寸訂正致シマス

○中村委員 私ノ今御尋シタ申デ拓務大臣

ノ御答ノナカッタコトハ、値段ノ安イ所デ統

制ヲ圖ッタ方ガ宜イノデハナイカト云フコ

トニ付テハ今御答シ兼ネルカラ追テト云フ

御話デアリマシタガ、其前ニ申シマシタ所

ノ質問ニ續イタ言葉デ、外地米ノ統制ヲス

ルコトガ少シモ朝鮮臺灣ノ農民ニ不利益ヲ

與ヘルモノデハナイ、又不愉快ナ感じヲ與

ヘルモノデモナイ、其責任ノ負擔ハ政府

ガスレバ、農民ニ其負擔ヲ爲サシメナケレ

バ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ點ヲ聞イタノ

デアリマスガ、此點ニ付テ何モ御答ガナカッ

タノデアリマスガ、サウ云フヤウナ點ニ付

テハ何等御考ハアリマセヌカドウカ、ソレ

ヲ伺ッテ見タイ

○永田國務大臣 ドウシテモサウ云フ行キ

方ヲシマスコトハ朝鮮臺灣ヲ抱込ンデ一ツ

ノ國家トシテ發達シテ行ク上ニ於テ非常ナ

差別的ノ取扱ヲスルヤウナ感じヲ與ヘテ、

ドウモソレハ面白クナイト何處マデモ其御

意見ニハ賛成致シ兼ネマス

○中村委員 先程申シマシタヤウニ既ニ米

穀對策調査會ノ答申ノ中ニモ内外地ノ生産

統制ニ付テ適當ナル方策ヲ政府ハ講ズベシ

ト云フ固イ條件ヲ附セラレタノデアリマス

ガ、既ニ年月ノ經ッテ居リマス今日、只今農

林大臣モ御見エニナッタヤウデアリマスガ、

併ナガラ生産統制ヲ行ハウトスレバ、主トシテ外地ニ關スルコトニナルカモ知レマセヌケレドモ此生産統制ニ付テ政府ハ如何ナル對策ヲ講ゼラレタカ、又如何ナル御研究ヲ重ネテ來ラレタカ、此點ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 是ハ昨日モ渡邊君ノ御質問ノ際ニ此點ニ觸レテ申シタト考ヘテ居リマスガ、内外地ヲ通ジテ一貫シタ方針ノ下ニ過剩米ノ統制ヲ行フ、斯ウ云フ立前カラ考ヘル場合ニ、此過剩米穀ニ付テ、或ル場合ニ生産ノ統制ヲ行フト云フコトノ必要デアルト云フコトハ、是ハ決議ノ趣意ニ現ハレテ居ル所デアリマスガ、之ノ實際ノ扱ヒ方トシテ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、即チ茲ニ附帶決議ノアリマス通りニ、代作ノ獎勵、或ハ海外販路ノ開拓、新規利用ノ増進、斯ウ云フヤウナ色々ナ點ニ付テ考ヘナケレバナラス、又今日生産統制ヲ行フ、過剩デアルカラ生産統制ヲ行フト申シマシテモ、一朝凶作ニナリ、或ハ大體ノ趨勢カラ申シマシテ、人口ノ増加ト云フヤウナ點カラ考ヘマス、之ヲ徹底的ニヤルト云フコトニ付テハ、又大イニ考慮ヲシナケレバナラス所ガアリマシテ、ソコニ米ノ生産ニ對スル對策ニ付テ、政府トシマシ

テハ如何ナル人ガ局ニ當リマシテモ非常ニ苦心ガアリ、又困難ノアル所ト考ヘマスル、之ヲ具體的ニ何ヲシタカ、ドウシテ居ルカト云フ風ニ御話ヲ承リマシテ、之ニ對シテ斯々ノ事ヲ斯々ニ計畫シテヤッテ居ルト云フコトヲ端のニ御答スルト云フコトハ、非常ニ困難ナコトデ、寧ロ不可能ナリトモ言フベキ困難ナコトデアリマスカラ、是ハ此精神ニ基キマシテ、サウシテ政府トシテ此決議ノ趣意ヲ體シテ實行ニ之ヲ移シテ行ク、現ニ臺灣ニ於テハ代作ノコトニ付テ相當獎勵ヲ致シテ居ル、又朝鮮ニ於テモサウ云フヤウナ方針ヲ以テ總督府ハヤッテ居ル、是ハ中央ノ政府ト協調ヲシ、步調ヲ合セテ行クト云フヤウニスルノ外ナイ、斯様ニ自分共ハ考ヘテ居リマス

○中村委員 關聯質問ガ長クナッテ恐縮デスガ、モウ一ツ、只今農林大臣ノ御答ニ依リマス、具體的事實ニ付テ答辯スルコトハ困難乃至ハ不可能ノコトニ屬スルト云フ御言葉ヲ承リマスガ、既ニ相當ノ年月ヲ經テ居ル今日、左様ナ御言葉ヲ承リマスコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマス、ソコデ私ハソレニ關係シテヤハリ當時ノ答申ノ中ニ、政府ハ海外販路ノ開拓、新規利用ノ増進等ニ付テ適當ナル方策ヲ講ズベシ、斯ウ云フノガヤ

ハリ今ノ附帶條件ト共ニ附ケラレタノデアリマス、海外ノ販路ノ開拓、或ハ新規利用ト云フコトハ、相當當時モ論議サレタコトデアリマセウシ、吾々常識デ考ヘテ見マシテモ、相當餘地ノアルコトデアルト思フノデアリマス、此點ニ付テ當局ハドウ云フ風ナ方法ヲ探ッテ參リマシタカ、ソレヲ一ツ此機會ニ承リタイ

○島田國務大臣 新規利用ノコトニ付キマシテハ、政府トシテ研究モシ、又實際ニ色々施設ヲシテ居リマス、是ハ政府委員ヨリ御答ヲ致スコトニ致シマス

○荷見政府委員 只今御尋ノ新販路ノ開拓、或ハ新規利用ノ研究ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ昨日モ御話ノゴザイマシタ點デゴザイマスガ、政府所有米穀特別處理法ニ依リマシテ、試驗研究等ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ中々各般ノ方面ニ互リマシテ新シイ研究デゴザイマスカラ困難デアリマスガ、年月ノ短イ割合ニ、各種ノ方面ニ手ヲ著ケテ居ル譯デゴザイマス、今日差上ゲマシタ政府所有米穀特別處理法ニ依リ處分シタル米穀數量ノ表ノ備考ニ掲ゲテ置キマシタヤウナ施設ヲ大體致シテ居リマス、又新販路ノ開拓ニ付キマシテハ、是ハ市場ヲ漸次開拓致シテ參リ積リデ

ゴザイマシテ、昨年カラ歐羅巴ヲ中心ト致シマシテ、倫敦ニ農林省ノ官吏ヲ駐在サセマシテ、販路ノ狀況等ニ付テモ折角調査ヲ致シテ居リマス、尙ホ昭和五年來開拓致シマシタ販路等ニ付キマシテハ、出來ルダケ其維持ニ努メテ居ル次第デアリマス

○中村委員 新規利用ノ方法ニ付テ研究ヲ續ケテ居ルト云フ御話デアリマスガ、私ノ知ル所ニ依リマス、其施設ハ極メテ微々タルモノ、ヤウニ思ハレマス、實際政府ハ新規利用ノ研究ニ付テ一體下ノ位ノ資金ヲ投ジテ、ドノ程度ノコトヲヤッテ居ラレルカ、ドノ位ノ豫算ヲ掛ケテ居リマスカ

○荷見政府委員 大體七萬圓位ノ範圍内デ致シテ居リマス、ソレカラ政府所有米穀ニ付キマシテハ、是ハ色々委員會ノ決議ヲ以テマシテ、其方ニ若干ノ米ヲ利用シテ居リマスコトハ此表ニ御覽ヲ願フ程度デゴザイマシテ、二箇年間ニ互リマシテ、約十四萬石バカリノモノガ使用致サレテ居ルコトニナッテ居リマス、私共ト致シマシテハ、是ハ出來ルダケ大規模ニ致シタイノハ山々デゴザイマスガ、ソレニ致シマシテモ初メカラサウ大キナコトヲ致ス譯ニモ行キマセヌシ、研究ガ段々進ムニ連レテ出來ルダケ大キクシタイト云フ希望ハ持ッテ居リマス

第六類第一號 米穀自治管理法案外二件委員會議錄 第二回 昭和十一年五月十二日

○中村委員 大ニ今後奮勵セラレンコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○東委員長 ソレデハ田村君

○田村委員 私ハ米穀自治管理案ニ對シテ二三要點ト思フ點ニ付テ伺ヒタイ、本案ハ御案内ノ如ク、即チ六十七議會ニ提案ヲ致サレマシテ、相當長イ期間ニ亙リマシテ審議ヲ盡サレタノデアリマス、殊ニ其當時委員ノ一人デアッタ私トシテハ、大體ニ於テ案ノ内容等ニ付テハ審議ヲシテ居リマスカラ、唯自分ノ要點ト思フ點ダケヲ極メテ簡單ニ伺ヒマス

本案ガ提案セラル、ニ至リマシタ所ノ經緯ハ、大臣モ十分ニ御承知ノコトト思ヒマスシ、委員諸君モ亦此事ニ付テハ承知セラレテ居ルコトデアリマスカラ、諄クハ茲ニ申シマセヌガ、同席セラレテ居ル胎内楠右衛門氏ガ六十七議會デアリマシタカ六十六議會デアリマシタカ、米穀問題ニ對スル各般ノ重要ナル法案ガ提案サレマシタ場合ニ、其委員長ヲ勤メラレテ居リマシテ、其際ニ米穀統制法ニ對スル非常ナ論議ガアッテ遂ニ此儘デ推移スルナラバ、國家ノ財政ニ重大ナ關係ヲ持チ、中央ノ財政ニ破綻ヲ生ズルノデハナйкаト云フ虞ガ多分ニ見エルト云フコトガ論議ノ中心トナリマシテ、是

ハ衆議院ハ殆ド全部一致致シマシテ、速ニ時ノ政府ニ向ッテ米穀ニ對スル根本對策ヲ樹立シ、成案ノ出來次第、通常議會ヲ待タズシテ、臨時議會ヲ召集シテ協賛ヲ求メヨ、斯ウ云フヤウナ強イ決議ヲシマシテ、胎中君ノ主宰シマシタ所ノ委員會ハ終了スルコトニナッタノデアリマス、隨テ其結果ニ依ッテ生レマシタ案ガ米穀自治管理案其他ノ二法案デアルノデアリマス、米穀自治管理案ハ大臣モ御承知セラレテ居リマスル通り、此院議ニ依リマスル所ノ根本對策デハナイノデアリマス、即チ將來アルト豫想セラレマス所ノ過剩米ヲ處理スルニ現行米穀統制法一本デハ非常ニ困難デアルカラシテ、之ニ補強ノ必要ガアルト云フノデ、一時的ノ案デアルト私ハ左様ニ承知致シテ居ルノデアリマス、又大臣モ本會若クハ委員會等ニ於テ仰セラレテ居リマスル如クニ、昨日ノ委員會ニ於テモ委員ノ質問ニ對シマシテハ、本案ヲ急イデ提案スルノハ、新ニ根本策ヲ樹立スル爲ノ必要モ認メテ居ルト云フヤウナ御言葉モアッタノデアリマスカラ、大臣ニ於カレマシテハ、根本對策ト云フモノノ樹立ノ必要ヲ痛感セラレテ居ルコト、存ジマス、隨テ米穀對策ニ付キマシテ根本對策ニ對スル所ノ御意見ヲ此際御示シテ願フ

コトガ出來マスルナラバ、大變仕合デアルト思ヒマス、假ニ或ハ政府トシテ、若クハ省トシテノ確定シタモノガナイトシマシタナラバ、大臣一個ノ御考デモ宜シウゴザイマスカラ、其片鱗ダニ御示シテ願ヘマシタナラバ非常ニ仕合ニ思ヒマス

○島田國務大臣 是ハ申上ゲマス如ク、此法案ガ成立ヲ致シマシテ、サウシテ之ヲドレダケノ期間カ此法律ニ依ッテヤッテ居ル間ニ根本對策ト稱スベキモノガ確立スルカト云フコトニ付テハ、只今確實ナ見透シヲ持ッテ居リマセヌ、唯農林當局トシマシテ、又政府ノ一人ト致シマシテ、此案ノ性質カラ考ヘマシテ、此案ヲ一日モ速ニ成立セシメテ、サウシテ米ニ對スル根本ノ對策ヲ確立スル方法ヲ進メタイ、本案ヲ決スルニアラザレバ根本對策ニ進ムコトガ出來ナイト云フノガ昨日以來申上ゲタ當局トシテノ信條デアリマス、只今田村君ノ御尋ノヤウニ根本對策ノ方法ハ、個人的ニ若クハ政府トシテハ固ヨリ決ッテ居リマセヌガ、方法ヲ申セト云フ御言葉デアリマスガ、是ハ中々此處ニ私見ヲ加ヘテ申上ゲルト云フコトノ一層困難ナコトヲ御推察ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯本議場竝ニ此處ニ於キマシテ申上ゲタヤウニ、統制法ヲ前提トシテハ此案ニ依

ルコトガ必要デアアル、ソコデ統制法ヲドウ云フ風ニスルカ、是ガ大キナ問題デアアル、對案ナクシテ現行統制法ヲ廢棄スルコトハ固ヨリ出來ナイ、其對案ニ付テドウ云フ方法ヲ執ッテ行クカト云フコトガ大キナ問題デアリマシテ、即チ之ヲ全ク自由放任ノ昔ニ還ラシムルカ、或ハ國家管理若クハ專賣トカ云フヤウナ方法ニ向ッテ進メテ行クベキモノデアアルカ、此岐レ路ヲ研究スルコトガ國家トシテ最モ重要ナ點デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、其程度ニ於テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田村委員 私モ米ハ大正十年以前ノ自由放任ニ付シテ自由商品トスルカドウカト云フコトニ對シマシテハ意見モアリマスガ、今日ノ我國ノ米穀事情ト致シマシテ、何人モ米ヲ自由商品トシテ放任スルコトガ適當デアラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル方ハナカラウト私ハ思ヒマス、隨テ大正十年以來米穀法ガ改正ヲ見ル度毎ニ、政府ノ力ガ強化セラレタノデアリマシテ、今日ノ統制法ニ對シマシテモ、今御提案ノ自治管理案ニ對シマシテモ、論議ガヤカシク繰返サレルト云フコトハ、外ニモ理由ガアリマスケレドモ、一ツハ政府ノ力ガ斯ク改正サレル度毎ニ加重セラレマスルノデ、何處マデ

結論トシテ行クノデアアルカト云フコトニ
對スル見透シガ十分ニ付カナイト云フ點

ガ、一ツハ其論議ノ中心、論議ノ起ル一ツ
ノ理由ニモナッテ居ルノデハナイカト思フ
ノデアリマス、隨テ政府ニ於カレマシテ
モ、又農林大臣、農林省限リニ於キマシテ
モ、是ガ根本對策デハナイ、何レ根本對策
ヲ樹立セネバナラスト云フヤウニ御考ニナ
リマスルトスルナラバ、院內ニ於キマシテ
モ院外ニ於キマシテモ、米ハ結局專賣ニ進
マナケレバイカヌデハナイカ、斯ウ云フ議
論ガ最近相當強ク強調セラレテ居ルノデア
リマス、又米穀ノ取扱ヲ致シテ居リマスル
人々ノ中ニモ、米ガ自由放任ノ大正十年ノ
昔ニ還ラナケレバ、寧ロ專賣ニ進ンデ貫フ
方ガ宜シイ、斯ウ云フ風ナ意見ガ相當ニ強
ク高調セラレテ居ルト私ハ考ヘマスルガ、
農林大臣ハ此點ニ付キマシテハ十分ニ御承
知デアルト思ヒマスルガ、此議會ノ終了後
ニ於キマシテ、此米ノ根本對策ニ付キマシ
テ、專賣ニスルカ、ドウ云フ風ニ進ムカト云
フコトニ對シマシテ、現在ノ機關ニ新ナ機
關ヲ設ケマシテモ、何レニ致シマシテモ、
之ヲ審議スル、調査ヲ進メルノ御意圖ガア
ルカドウカ、此點ヲ御伺シイ

○島田國務大臣 根本對策ニ付テ考究調査

ヲスルノ考ヲ持ッテ居ルコトヲ言明致シテ
置キマス

○田村委員 只今ノ御答辯ヲ諒承致シマ
ス、私ハ更ニ本案ノ提出ヲセラレマシタ理
由ニ付キマシテ簡單ニ御伺致シテ見タイト
思ヒマス、本案提出ノ理由ニ付キマシテモ
ハ、本會議ニ於テモ、委員會ニ於キマシテモ
壓、述ベラレテ居リマスルガ、要スルニ先刻
拓務大臣ノ御言明ガアリマシタ如ク、外地
ノミニ對シテ特別ノ法令ヲ定ムルト云フコ
トハ差別的待遇ヲスルモノデアルト云フヤ
ウナ見地カラ、外地ノ統治上ニ影響ヲ及ボ
スト云フ意味ニ於テ、不満足ナガラモ此案
ヲ作ルコトニ相成ッタト斯様ニ承ッテ居リマ
ス、隨テ此短期ト稱セラレテ居リマスル議
會ニ本案ノ提案ヲ見ルニ至ッタノハ、大臣ガ
今日マデ御説明セラレマシタ以外ニ、次ノ
昭和十一年度ノ米穀事情ガドウ云フコトニ
ナルカ、今日ヨリ豫想スルコトガ出來ヌノ
デアリマスカラ、是ガ昭和八年ノヤウナ事
柄ガアリマシタヤウナ場合デアリマシテ
モ、現在ノ米穀統制法デハ之ヲ處置スルニ
非常ニ困難ナル情勢デアリマスルカラ、斯
ウ云フヤウナ事柄モ懸念セラレマシテ、特
ニ御提案セラレタモノデアルト斯様ニモ
私ハ解スルノデアリマス、外ノ理由モアリ

○島田國務大臣

マスルガ、此點モ重要ナ理由デハナイカト
斯ウ思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシ
テハ如何ナル御考ヲ持ッテ居リマスカ

○島田國務大臣 只今田村君ノ御質問ハ他
ノ委員ノ方ノ質問ノ際ニ一寸私モ申上ゲタ
ヤウニ考ヘテ居リマスガ、是ハ御話ノ通り
ニ本案ヲ提出致シマシタ重大ナ理由デアリ
マス、即チ是ハ傳說ノヤウナコトデアリマ
スルカラ、傳說ト云フヤウナ事柄ヲ迷信的
ニ考ヘルト云フコトハ意味ノナイヤウナコ
トデアリマスケレドモ、古來ノ言傳ヘニ依
リマシテ、凶作ガサウ幾年モ續クモノデナ
イト云フコトハヨク言ッテ居ルコトデアリ
マス、豐凶互ヒニ來ルコトハ古來ノ傳說、
サウシテ傳說ト云フノハヤハリ或ル程度マ
デ事實ニ基イタ嚴格ナ統計デハナイケレド
モ、事實ニ於テサウ云フヤウナ經過ヲ致シ
テ居ルノデアリマス、ソコデ本年ノ年頭ヨ
リ昨日即チ今日マデノ狀況カラ見マスルト、
雪害、續イテ氣候ノ不順ト云フヤウナコト
カラシテ、今年モ亦凶作デハナイカ、作柄ガ
良クナイノデハナカラウカト云フコトヲ普
通ニ想像致シテ居リマスケレドモ、併ナガ
ラ今年ハ最早凶作デハナイ、寧ロ豐作デハ
ナイカト云フコトノ想像ガ傳說的ニハ又考
ヘラレテ居リマス、ソコデ本年凶作ガ更ニ

續クト云フコトハ固ヨリ國家ノ爲ニ希望セ
ザル所デアアルガ、凶作ニ對スル場合ニ於テ
ハ從來ノ經驗ニ依ッテ之ニ對スル處置ガ不
十分デアッテモ、之ヲ講ジ得ラレルコトハシ
ナケレバナラス、スルコトノ必要ガアリ、
又ソレニ應ズルコトガ出來ルノデアリマス
ガ、一旦豐作デアルト云フ場合ニハ、即チ
此法律ノ活動ガ直チニ起ルノデアリマス、
此事ニ付テ米穀事情ヲ何レニ考ヘルカト云
フコトハ、考ヘ方デアリ、事實ニ依ッテ證明
スルノ外ナイノデアリマスケレドモ、左様
ナ考ヘ方カラ之ヲ見マシテ、一旦本年ガ平
年作以上ノ場合ニハ直チニ此法案ガ活用ガ
アルモノデアッテ、其意味カラ申シマシテモ
此特別議會ニ於テ之ヲ決定スルコトノ必要
緊切デアアル、斯ウ云フ意味モヤハリ此提案
理由ノ一ツ、重大ナ理由ノ一ツトシテ考ヘ
テ居ル次第デアリマス

○田村委員

本案ノ自治管理案ノ最モ特異
性トモ言フベキ點ハ、農林大臣カラモ屢、御
指摘ニナリマシタガ、此自治管理法案ノ附
則ノ問題デアルト思ヒマス、附則ノ運用宜
シキヲ得マスルナラバ、私ハ本案ガ最モ效
果アリトスルナラバ此附則ノ運用デアアル、
此附則ノ運用ニ付キマシテハ、屢、大臣カ
ラ御聲明ガアリマシタカラ、茲ニ大臣ノ御

答辯ヲ煩ハス必要ハナイノデアリマスルガ、此點ヲ十分御考慮下サイマシテ此附則ノ運用ニ付キマシテ宜シキヲ得ルヤウニ適當ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソコデ私ハ院外ニ於ケル本案ニ對シテノ反對ヲ致シテ居リマスル所ノ理由ヲ伺ッテ見マスルノニ、或ハ本案ヲ實施スルナラバ、國費ヲ之ニ依ッテ減ズルト云フノデアアルケレドモ、ソレハ決シテ國費ヲ減ズルコトニハナラナイ、或ハ小農ヲ苦シメルノデハナイカ、若クハ更ニ其國費ノ減ズルダケノモノハ農村ニ轉嫁スルノデヤナイカト云フヤウナ議論ヲセラレテ居リマスガ、直接院外ニ於テ反對ノ運動ヲシテ居リマスル人ヲ見マスルト、多クハ米穀取扱ヲセラレテ居リマスル人々ノヤウニ思フノデアリマス、是等ノ人々ハ此案ガ實施セラレルナラバ、是ハ産業組合偏重ノ案デアッテ、過剰米穀ヲ取扱フノミデハナクシテ、遂ニハ産業組合ガ農家ノ賣米ヲ全部取扱フコトニナリハシナイカ、此點ヲ最モ心配シ、杞憂ヲシテ居ル事柄デハナイカト思フノデアリマス、即チ既存ノ商權ガ此案ノ實施ニ依ッテ破壊セラレルノデハナイカト云フヤウナ事柄ガ最モ憂慮セラレテ居ル點デハナカラウカト斯様ニ思フノデアリマス、小農ガ此案ノ實施ニ

依ッテ迷惑シハセヌカト云フコトハ大臣ノ御説明ニ依リマシテ雲散霧消シタコト、思ヒマスガ、唯其既存ノ商權ガドウ云フヤウニナルカト云フコトノ杞憂ノ問題ニ對シマシテハ、未ダ是ガ左様ナ心配ナシト言ハレルコトニ付テ納得スルダケノ御説明ガ出來テ居ナイト思ヒマス、大臣ハ本案ヲ提案スル場合ニ於キマシテ、本會議ニ於テ之ニ對シテハ相當ノ用意モアリ、準備モ出來テ居ルガ、未ダ最後の意見ヲ決定シテ居ラヌカラ、此處ニハ公表スルコトハ出來ナイケレドモ、委員會ニ於テハ參考トシテ之ヲ説明シテモ宜シイ、即チ既得ノ商權ト云フモノヲ破壊スルモノデハナイ、脅威スルモノデハナイト云フ點ニ對シテ、委員會ニ於テハ參考ニ之ヲ説明ヲシテモ宜シイ、斯様ニ申サレテ居リマス、又私ノ承知シテ居ル範圍デハ、昨年ノ秋以來、米穀取扱業者、産業組合ノ代表者竝ニ政府當局ト配給改善協議會ト云フヤウナモノヲ屢、開催セラレマシテ、寧ロ販賣業者ニ有利ニ此協議ガ進メラレテ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、此際此點ヲ伺フコトガ出來マスナラバ仕合デアリマス

○島田國務大臣 本案ニ關シテ産業組合ニ對スル問題ニ付キマシテハ、是ハ曩ニ第六

十七議會ノ際ニ、附帶決議ニモ現ハレテ居ルノデアリマス、唯米ノ問題ニ關シテ産業組合ノ事柄ヲ論ズルコトハ、是ハ少シク部分ヲ以テ全體ノ議論ニ互ルヤウニナル嫌ヒガアルト考ヘテ居リマスガ、全體トシマシテ此産業組合ノ設立ノ本旨カラ考ヘテ、産業組合ノ制度ガ成立スベキ、又之ヲ發達スベキ根據トナルト云フコトハ議論ノナイ所デアリマス、唯産業組合ガ其成立發達ヲ遂ゲル上ニ於キマシテ、或ハ組合自身ノ内部の事情、或ハ又其活動ノ徑路ニ於テ組合ノ本旨ヲ逸脱スル如キコトガアルト、斯様ナ場合ニ所謂産業組合ト他ノ商工業者、斯ウ云フモノトノ間ニ接觸ガ生ズル譯デアリマス、此點ニ付テハ所謂反產運動ト産業組合運動、此兩者ノ間ニ於テ政治ノヤリ方ト致シマシテハ其協調ヲ保チ、兩者交、其目的ヲ遂グルヤウナ方針ヲ以テ進マネバナラス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、

米ノ問題ニ關シマシテ即チ米穀商人又米ノ取扱ヲシテ居ル所ノ方面ト、サウシテ米ノ生産者、斯ウ云フ方面トノ關係ニ於キマシテ、此自治管理法ガ制定サレタ場合ノ接觸ニ付キマシテハ、只今田村君ノ御話ニ相成リマスルヤウニ、又私ガ御答申上ゲマシタヤウニ、政府ニ於テハ此法案

ノ不成立ニナリマシタ以後ニ於テ、此法案ニ對スルソレノ方面カラノ批評反對ニ鑑ミテ、關係ノ人々ヲ以テ組織スル所ノ委員會ニ於キマシテ、斯様ナ問題ニ付テハ相當ニ研究ヲ致シマシテ、尙ホ確定ノ成案ニ達シテハ居リマセヌケレドモ、相當ナ實質ヲ具ヘタ案ヲ立テツ、アル次第デアリマス、是ハ未ダ公表ヲスルト云フ程度ニハ無論達シテ居リマセヌケレドモ、其ヤリ方ノ動向等ニ付キマシテハ御參考ノ爲ニ政府委員ヨリ——今日ハ時間ガアリマセヌガ、或ル場合ニ於テ之ヲ説明スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○田村委員 大體諒承致シマシタガ、只今ノ御答辯ハ尙ホ政府委員ノ御答辯ヲ承リマセヌト分ラヌト思ヒマスケレドモ、大體ニ於テ斯ウ解釋致シテ差支ナイデセウカ、既得權ノ保全ニ付テハ配給改善協議會ニ於テ政府ノ斡旋宜シキヲ得ルナラバ商權ノ擁護モ困難デハナイ、斯様ニ政府ニ於テハ確信ヲ持タレテ居ル、隨テ現在ノ米穀取扱業者ニ脅威ヲ與ヘルモノニアラズト云フコトハ、斷言ヲシテ差支ナイト云フヤウニ解釋シテ差支ナイデセウカ

○渡邊委員 議事進行ニ付テ——先程私ハ順序ヲ追ウテ御尋シテ居リマシタガ、農林大

臣方御見エニナリマセヌノデ、質問ヲ一寸一時中止シテ居リマシタガ、尙ホ財政上ノ點ト只今ノ産業組合ノ關係ノ點ト此法案ニ關係ノアル範圍ニ於テ御伺致シタイト思ッテ居ルノデアリマス、適當ナ機會ニ質問サセテ戴キタイト思ヒマス

○東委員長 今ハモウ十分シカ時間ガアリマセヌカラ、此次ハ山村サンニ許スコトニナッテ居リマスガ、適當ノ時機ヲ見計ッテ渡邊サンノ質問ヲ許スコトニ致シマス

ソレデハ本日ハ此程度デ休憩致シマス、午後ハ一時カラ開會致シマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時十六分開議

○東委員長 ソレデハ午前ニ引續キ開會ヲ致シマス、山森サンニ發言ヲ許シマス

○山森委員 私ハ社會問題トシテノ見地カラ本案ニ關シテ農林大臣又國務大臣トシテ御尋ヲシタイト思ヒマス、數次ノ御説明ニ依リマシテ、根本的米穀對策ニ達スル過程トシテ此案ガ必要ダト云フコトニ付キマシテハ、十分諒承スルコトガ出來ルト思ヒマス、今日ノ農村ノ狀況ヲ見マス、何トカシテ貰ハナケレバナラヌ事情ニアルノデアリマスルカラシテ、當局者竝ニ多數ノ人

ガ、是非トモ米穀對策ノ根本的解決ニ至ル過程トシテ、斯ノ如キコトヲヤラナケレバナラヌト云フ御意向ヲ持ッテ居ラレル方ハ少クナイト思フノデアリマス、唯私ノ伺ヒタイト思ヒマスノハ、今日戒嚴令治下ニ於

キマシテスラモ、尙且ツ此問題ニ對スル反對運動ガ極メテ深刻デアリマシテ、現ニ吾ガ其訪問ヲ受ケ、或ハ電報、書信ニ依ッテ得マスル反對論者ノ聲ヲ聞キ、姿ヲ見ルニ付ケマシテモ、ドウ云フ譯デ此案ノ實體其モノガ、斯ウ云フ米穀商デアルトカ、一部ノ反對ノ人ニ分ラヌノデアラウカと思フ位デアリマス、是等ノ人々ノ言フ所ヲ聞キマ

スレバ、米穀商ノ數ハ二十萬戶、家族竝ニ從業員ヲ合セマシテ二百萬人ノ生活生死ニ關スル問題デアルト云フヤウナコトヲ具サニ述ベルノデアリマス、果シテ當局ニ於カレマシテハ、斯ウ云フ反對運動者ガ唱ヘテ居リマスルヤウニ、此案ガ實行サレルナラバ、非常ナ打撃ヲ受ケル、或ハ生死ニモ關係スルコトデアルト極言スル其事情ニ付テ、大臣ハ如何ナル御見解ヲ持ッテ居リマスカ、先ヅ伺ヒタイノデアリマス

○島田國務大臣 此法案ガ提出セラレマシテ以來、即チ第六十七議會以來、只今山森君ノ御指摘ニナリマシタ米商人ニ對シテ

死活ノ問題ニナルト云フ意味ノ意見ガ相當強ク唱ヘラレテ居ルト云フ其事實ニ付テハ

承知致シテ居リマス、併ナガラ政府トシマシテ此法案ヲ提出シ、是ノ成立ヲ希望シテ居リマスル意味ノ中ニハ、斯様ナ米ノ商人ニ對シマシテ脅威ヲ感ゼシムルヤウナ結果ヲ招來スルト云フヤウナコトハ、全然無

論企圖致シテ居ル譯デモナシ、又考ヘテ居ル譯デハ固ヨリアリマセヌシ、左様ナ結果ノ起ルヤウナコトニ至ラナイモノデアリ、又至ラシメテハナラヌ、斯ウ云フ風ニ結論トシテハハッキリ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ付キマシテ、私ハ甚ダ餘談ニ互ルヤウデアリマスケレドモ、本案ノ出來マス

調査會當時、又自分ガ政黨ニ居リマシテ此案ニ關係シテ政黨ノ案ヲ立案ヲ致シマシタ當時ノ事情ニ付テ、極メテ簡單ニ御參考マデニ申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思フノデアリマスガ、此統制法ニ相當ナ補強工作ヲナスニアラザレバ、米穀事情ノ下ニ於テ、

政府ノ負擔竝ニ米穀關係者ニ對スル影響等カラシテ、何等カノ方法ヲ講ズルノ必要ガアルト云フ點ヨリ出發致シマシテ、根本ノ對策ノ考究ト云フコトカラ出マシテ、遂ニ根本對策、即チ國家管理及ビ專賣、或ハ自由放任、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ根本的ニ考

究シ對策ヲ立テル以前ニ、現行ノ統制法ノ補強工作ヲ爲シテ、統制法カラ生ズル種々

ナ影響ヲ除クト云フコトダケハ差當リスル必要ガアル、此差當リノ必要ニ應ズル爲ニ一ツノ對策ヲ立テナケレバナラヌ、斯様ナ意味カラ段々調査ヲ進メマシテ、遂ニ是ガ民政黨ノ調査セラレタ案、政友會ノ調査セラレタ案、ソレ等ガ合流シテ、政府ノ又考究

シタ所ト合ハサレマシテ、此法案ニ結局ナッタノデアリマスガ、其調査會ノ當時ニ於キマシテ、是ハ調査委員會ニ於テ此事ガ問題ニナッタ、統制法ノ補強ノ意味ヲ以テ自治管理ノヤウナ制度ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ對シテ諸種ノ意味カラシマシテ、此法案ノ實施ニ依テ、影響ヲ受ケル者ガアルト云フ

點カラ、是ハ主トシテ私ガ自分デ其事ヲ申シタノデアリマスガ、其場合ニ於テ、當時委員會ニ於テ論議サレマシタ時ニ、此法案ハ米穀商ニ對シテ何等カ現狀ヨリ惡クナルヤウナ影響ヲ及ボスト云フコトニ付テハ、ドノ委員カラモ意見ガ出ナカッタノデアリマス、

唯此法案ガ斯様ナ形式ニ於テ出ル場合ニハ、即チ米ノ取引ニ關係スル所ノ取引所竝ニ取引所ニ關係シテ居ル所ノ取引員ト云フモノニ對シテハ、本統制法實施以來商賣ガ少クナッタ、米ノ幅幅ガ狭クナッテ商賣ガ少

クナツト云フ上ニ、更ニ自治管理マデ行
フト云フコトハ、モウ殆ど取引所ト云フモ
ノハ働キヲ成サナイヤウニナル、此點ニ付
テハ新法が出タ爲ニ、左様ナ既存ノ機關、相
當沿革ヲ持ッテ居ル所ノ既存ノ機關ガ全然
之ガ立場ヲ失フト云フ風ニナルト云フコト
ガ明カナ場合ニ於テハ、之ニ對シテ政府ガ
何等考慮ヲ拂ハナイト云フコトハ、政治ノ
上カラ見テ宜シクナイコトデアルト云フ意
見ガアリマシテ、ソコデ此調査會ニ於キマ
シテハ、結論トシテ要綱ヲ決定シ答申ヲ致
シマス場合ニ、其意味ノ事ヲ希望決議トシ
テ附帶シテ居リマス、其場合ニ是ガ米ノ商
人ニ對シテ影響スルト云フコトニ付テハ、
是ハ影響ナシ、寧ロ第二次ノ統制ヲヤル場
合、即チ第一次ノ統制ノ時ニハ、米ハ生産者
ノ手ニアル譯デアリマスガ、第二次ノ統制
ノ時ニハ、既ニ生産者カラ商人ノ手ニ入ッ
テ居ル譯デアリマスカラ、左様ナ場合ニ於
テ、米ノ數ガ超過シ値ガ下ルト云フ時ニ統
制スル場合ニハ、米商人ノ持ッテ居ル物ニ對
シテモ統制ヲ行フト云フ意味ニ於テ、寧ロ
米穀商人ハ第二次ノ統制ノ行ハレルヤウナ
場合ニハ、保護サレル、此法律ニ依ッテ保護
サレル場合ガアルト云フコトハ想像出來ル
ケレドモ、米商人ガ之ニ依ッテ脅威ヲ受ケル

ト云フコトハナイ、若シアリトスレバ、是
ハ所謂産業組合ノ進出ト云フ點デアル、其
點ニ付テハ政府ハ産業組合ニ對スル監督又
検査、サウ云フ點ニ付テ注意ヲ拂ッテ行ク、
又此法律ノ上ニ於テモ、産業組合、農會ガ
統制組合ノ代行ヲスル場合ニハ、許可ヲ要
スルト云フコトニナッテ居ッテハ許可ヲスル
場合ニ於テ、十分ナ注意ヲ拂ッテ、産業組合
ノ本然ノ領域ヨリ超脱スルヤウナ埒ヲ越エ
ルコトニ付テ、完全ナ注意ヲ拂ヘバ宜シイ
ノデアリマス、其點ニ付テハ十分ノ注意ヲ
シナケレバナラヌケレドモ、其事ヲ除イテ
法案自體ノ上カラ言ヘバ、米商人ニ脅威ヲ
與ヘタリ害ヲ及ボスト云フヤウナコトハ
ナイ、或ハ極ク僅カデアッテモ——第二次
統制ヲ行フト云フヤウナコトガ始終行ハレ
ルコトハナイノデアリマスガ、斯様ナ第二
次ノ統制ヲ行フト云フヤウナ場合モ、ソレ
程米ガ上ツタリスル場合ヲ想像致シマス、
其場合ニハ寧ロ手持米ノ値下リノ爲ニ困ル
所ノ米穀商ハソレニ依ッテ便宜ヲ受ケル、斯
ウ云フコトガアリ得ルト云フコトハ言ヘル
ケレドモ、米ノ仲買ダトカ取引所ニ對シ
テ、直チニ惡影響ヲ及ボスト云フコトハ想
像出來ナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ此立案ヲ
サレマシテ、私自身ガ其點ニハ注意ヲシタ

ニ拘ラズ、左様ナ經過ヲ以テ此取引所ニ關
シテハ相當ノ善後處置ヲ執ルベシトノ希望
決議ガ付キマシタケレドモ、米穀商ニ對ス
ル關係ニ於テハ其事ガナカッタノデアリマ
ス、然ルニ是ガ法案トシテ提出サレマシタ
場合ニ此點モ論議サレタ、其論議サレタ結
果ガ即チ只今申上ゲマスヤウニ附帶決議ト
シテ民政黨ヨリモ、政友會ヨリモ、兩方カ
ラ同ジ意味ヲ以テ、此産業組合ニ對スル關
係ヲ附帶條項ノ第一ニ是ガ舉ゲラレタ、重
キヲ置イタ點トシテ舉ゲラレタ、其點ハ政府
トシテモ——今日ハ私ハ政府ノ當事者デア
リマスガ、當時議員トシテ、又其時ノ委員ト
シテ同ジヤウナ考ヲ以テ、此附帶決議ニ付
テ、是ガ付セラレタル場合ニハ熱心ニ其附帶
決議ノ條項ヲ支持スル一人トシテ今デモ左
様ニ考ヘテ居リマス、ソレデ私ハ自分ノ所
ニ來ラレマス本案ニ反對ノ意思ヲ表示セラ
レル所ノ米穀商ノ自分ノ知合ノ人達ニハ、
其意味ノコトヲ言ッテ、政府ハ一ツノ法律
ヲ作ッテ、ソレガ爲ニ既ニ成立ッテ居ル營業
ヲ潰シテ顧ミナイト云フヤウナ無慈悲ナ立
法ヲスルト云フコトハナイモノデアル、自
分デナクテモ誰ガヤッテモサウ云フ立法ガ
アルベキモノデハナイ、其證據トシテ、明
ニ影響ヲ受ケル取引所ニ付テハ、吾々ハ希

望ノ決議ヲシテ居ル、政友會ト致シマシテ
ハ農民黨ダト云フヤウニ言ハレテ居ルヤウ
ナ立場ニアル、其黨ノ者トシテ、地方ノ代
表者トシテ、澤山ノ數ヲ持ッテ居ル米ノ商
人ガ之ニ依ッテ亡ビルトカ或ハ非常ナ害ヲ
受ケルトカ、サウ云フコトニ甘ジテ立案ニ
參加スルモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ說
明致シマシテ、來タ人達ニ對シテハ諒解ヲ
得テ居ル次第デアリマスガ、現在デモ産業
組合ガ所謂不當ナ進出ヲナシテ居ルカ否カ
ト云フ問題ハ別ト致シマシテ、産業組合ガ
不當ナ進出ヲスルト云フコトヲ前提ニ置カ
ナイ限り、此法律ガ米商人ニ對シテ惡影響
ヲ及ボスモノトハ今デモ私ハ衷心ヨリ考ヘ
テ居リマセヌ、此法案實施ノ場合ニ産業組
合ノ活動ガ左様ナ程度ニ達スルト云フコト
ニ付テハ、即チ附帶決議モアルコトデアリ
マス、自分等モサウ云フ信念デ居リマスカ
ラ、此附帶決議ノ精神ニ從ッテ此間ノ調和、
緩和ト云フコトニ付テ十分注意致シタイ、
又ソレガ此法案不成立ニナリマシタ後ニ於
テ、政府部内ニ於テ配給ノ關係ニ付テ、調
節ノ方法ヲ講ズル爲ニ委員會ノヤウナモノ
ヲ拵ヘテ、ソレデ研究シテ居ル精神モ其所
ニ在ルヤウナ次第デアリマスルカラシテ、
只今御話ノ二十萬戸ノ米穀商人、之ニ關係

シテ居ル所ノ雇人、家族、サウ云フヤウナ
人達ニ對シテ脅威ヲ及ボスト云フコトニ付
テハ、ドモモ自分共ハ其根據ニ付テ十分ニ
諒解ヲシ兼ネル、左様ナコトハナイ、米ノ
商人ノ方々ハ左様ナ心配ハ要ラナイ、斯ウ
云フ風ニ自分ハ考ヘテ居リマス、ソレデ率
直ニ申上ゲテ、ソレガ眞ニ左様ナコトガア
ルト云フコトデアレバ、之ヲ無視スルト云
フヤウナ考ハ固ヨリナイノデアリマスガ、
此法律ノ性質ヨリシテ、實施ニ付テハサウ
云フ結果ヲ及ボスベキコトハナイヤウニ考
ヘテ居ル、ソレダケヲ繰返スヤウデアリマ
スガ特ニ申上ゲテ置キマス

○山森委員 只今農林大臣ノ言ハレタコ
トモ十分納得ノ行ケル點モアラウト思
ヒマスガ、唯私ガ直接米穀商ニ會ッテ話
ヲ聞イテ見マス時ニ、當局者ニ會ッテ色
色話シテ見ルト、米穀商ニハ打撃ヲ與ヘ
ナイト言ハレテ居ルケレドモ、吾々ハ到
底不安デアル、ダカラ是非共之ヲ阻止シテ
貰ヒタイト云フコトヲ申スノデアリマシ
テ、其事ヲ聞キマシタ時ニ、一人ヤ二人デ
ナク二十萬ト云フ結合シタ者ガ當局者ノ言
ニスラ信用ヲ置カナイト云フ所ニ當局者ノ
説明ガ惡イカ、或ハ本案ノ内容ニ付テ大ナ
ル缺陷ガアルカ、何カ其處ニ大キナモノガ

伏在シテ居ルノデハナイカト云フ私ハ懸念
ヲ持タザルヲ得ヌノデアリマス、只今ノ御
話ノ通り一ツノ新シイ政策ヲヤル爲ニ、犧
牲ニナル者ガ假ニアルトスレバ、政府トシ
テハ之ヲ無視スルコトハ出來ヌ、十分之ニ
向ッテ關心ヲ持タナケレバナラヌト云フコ
トハ當然ナコトデアリマスガ、唯此案ハ既
ニ數年ノ研究ト、又幾回モノ協議討論ヲ經
テ來タ今日、是等ノ當業者ヲ満足サセルコ
トノ出來ナイト云フ其點ヲ私ハ甚ダ遺憾ニ
思フノデアリマシテ、政府ガ唯米穀商ニ向ッ
テ打撃ヲ與ヘナイ、オ前等ノ商賣ハ大丈夫
ダ、安心セヨト言ッテモ、私ハ到底安心出來
ナイト云フ所ニ吾々トシテ一段ノ反省ト當
局者トシテ大ニ考ヘテ貰ヒタイト云フ點ガ
アリマスガ、若シ此機會ニ遲シト雖モ、斯
ウ云フコトガアル場合ニハ斯ウ云フヤウニ
スルノダト云フコトヲ大臣カラ率直ニ申サ
ル、コトガ、本案ヲシテ極メテ滑カニ通過
セシムル所以デハナカラウカ、ソレガ又政
治其モノ、要諦デハナイイカト考ヘマスガ、
一應ノ御説明ヲ承レバ幸ダト思ヒマス

○島田國務大臣 私ハ甚ダ僭越ノ嫌ガアル
ト思ヒマスケレドモ、只今ノ山森君ノ御言
葉ニ對シマシテ、自分ガ自分ノ直接知ッテ居
ル米商人、之ニ反對ヲシテ上京ヲシタリシ
タ人ニ對シマシテ、其時ニ申シタ言葉ヲ此
處デ繰返シテ申シマシテ、サウシテ御諒解
ヲ得タイ、又米商人ノ方々モ之ヲ通シテ御
諒解ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、是ハヤ
ハリ法律デアリマスカラ、只今ノ色々ナ不
安ト云フコトハ産業組合トノ關係カラ來ル
ト云フコトガ根本ト私ハ思フノデアリマ
ス、マア他ノ點ハ姑ク措クトシテ、其點ニ
付テ幸ニシテ比較的深イ諒解ヲ持ッテ居ル
所ノ者ガ今度新ニ當局大臣トナツタ、サウシ
テ此案ノ成立ヲ見テ、是ノ實施ニ當ルト
云フノダカラ、此機會ガ此案ヲ解決スルノ
ニハ其方カラ言ッテ一番好イ機會ダ、新法
ガ出來テ犧牲ニナル者ヲ生ズルヤウナコト
ヲ避ケナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ
取引所ガ犧牲ニナルト云フコトヲ認メテ、
自分ハ委員會ニ於テ既ニ主張シテ居ル位デ
アルカラ、其以上ニ犧牲ニナルト云フ者ガ
茲ニアルト云フノニ、ソレヲ無視スルト云
フコトハ絕對ニシナイ、産業組合トノ關係
ニ付テハ、自分ガ此局ニ居ッテ、此實施ノ省
令ナリ規定ナリヤルト云フ場合ニ於テ
ハ、十分此附帶決議ノ趣旨ヲ體シテ、諸君
ニ對シテ遺憾ナキヤウニスル考ヲ持ッテ居
ル其事ハ法案成立ノ後ニ於テ起ルコトデハ
アルケレドモ、自分ノ精神ハ其處ニアル、

サウシテ其事ヲ能ク頭ニ入レテ居ル者ガ責
任擔任者トシテ立ッテ居ルト云フコトハ、此
法案ノ實施ノ場合ニ於テ、所謂アナタ方ガ
若シソレヲ不幸ト言ハル、ナラバ、不幸中
ノ幸ト言ハナケレバナラナイ、私ハ初カラ
影響ナシト考ヘテ居ルケレドモ、サウ云フ
風ニ御不安ガアルナラバ、其御不安ヲ除ク
爲ニハ、自分ハ少クトモ其點ニ付テ深イ理
解ヲ持ッテ居ルト云フ點ヲ申上ゲテ、御安心
ヲ乞フ、ウニ言ッテ居ルノデアリマスガ、
併シ微力ナ者ニ對シテ安心セイトカ何トカ
言ッテモ、ソレハ中々困難ナコトカモ知レマ
セヌガ、自分ハ責任ノ地位ニ居ル者ト致シ
マシテ、其點ニ付テハ現ハサレテ居ル附帶
決議ノ産業組合トノ關係ニ付テノ條項ヲ眞
直グニ考ヘ、サウシテソレニ付テノ調和ヲ
圖ル、斯ウ云フ風ニ深イ決心ナリ考ヲ持ッ
テ進ンデ居ルト云フコトヲ、此場合ニ於テ
ハ御答申上ゲテ置キマス

○山森委員 若モ此法案實施ノ爲ニ犧牲者
ガ出ルナラバ、十分ニ關心ヲ持ッ者デア
ルト云フコトノ其言葉ニ十分ナル御注意ト責
任ヲ持タレナラバ、必ズヤ斯ウ云ウヤウ
ナ反對運動者ノ疑念ヲ氷解スルコトガ出來
ルト思フノデアリマスルガ、尙ホ單ニ二十
萬戸、二百萬人ノ人ノミナラズ、之ニ付屬

シテ居リマスル運送業者、甚ダ言葉が適當デナイカモ知レマセヌガ、車夫ト云フヤウナ者モ相當ノ打撃ヲ受ケルト云フコトスラモ承テ居ル、事小ナリト雖モ、是ハ又當局大臣トシテ考慮ニ置イテ戴キタイ點デアリマス、更ニ此問題ト反産運動トガ混合サレマシタコトハ、甚ダ私ハ本案ノ爲ニモ、亦米穀政策ノ爲ニモ、遺憾ナコトト存ズルノデアリマシテ、唯併ナガラ先程大臣ノ言ハレマシタ通り、今日ノ産業組合ガ其範圍ヲ超エテ色々ナコトヲヤリマスコトハ、一面ニ於テ商權脅威ト云フヤウナ非難ヲ招キ、又今日ノヤウナ運動ト混合サレマシテ、甚ダ遺憾ノ現狀ヲ呈スル一原因ニナリマスカラ、十分ニ産業組合ヲ監督シ指導セラレルト云フ御言葉ニ對シテハ敬意ヲ表セザルヲ得ヌノデアリマス、固ヨリ私ハ農村ノ發達ノ爲ニハ産業組合ノ充實ト云フコトハ必要デアリマセウ、産業組合ノ充實ト云フコト、其徒ニ範圍ヲ乗超エテ他ノ商權ヲ脅威スルト云フコトハ自ラ別デゴザイマシテ、吾々ノヤウニ産業組合ノ充實ヲ希望シテ居ル者デモ、或ハ賣藥マデヤルトカ、或ハ醫者ノ片手間ヤルト云フコトニナリマス、産業組合ノ實體ガ甚ダ茲ニニツノ疑念ヲ生ジテ來ルノデゴザイマシテ、此點ニ付

キマシテハ、大臣ノ言ニ信賴シテ切ニ此點ヲ監督指導セラレマシテ、斯ウ云フ問題ガ此社會問題トシテ現ハレナイコトヲ、吾々ハ衷心カラ希望シテ居ル次第デアリマス、私ガ國務大臣及ビ農林大臣ニ對スル質問ハ極メテ簡單デゴザイマシテ、是ダケデゴザイマスガ、唯政府委員トシテ、臺灣及ビ朝鮮ノ關係ノ方ガ居ラレルカドウカ知リマセヌケレドモ、朝鮮竝ニ臺灣ノ米穀商間ニ於キマシテモ、極メテ熾烈ナル反對運動ガ起リテ居ルヤニ承テ居ルノデアリマシテ、果シテ左様デアルカ、又米穀商ノ反對運動ノ内容、今後ノ善後策ト云フノハ甚ダ早計ノ感ガアルカモ知レマセヌガ、若シ之ヲ實施シタ後ニ於ケル是等ニ對スル所ノ——植民地ニ於ケル御考ト云フモノヲ承ハルコトガ出來マスレバ幸ダト思フノデアリマス

○島田國務大臣 只今ノ最後ノ御尋ニ對シテハ政府委員ヨリ御答スルダラウト思ヒマスガ、丁度肥料法案ガ今本會議ニ提案ニナッテ居ルサウデアリマスカラ、一寸其方ヘ出席シタイト思フノデアリマスガ、私ニ對シテ只今山森君ヨリ御述ニナリマシタ點ハ謹シンデ御意見ノ點ヲ諒承致シマス、唯産業組合ノ監督指導ト云フコトニ付テハ、從來モヤッテ居ルノデアリマスケレドモ、何分其

費用ガ少ク機關ガ不備ナンド、一萬有餘ノ産業組合ニ對シテ監督指導スルト云フニハ、餘リニ現在ノ農林省ノ持ッテ居リマス機構ハ貧弱ナンデアリマス、此事ニ付テハ先刻松村君ヨリ豫算委員會ニ於テ御質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ自分モ其意味ノコトヲ申上ゲテ、又同時ニ大藏大臣モ其事ニ付テ十分ニ考慮スルト云フコトヲ申シタ次第デアリマスカラ、此點ニ付キマシテハドレダケノ機構ノモノトナシ得ルカ今日ヨリ言明ハ出來ヌマスケレドモ、出來得ル限り完全ニ監督指導出來ルヤウニ機構ヲ整ヘテ臨ムヤウニ致シ、仍デ以テ此問題ニ關スル意味ニ於ケル産業組合ノ指導監督ト云フコトノ完全ニ出來マスヤウニ努メタイ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○東委員長 本會議ノ方ノ都合モアリマスカラ暫時此儘デ休憩致シマス、二時半ヨリ再開致シマス

午後一時四十四分休憩

午後三時十八分開議

○東委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ開會ヲ致シマス

○北委員 先日來本案ニ對シマスル質疑應答ヲ靜ニ拜聽シテ居リマスルト、問題ハ

稍、米穀問題ノ中心ヲ離レマシテ、何トナク他ノ派生的ナ問題ニ引懸ッテ來タヤウニ感ゼラレテナラヌノデアリマス、即チ産業組合ニ對スル一種ノ疑懼ノ念ニ驅ラレタ所ノ間ガ、時ニ或ハ表ニ現レ、或ハ又陰ニ潛ンデ居ルト云フヤウナ有様デアリ、御答モ亦之ヲ肯定シツ、アルガ如ク聞エルノデアリマス、私ニハ實ハ全ク解セナイノデアリマス、先程農林大臣ガ山森君ニ對シマシテ御答ニナリマシタ如ク、産業組合ガ其本來ノ使命ヲ離レマシテ、或ハ違法トカ脫法トカ、又ハ善カラヌ方法ニ依ッテ實際ニ不當ナコトヲスルナラバ、之ヲ取締ラレルコトハ何等差支ナイノデアリマスガ、農林當局ガ常ニ相談ヲシテ行カレル所ノ相手方デアル商工省側ノ考ヘテ居ラル、所ノ所謂不當ト云フ考ヘ方ニハ、其程度ニ於テ非常ナ開キガアルノデハナカラウカ、此處ガ私共ノ心配スル所デアアルノデアリマス、言換ヘマスレバ、商工省側ハ産業組合本來ノ使命ニ向ッテ迄モ干涉ヲシ、抑壓ヲ致ス、即チ組合ノ不當デナク、商工省ノ不當ト云フヤウナコトニナリハシナイカト云フコトヲ憂フル者デアリマス、御承知ノ如ク日本ノ産業組合ハ都市ニ發達シナイデ主トシテ農村ニ發達シカケテ居ルニ過ギヌノデアリマス、問題ハ

世間デ考ヘテ居ル如ク、此農村産業組合ト云フモノガ、果シテ都市ノ商工業ト全面的ノ相剝關係ヲ持ツモノデアラウカドウカ、コ、ニ在ルト思フノデアリマス、私ハ必シモサウデナイト信ジマス、殊ニ商工業ト一口ニ中シマスルケレドモ、工業ト産業組合トハ必シモ性質上相反スルモノデハナイト思フノデアリマス、ソコデ一ツ此點ニ付キマシテ農林大臣ノ御考ヲ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、先ヅ農村組合ト農村ニ於ケル工業トノ關係、之ニ付テ見マスルト云フト、私共ハ多年組合經營ノ經驗カラ致シマシテ、農村ニ於ケル工業ト云フノハ、至ッテ小規模ノモノデアリマスルカラシテ、産業組合デ資金ヲ貸シ與ヘル、或ハ又原料ヲ買ッテ與ヘル、或ハ又工場デ出來上ッテ物ハ之ヲ他ニ賣ッテヤルト云フヤウナ工合ニシテ居リマシテ、農村ノ小サイ工業家ト云フ者ハ、産業組合ノ爲ニ全ク助カッテ居ルノデアリマス、利害ガ相反スルヤウナモノハ一ツモナイノデアリマス、唯私ノ疑問トシ、又此場合教ヲ乞ヒタイ所ハ、都會ノ工業ト農村ノ産業組合トノ關係デアリマス、私ハ思フニ、農村ノ産業組合ノ發達ハ農家經濟ノ合理化デアリマスルカラシテ、農家ノ懷ロハ多少ナリトモ好クナッテ來ル筈デス、サ

ウシマスルト、色々ソコニ需要ガ増シテ來ルノハ當然デアリマシテ、大處高處カラ見マスルト、農村産業組合ノ發達ト云フモノハ、都市ノ工業ノ隆盛ト云フモノト正比例スル、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマス、此觀測ニ間違ガアリマセウカ

次ハ第二ニ考ヘラレルコトハ、農村産業組合ノ聯合會ガアリマス、或ハ全購聯ト云フヤウナモノガアリマスガ、都會デ所謂自己ノ生産ノ爲メノ工場ヲ持ツ、是ハ困ルト云フ人ガアルト思フノデアリマスガ、聯合會ト云フモノガ農村組合ノ需要品ノ全部ヲ作ルモノデハナク、又決シテ作レルモノデモナイ、私ハ此處ニ詳細ナル統計的ノ數字ハ持ッテ居リマセヌケレドモ、現ニ全國産業組合ノ購買品、總テ仕入レテ居ル品物ガ約一億二千萬圓ニ上ッテ居ルト云フコトヲ當局ハ言ッテ居リマスガ、其ハ割マデハ商人カラ買ッテ居ル「パンフレット」ニモサウ書イテアルノデアリマス、此ハ割マデ商人カラ買ヒマスル外ニ、更ニ農村カラ直接買ッテ居ルノモアリマスルノデ、自己生産ノ工業ナドト云フモノハ極メテ微々タルモノト私ハ思フ、而モ斯ル微々タル工場ガ出來マシタ所デ、ソレハ少數獨占資本家が少々窮屈ニナルダケノ話デ、先日ドナタカハ本會議ノ議場デ

御演說ニナリマシタヤウニ、勞働者ガ社會問題マデ惹起スト云フヤウナモノデハ全クナイ筈ダト私ハ思フノデアリマス、勞働者ハ寧ロ利潤ヲ求メナイ所ノ産業組合ノ工場ノ方ガ却テ宜イト言フカモ知レス、私ハ宜イダラウト考ヘル、サウシマスルト工業ト農村産業組合トノ間ニハ大シタ問題ハ起リ得ナイ、斯ウ思フノデアリマス、農林大臣トシテ此點ニ付テ如何ヤウニ見テ居ラレマスヤ、一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 只今北君ノ質問中ニ御述ニナリマシタ御觀測、御見解ハ大體其通りニ吾々モ考ヘテ居リマス、唯特殊ナ場合、特殊ナ場所ニ於テ只今御話ノヤウナ事柄ニ反スル場合、即チ附帶決議等ニ於テ言ヒマス行キ過ギタ場合、サウ云フ場合ヲ特ニ採ッテ、ソレヲ例トシテ擴大シテ申シマス、今御話ノ中ニアリマシタ相反スルト云フ實情ガアルノデハナイカト云フコトニナリマスケレドモ、大體ノ大勢カラ見マシタ所テハ御話ノ通りト心得テ居リマス

ノ節ガアルノデハナカラウカ、是ハ人ノ肚デスカラ農林大臣ニ伺フコトハ無理ダト思ヒマスカラ御答辯ハ要リマセヌ

次ハ都市ノ商工業ト農村産業組合トノ關係デアリマスガ、是ハ大分神經ヲ惱マシテ居ル方ガアルヤウデアリマス、私ハ思フニ如何ニ農村産業組合ガ發達シマシテモ、都市ノ小賣商業ト衝突スルヤウナコトハ今ノ所先ヅナイト言ッテモ誤ガアルマイト斯ウ云フヤウニ見テ居ル、若シ小賣商人ノ邪魔ニナルモノガアルトスルナラバ、ソレハ農村産業組合デハナクシテ、都市ニハ成規ノ産業組合デナイ官廳ダトカ工場ダトカ、斯ウ云フヤウナ方面ニ産業組合ニアラザル消費組合ガアル、此コトデアラウト思フ、是ハヨク錯覺ニ陥リ易イノデアリマスガ、之ヲ混同シテ、故ラニ商業者ト農業者ノ神經ヲ尖銳サスヤウナ論者ガアリマスコトハ、私ハ國家ノ爲ニ洵ニ遺憾ニ堪ヘヌ、當局ハ農村産業組合ト都市ノ小賣商業トノ間ニ、現在ニ於テ事實ノ上ニ何カ衝突シテ居ルモノガアルト云フコトヲ現實ニ見テ居ラレルノデアアルカドウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○島田國務大臣 北君ノ御尋ハ、御尋中ニ述ベラレル御意見ト申シマス、御觀測ト云ヒマス、抽象的ノ御言葉デアリマス

ラ、ソレニ對シマシテハ政府トシテ見ル所モ其通りデアル、斯ウ云フヤウニ御答ヲスルノ外ハナイト思フノデアリマス、唯此場合御注意ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、産業組合ト都市ノ中小商工業トノ關係ニ於テ所謂反産運動ト稱セラレモノガ起ル、此コトニ付テハヤハリ反産運動ト云フモノニ付テ必シモ商工省關係——役所トシテハ商工省デアリマス、ソレガ商權擁護ノ意味ニ於テ無理ヤリナ主張ヲスルト云フヤウナ、觀測ノ仕方モ誤ッテ居ルト思ヒマス、之ヲ公平ナ爲政者ト云フ風ナ見地カラ申シマスルト、反産運動ト云フモノガアル、其アル所ニハ是レノアルベキ原因事實ト云フモノガ何レニカ存在シテ居ルト云フコトヲ考ヘテ、唯中小商工業ノ人達ガ苦シイカラ言ヒ掛リヲシテサウ云フヤウナ運動ヲスル、斯ウ云フ風ニ之ヲ單純ニ片付ケ去ルト云フコトハ正鵠ヲ得タモノダトハ思ハレナイノデアリマス、ソコデ政府ト致シマシテハ、産業組合竝ニ商工業者各、其目的ノ爲ニ存立ヲシテ相侵スコトナク、又共存シ共榮スベキモノデアルト云フ意味ヲ原則トシ、ソレヲ根本ニ置キマシテソコニ軌轢ノ形ノアル場合ニ於テハ、其軌轢ノ由ッテ來タル原因ヲ注意シテ、ソレニ對スル所ノ對策處置ヲ講

ズル、斯ウ云フ立前ニ立ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲル、其點ハ商工省ト致シマテモ農林省ト致シマシテモ、政府トシテハ一貫シタ立前カラ來テ居ルモノデアル、ソコデ然ラバサウ云フ所謂運動ノ起ル事實ト云フモノハ、何處ニ在ルカト云フ事柄ニ付キマシテハ、一々之ヲ指摘シ、何ノ組合ガ云々ト云フコトニ付テハ、全國ノ多數ノ組合デアリマスカラ、ソレヲ例示スルト云フコトハ、悉ク舉ゲ得レバ別デアリマスガ、唯一二ノモノヲ舉ゲテ、是ハ行過ギテ居ル、斯様ナ風ニ申上ゲルコトハ政府トシテハ差控ヘナケレバナラヌコトデアリマス、全體トシテサウ云フコトニ付テハ、其産業組合ノ不當進出ト云フコトヲ言ハレノハ、其所ニ全ク影形ノナイモノデハナイ、ソレト同時ニ、ソレアルガ故ニ全體的ニ産業組合ヲ排撃スルト云フコトニ付テモ亦大イニ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進ムベキデアル、斯ウ考ヘテ居リマス、隨テ只今ノ御質問中ニ御述べニナリマシタ事柄ニ付テハ、大體其様ニ考ヘテ居リマス

○北委員 産業組合當局者モ大分考ヘテ居リマスノデ、決シテ都市ノ商工業者ト摩擦ヲスルヤウナコトハ好ンデ居ラヌト云フコトヲ此際私尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置カウト思ヒマス、最後ニ殘ル問題トシマシテ、農民ヲ對照トシテ居ル農村商人トソレカラ農村ノ産業組合トノ關係デアリマスガ、是ハ私共ハ實ハ産業組合ヲ多年經營シテ居リマシテ、此問題ニ付キマシテハ隨分苦心ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、其摩擦ヲ成ベク少クシタイト云フ心得デ經營ハシテ居リマスガ、何分農業者ガ全ク窮迫シ切ッタ爲ニ、所謂窮スレバ通ズルト云フヤウナ所カラ産業組合ニ追込マレテシマッタ、斯ウ云フヤウナ關係ガアリマスルノデ、今日ノ時勢其モノガ普通リドウモ商人ヲ利用スルダケノ經濟上ノ餘地ガ少クナッタコトニ起因シテ居ル、私共ドウモ是ハ方法ナシニ居ルノデアリマス、此原因ノ認識ヲ缺イテ居リマスト云フト、本當ノ對策ト云フモノハ生レテ來ナイト思フ、農村ノ現状ヲ此儘ニシテ置キマシテ、如何ニ産業組合ヲ抑ヘ付ケテ見タ所デ、絶對ニ農村ノ商人ト云フ者ハ助カルモノデナイト私ハ思ッテ居リマス、此原因ヲスッカリ把握シテ對策ヲ立テ、戴カナケレバナラヌノデアリマス、當局ガ之ヲドウ云フ風ニ見テ居ラレルカ、ドンナ對策ヲ持ッテ居ラレルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス、唯窮乏ノドン底ニアル農民ダ

ケノ犠牲ニ依ッテ、農村商人ヲ救フ積リデ産業組合ヲ抑壓スル、マルデ農民ニ國民ノ三大義務ノ外ニ農村商人扶養ノ義務マデ負ハサレルト云フコトデアラナラバ、是ハ私ハ大變デアルト思フ、ソレハ全ク社會問題ノ解決ノ方途ヲ誤ルモノデアルト考ヘル、農民ノ經濟知識ガ進ンデ來マスト云フト、農村ノ産業組合ハ丁度バネノヤウナモノデ、抑ヘレバ抑ヘル程跳ネ上ル、斯ウ云フ性質ヲ持ッテ居ルヤウニ思フノデアリマス、今日經濟的ニ自然ニ農民ガ農村商人ヲ利用スルコトガ減ッテ來タノヲ、之ヲ抑ヘ付ケルト云フト、全ク感情的ニナッテ來テ、今度ハ急速ニ全然商人ヲ使ハヌト云フコトニナルト困ルト思フノデアリマス、農林當局ハドンナ意見ヲ持ッテ居ラレルカ、此農村ニ於ケル農村商人ノ行クベキ途、之ニ對シテ農林當局ハ如何ニ考ヘテ居ラレルカ、隨分私共苦心シテ色々ナコトヲヤッテ居リマスケレドモ、具體的ナ方法ガアリマスナラバ此際承ッテ見タイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 具體的ノ方法トシテ斯ク斯クノ事ヲスレバト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來兼ネマスガ、農村ニ於ケル所謂農村問題ト云フ意味ニ於テ農村ノ住民ト云フモノヲ見ル時ニハ、其農村ニ居ル所ノ農

民、大體農業者ヲ得意トシテ居ル所ノ商業者——小サイ商業者、工業者、斯ウ云フ者ヲ含ンデ農村ト謂フノデアルト云フコトハ、是ハ申ス迄モナイ、農漁山村ト言ヒマシテモ、ソコニハ漁民、農民、山林業、斯ウ云フモノバカリデハナイ、色々ナ外ノ業者ヲ含ンデ農漁山村ヲ形作ッテ居ルカラ、農村ノ問題ト言ヘバ、サウ云フモノヲ一括シタ農村疲弊ヲ救ヒ、之ヲ振興セシムル、斯ウシタ意味ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、其場合ニ於テ農村ノ所謂商人、斯ウ云フ者ニ付テ考ヘテ見マスルノニ、農村ニ於ケル、或ハ漁村ニ於ケル商人、工業者ト云フ者ハ、大抵ノ場合ニ於テ一方ニ於テ商業、工業ヲ營ンデ居ルト同時ニ、他ノ一方ニ於テハ是ガヤハリ農業モ一部分ヤッテ居ル場合ガ多イノデアリマス、其處ニ私共ハ農村ノ多角性ト云フモノガ生レテ來ルヤウニ考ヘルノデアリマス、農村救済ノ爲ノ農村ノ工業化、斯ウ云フ場合ニ於テ農民バカリガ工業ヲ一部餘剩勞力ヲ以テヤルト云フ意味デハナイ、農村ニ於ケル餘剩勞力ト云ヘバ、即チ鍛冶屋サンモ居レバ、散髪屋サンモアル、又駄菓子屋モアリ、小サイ呉服屋モアリ、百姓ヲシテ居ル者モアル、ソレ等ノ者ヲ一括シテ其處ニ集マツタ勞力ニ對シ

テ工業ヲ植付ケテ、多角形ニシテ、色々ナ方面カラ維持ガ出來ルヤウニスル、斯ウ云フヤウニ見ザルヲ得ナイノデアリマシテ、今回提出致シテ居リマス豫算中ニ含マレテ居ル農村ノ特殊ノ更生施設ニ付テモ、其村ニ適應スル更生計畫ヲ立テ此助成ノ意味ノ費用ヲ要求シテ居ル次第デアリマスガ、斯様ナ事柄ヲ以テ、徹底的ニ、大規模ニ之ヲヤルコトニ依ッテ今御話ノ農村ニ於ケル商人、或ハ工業者、斯ウ云フ者ニ對スル對策ノ問題モ解決スル、斯様ナ方法ニ出ヅルノ外ハナイノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、其場合ニ於テ農村ニ於ケル産業組合、サウシテ此小サイ商人、此者ノ關係ト云フコトニ付テハ、其處ニ自ラ相反スルト云フヨリハ、寧ロ相助クル所ノ關係ガ起ラザルヲ得ナイモノデアアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ此點ハ農村問題根本ノ解決ト致シマシテ、非常ニ重要デアリ、又最モ注意ヲ要スルコトデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○北委員 只今ノ御答辯デ私ハ満足スル者デアリマス、實ハ私共農村工業化ハ單ニ農民バカリノ工業デナク、農村市街ヲ形成シテ居ル人達ノ爲ニモヤラナケレバナラヌト云フ考デ産業組合デ實際仕事ヲシテ居リ

マスガ、全ク一致スルノデアリマシテ、其教ヘヲ多ト致シマス

○東委員長 山森サンニ午前中ノ質疑ノ保留シタ點ヲ御許シ致シマス

○山森委員 休憩前ニ臺灣竝ニ朝鮮ニ於ケル米穀商ノ本案ニ對スル反對運動ノ狀況、若シ是ガアリト致シマスレバ、當局者ハ如何様ナ御考ト如何ナル御方針ヲ持ッテ居ラレルカト云フコトヲ伺ッタノデアリマスガ、併シ拓務大臣竝ニ關係政府委員ガ御出デニナラナケレバ此旨ヲ委員長ヨリ御傳ヘ下サイマシテ、速記ニ載セテ戴キタイ、更ニソレニ關聯シタコトデアリマスガ、朝鮮及ビ臺灣ニ於ケル米穀商、米穀取扱人ハ大部分ハ内地人トハ思ヒマスガ、或ハ朝鮮ニ於テハ朝鮮人、臺灣ニ於テハ臺灣人ガ之ニ關係シテ居ル場合ニ、能ク日本政府、日本内地ノ意思ヲ了解シナイデ、彼等ガ日本内地ノ犧牲ニナルト云フヤウナ甚ダ誤ッ考ヲ持ツト云フ疑懼モナイ譯デモアリマセヌ、是等ニ付テモ當局ハ深甚ナル注意ヲ持ッテ居ラレルカドウカト云フコトモ付加ヘマシテ御答辯ヲ速記ノ上ニ載セテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

○東委員長 山森君ノ御質疑ハ至極御尤モト思ヒマスカラ、拓務省ノ方ニ能ク通ジマ

シテ、サウシテ適當ナ機會ニ於テ此點ニ付テ説明ヲ願フカ、若クハアナタノ意ヲ速記録ダケニ加ヘテ置クカ、適當ニ機宜ノ處置ヲ御委セテ願ヒマス、中村サンニ關聯事項トシテ質疑ヲ御許シマス

○中村委員 先程ノ山森君ノ質問ニ對スル關聯質問ヲ致シタイト思ヒマス、先程山森君カラ農林大臣ニ對シテ、此法律ヲ施行スル結果ハ、二十萬ノ米穀販賣業者ニ非常ナ影響ヲ來シハシナイカ、惡影響ガアルノデハナイカト云フ御質問ニ對シテ、農林大臣ハ左様ナコトハ絕對ニナイカラ御安心ヲ願ヒタイ、取引所ニ付テハ影響ガアルコトヲ承知シテ居ルガ、販賣業者ニ對シテハ影響ガナイカラ御安心ヲ願ヒタイト云フ御答辯ヲ承ッタノデアリマス、事實全ク影響ガナケレバ結構デアリマスガ、併シ二十萬ノ米穀販賣業者ガ非常ニ憂慮致シマシテ、色々心配ヲサレテ居ルヤウデアリマス、又吾々議員トシテモ、疑懼ノ念ガ相當ニアル、而シテ其憂慮心配シテ居ル所ニ根據ガナイ譯デハナイト私ハ思フノデアリマス、昨年前議會ノ本會議ニ於キマシテモ、議員カラノ質問ニ對シテ、當時ノ商工大臣ハ斯様ナ答辯ヲサレテ居ルノデアリマス、此米穀自治管理法案ヲ實施シタ曉ニ於テハ、此モスレバ米

穀商等ノ營業ヲ壓迫スル虞方運用如何ニ依ッテハナイトハ限リマセヌ、ソレ故運用宜シキヲ得ナケレバ、米穀商ノ從來ノ營業ニ對シテ重大ナル影響ヲ及ボスコトアリト斯様ニ考ヘテ居リマス、明確ニ商工大臣ハ答辯ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ然ラバ農林大臣ハドウ考ヘルカト云フ質問ニ對シテ、時ノ山崎農林大臣ハヤハリ同様ノ旨ヲ答ヘテ居リマス、此點カラ見マシテモ、本法實施ノ結果、米穀販賣業者ニ相當ナ影響ノアルベキコトヲ心配スル餘地ガアル、農林大臣ノ先程言ハレタヤウニ、御心配ハ御無用デアルト云フヤウニ、簡單ニハ參ラヌト私ハ思フノデアリマス、昨年ノ前議會ニ於ケル農林、商工大臣ト現在ノ當局者トハ人ハ違ッテ居リマスガ、現在ノ島田農林大臣ハ此點ニ付テドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイと思ヒマス

○島田國務大臣 前議會ニ於ケル商工大臣ノ答辯中ニ述ベラレテ居リマスル運用如何、是ガ私ハ重點ダト考ヘテ居ル、ソコデ先刻申上ゲマシタヤウニ、此法案ノ法文ニ現レテ居リ、法文カラ推測スル程度ニ於キマシテハ、何等懸念スベキ所ハナイ、唯此懸念スル運用云々ト云フ事柄ガ何處カラ

出ルカト云フト、ソレハ即チ産業組合ノ關係、茲ニ懸念ノ點ガアルノデアリマス、其懸念ノ點ニ對シマシテハ、農林當局、即チ此法案實施ノ直接責任ニ當ル所ノ者ノ心得方如何ニ依ルノデアリマス、併ナガラ其點ニ付テノ基準ハ、當時法案審議中ノ答辯トシテハ、商工大臣ガ左様ニ述ベラレテ居リマスガ、其商工大臣ノ述ベラレテ居ル事柄等ノ趣意ヲ取入レタモノガ、即チ決議トシテ附帶サレタモノデアアル、其處ニ産業組合ノ關係ガ明ニ現ハサレテ居ルノデアアル、商工省當局トシテ其當時運用如何ト云フコトヲ言ハレタ、其言葉ハ、即チ其當業者ノ方ノ關係カラ言フ所ノ懸念ヲ匡スベク運用ヲ正シクスル意味ニ於テ、茲ニ産業組合ノ違法行爲脫法行爲ニ對シテ注意スベシト云フコトノ附帶條件ガ申述ベラレテ居ルノダト斯様ニ考ヘテ居リマス、隨テ現在ノ當局トシマシテハ、本法實施ニ當リマシテハ、政友會民政黨兩者一致シタ所ノ産業組合ニ對スル附帶決議ノ趣意ヲ十分尊重ヲシテ實施シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村委員 ソレダケデハ私ハ納得出來ナイノデアリマス、先日本會議ニ於テ農林大臣ハ、其言葉ハ何ト云ッタカ、私ハキリ記

憶シテ居リマセヌ、此法律ハ米ノ國營ト言ッタカ、或ハ專賣ト言ッタカ、其使ッタ言葉ヲ記憶致シテ居リマセヌガ、終局ニ達スル經過法デアルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、米ノ專賣トカ國營トカ云フコトハ、是ハ現在ノ當業者ニ取ッテハ重大ナル事デアルト言ハナケレバナラヌト思ヒマス、其實施セラレタ曉ニ於テハ——サウ云フコトガ實現シタ曉ニ於テハ、當業者ハ死ヌカ活ルカノ境ニナルノデアリマス、其結論ニ達スル迄ノ經過法デアルト農林大臣ガ言ハレテ居リナガラ、産業組合ニ關スル運用ノ如何ニ依ッテハ當業者ニ何等影響ヲ與ヘナイ、此御言葉ハ私ハ全く矛盾シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、其點ニ付テ農林大臣ハ如何様ニ御考ニナッテ居リマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○島田國務大臣 只今中村君ノ御述ベニナルヤウナ意味ニ取リマスレバ、矛盾致シテ居ルカノ如クデアリマスケレドモ、私ハ左様ニ考ヘナイ、即チ此法案ハ唯同ジ言葉デ經過法トカ云フヤウナ言葉ヲ使ヘバ、極メテ暫定的ナモノト云フ風ニ聞エルノデアリマスケレドモ、本會議ノ時ニ私ハ特ニ非常ニ言葉ニ苦シミマシテ、暫定的ノ恆久法ト云フヤウナ意味ノコトヲ言ッタト私ハ思ヒ

マスガ、是ハ現在ノ米ノ制度、米ノ對策トシマシテ、統制法ニ缺陷ガアルト云ッテモ、之ヲ廢メテ——米穀法カラ色々ノ準備ヲ經テ茲ニ來タ所ノモノヲ全ク一廢シテ、自由放任ト云フコトニ邊ラレナイト云フコトハ誰モ認メテ居ル、如何ナル反對者モ其點ニ付テハ致方ノナイモノト考ヘテ居ルコトト信ズルノデアリマス、左様ニ致シマシテ、其統制法ト云フモノニ付テ、尙ホ之ヲ強化スベキ理由ガアリ、此儘ニ放任シテ置クコトノ出來ナイ事情ガ起ッテ、議會ニ於テモ是ガ問題トナッテ研究サレタ、其第一段ガ即チ此法律デアリマス、而シテ此法律ヲ實施スルコトニ依ッテ、統制法ヲ強化シ、サウシテ之ニ對スル補強ノ工作ガ出來テ、是ガ相當ニ安全ニ行ハレルト云フコトノ見据エガ著キマシタ所デ、此米ノ永久根本ノ對策ニ付テ完全ナ案ヲ出ス目的ヲ以テ、其研究ヲシナケレバナラヌ、此儘ニシテ行クト、何時モ不安ノ狀態デ、根本策ニ付テ論議スル、其結果ハ一足飛ニ國家管理デアルトカ、或ハ放任デアルトカ、專賣デアルトカ云フコトニ、直チニ其所ヘ議論ガ起リマシテ、米ノ問題ガ一層ムヅカシイ問題ニナッテ來ルヤウニ考ヘルノデアリマス、其意味ニ於テ本法ノ實施ニ付テ米ノ關係者等ガ何レモ不安

云フヤウナ意味ノコトヲ言ッタト私ハ思ヒ

ノナイヤウニ、消費大衆モ生産者モ、取引關係ノ人々モ、商人モ之ニ依ッテ不安ヲ蒙ルコトノ少イヤウニ、出來ルダケ利益ヲ享受スルコトノ出來ルヤウニト云フ意味デ立案ヲシタ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、言葉ノ使ヒ方ノ非常ニ拙イ——是ハ今モ尙ホ私ハ適當ナ言葉ヲ使ヒ得ナイノデアリマスガ、サウ云フヤウナ長イ言葉

ノ中ニ含マレテ居ル意味ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、唯半年ヤ一年經過ノ便法トシテ之ヲヤッテ、其間ニ期限ヲ限ッテ根本對策ヲ立案スルノダ、斯ウ云フ意味ノモノデハナイノデス、是ダケヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○中村委員 ソレニ尙ホ關係シタコトデモウ一言御尋致シマス、今ノ農林大臣ノ本會議ニ於テ御使ヒニナッテ御言葉ニ付テハ、是ハ言葉ト言ヘバ言葉デアリマスガ、社會ニ向ッテ餘程大キナ影響ノアル事柄ニ屬スルモノデアリマスカラ、微妙ナ響キヲ與ヘテハ此言葉ニ付キマシテハ、追ッテ私モ速記録ヲ見マシテ、更ニ不審ノ點ガアレバ質問ヲ致シタイト思ヒマス

此場合事務當局ノ方ニ一寸聞キタイノデアリマスガ、産業組合法ニハ販賣組合ガ小

賣ヲ行ッテハイカヌト云フ禁止規定ガナイヤウニ私ハ承知シテ居リマスガ、ソレヲ一ツ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 ゴザイマセヌ

○中村委員 ソコデ私農林大臣ニ御伺シタイノデアリマスガ、現在統制組合ノ仕事ハ、其大部分ガ、全國一萬一千ノ町村ノ中デ約八千幾ラカハ既存ノ販賣組合ニ代行セシムル結果ニナルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、是ハ其通りデアルカドウカ、大臣ニ御答辯願ヒタイト思ヒマス、要スルニ大部分ハ現在ノ販賣組合ニ代行セシムルコトニナルヤウデアリマス、ソコデ此販賣組合ガ統制組合トシテハ成程小賣ハ出來ナイノデアリマス、統制ヲ命ジラレタ米ノ自治管理以外ニハ出來ナイノデアリマスガ、何シロ本體ガ一ツデアリマス、ソレガ統制組合ノ仕事ヲ一方ニ於テ行フ、併シ一面ニ於テ其産業組合デアアル販賣組合ハ、組合法ニ依ッテ米ノ小賣ヲスルコトヲ禁ジラレテ居ラナイノデアリマスカラ、販賣組合ガ或ハ個々ニ或ハ合同シテ都會地ニ進出シテ、所謂街頭進出ヲヤッテ、米ノ小賣ヲ始めルトシタナラバ、是ハドウ云フ影響ヲ來スカ、恐ラク都會地ニ於ケル所ノ白米商ト云フモノハ驅逐サレル結果ニナルデハナイカ、殊ニ東京ノ

ヤウナ大都市ハ全體ガ驅逐セラレルト云フコトハアリ得ナイカモ知レマセヌガ、地方ノ小都市、例ヘバ米屋ガ三十軒カ五十軒、或ハ百軒シカナイト云フヤウナ場合ニハ、一販賣組合ガ街頭進出ヲヤッテ、米ノ販賣ヲ始めレバ、ソレハ全體ノ米屋ト云フモノハ、直ニ死地ニ陥レラレルノデアリマス、斯様ナ狀況ニ在ッテ、尙ホ農林大臣ハ此法律ノ施行ニ依ッテ、何等白米商、米ノ販賣業者ニ惡影響ヲ及ボサナイ、斯ウ斷言ガ出來ルカドウカ、若シ産業組合ノ運用如何ニ依ッテ其弊害ヲ防止スルコトガ出來ルト云フ、先程來ノ農林大臣ノ御言葉カラ言フナラバ、此法案ヲ議會ニ提案スルト同時ニ、産業組合法ノ改正案ヲ出シテ、産業組合所謂販賣組合ハ、白米ノ販賣ヲシテハ相成ラスト云フ禁止規定ヲ議會ヘ提案スベキモノデアルト思フノデアリマス、其禁止規定ヲ出サナイデ、此法律ダケヲ作レバ、必ズ販賣組合ガ街頭進出ヲヤッテ、是等ノ都會地ノ販賣業者ガ非常ナ迷惑ヲ受ケル、斯ウ私共ハ思フノデアリマスガ、是デモ尙ホ且ツ農林大臣ハ、當業者ニ惡影響ヲ來サナイ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、ドウデスカ、ソレヲ一ツ更ニ伺ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今ノ中村君ノ御懸念ハ御尤モダト考ヘマス、隨ヒマシテ此點ニ付キマシテハ、法案實施ノ場合ヲ考ヘ、又ソレニ至ラザルモ、産業組合ノ指揮監督ト云フ意味、又産業組合ト——米バカリデアリマセヌ、他ノ商人ト接觸ノコトニ付テ願慮致シマシテ、殊ニ米ニ付キマシテハ、配給調整ニ關スル協議會ト云フモノヲ設ケマシテ、サウシテ米關係ノ方面ノ代表者ノ協議ニ於キマシテ、段々部ヲ分ッテ研究シテ、只今ノヤウナ米ノ小賣ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、大體小賣ハ之ヲ米商人ヲシテ行ハシメル、斯ウ云フヤウニ致シマシテ、直接産業組合ガ小賣ヲスルト云フコトノナイヤウニシタイ、此方針ヲ以テ協議ヲ致シテ——其點ニ付キマシテハ、産業組合ノ代表者モ大體ソレニ同意スルノ狀態デアリマス、尙ホ此事柄ヲ更ニ一步ヲ進マシテ成案ヲ得ルニ至リマスレバ、ソレニ依ッテ實行ガ出來ル、隨テ此趣意ヲ徹底セシメル爲ニハ、現狀ニ於キマシテハ、法律ノ改正ヲ俟タズシテ、政府ノ監督、産業組合ノ中央ノ機關ノ指揮ニ依ッテ、是等ヲ行ハシメルモノト云フヤウニ考ヘテ居リマス、併ナガラ是ガ若シモ出來マシテ、左様ニ諒解ヲ致シマシテ、尙ホ是ガ諒解シタ上ニ出來難イヤウナ場合ガ生ジマシタ場合ニ於テハ、又ソレニ

對スル救済ノ處置ヲ執ラナケレバナラヌ、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○中村委員 洵ニ長クナッテ恐縮デアリマ
スガ、今ノ農林大臣ノ御言葉ヲ承ッテ、私
ハ益々疑懼ノ念ヲ持ツ者デアリマスガ、政
府ハ産業組合ノ指導トカ、統制トカ云フヤ
ウナコトデ、法律ニ依ラズシテ、サウ云フヤ
ウナ禁止ガ出來得ルト御考デアルカ、法律
ガナケレバ、サウ云フヤウナ強制力ハ政府
ト雖モ、幾ラ産業組合ノ監督官廳ト雖モ私
ハ爲シ得ナイト言フヨリ外ナイト思フノデ
アリマス

然ラバ私ハ更ニ斯ウ云フ事實ヲ御尋シタ
イノデアリマス、既ニ横濱ニ於テ數千坪ノ
土地ヲ或者ガ買入レテ、此法案ガ通過シタ
ナラバ、其土地ニ産業組合ノ精米工場ヲ建
設ヲスル、斯ウ云フコトガアルサウデアリ
マス、斯ウ云フコトハ、或ハ當局ニ於テハ
耳ニ入レテ居リマスカドウデスカ、其事ニ
付テ序ニ承ッテ置キマス

○島田國務大臣 只今ノ法律ニ依ラズシテ
出來ルカドウカト云フ事柄ニ付キマシテ
ハ、産業組合法、産業組合ノ組織カラ考ヘ
マシテ、其意味ニ於テ方針ヲ立テ、ヤリマ
ス場合ニハ、是ハ相當統制ノ行ハレルモノ
ト考ヘテ居リマス、併シ是ガ事實ニ於テ之

ニ反スル結果ヲ生ズル虞ノアル場合ニハ、
之ニ對シテ適當ナ處置ヲ執ラナケレバナラ
ヌ、是ダケ申上ゲテ置キマス

ソレカラ一例トシテ御話ニナリマシタ横
濱ノ方ニ産業組合ガ大キナ精米工場ヲ建テ
ルト云フコトニ付テハ、私モ當時サウ云フ
コトヲ聞イタコトガアリマスガ、是ハ全ク
無イコトデアルト云フコトニ承知シテ居リ
マス

○中村委員 成程産業組合ニ對シテハ、監
督官廳ガ許可スル何等カノ手段ガアリマス
カラ、サウ云フ點カラ言ヘバ、一應今ノヤ
ウナ行届キガ出來ルカノヤウニ思ハレマス
ケレドモ、最初組合ヲ認可スル時デアレ
バ、オ前ノ組合デハ、定款ニ是ト之ヲ記載
シテ、是以外ノ事ハヤッテハイカヌゾ、此
定款ノ範圍内ニ於テ許可シテヤルト云フ
コトハ出來ルカモ知レマセヌガ、既ニ
許可ヲ受ケテ産業組合ノ事業ヲ完全ニ
行ッテ居ル、而モ其定款ニハ何等禁止規定
ノナイ所ノ産業組合ガ——販賣組合ガ全
國ニ八千有餘モアルノデアリマスカラ、
事後的ニ之ニ對スル所ノ制限ト云フモノ
ハ私ハ極メテ困難デアルト思ヒマス、是
ニ於テカ私ハ此産業組合法ノ改正案ト本
法トヲ同時ニ私ハ提案スベキモノデアル、

是ノミヲ先ニ提案シテ來ルト云フコトハ、

吾々議員ガ何ダカ當局ニ瞞著ヲセラルルヤ
ウナ氣持ガシテナライノデアリマス、モッ
ト議員モ安心ノ行クヤウナ、社會人モ安心
ノ行クヤウナ、當業者モ安心ノ行クヤウナ
モノニシテ此處ニ出シテ戴キタイ、斯様ニ
考ヘテ居リマス、序ニ私實ハ外ノ委員ノ方
カラ資料ノ提出ヲ求メラレテ居ルコト、思
ヒマスカラ、或ハ重複シタラソレハ御勘辨
ヲ願ヒタイノデアリマスケレドモ、今戴イ
テ居ル材料ニハ私ノ考ヘテ居リマスモノハ
アリマセヌノデ、二、三此機會ニ申上ゲテ
置キマス、當業者トノ協議會ノ經過竝ニ結
果ニ關スル御書面……聽書ヲ是非戴キタイ
ト思フノデアリマス、ドウ云フ經過竝ニ結
果ニナッテ居ルカ、ソレカラ農林省ニ産業
組合ノ模範定款ト云フモノガアルサウデア
リマス、各組合ガ出來ル場合ニハ其定款ヲ
ソレノ配布シテ其定款ニ依ラシムルト云
フ模範定款ガアルサウデアリマス、其定款
ニハ私共一大缺陷ガアルヤウニ思ッテ居リ
マスノデ、此模範定款ト稱シテ農林省ガ頒
布シテ居ルノ一部ヅ、戴キタイト思ヒマ
ス、ソレカラ産業組合ノ役員ノ報酬別ノ表
デアリマス、例ヘバ年俸五千圓ガ何人、四
千五百圓ガ何人、四千圓ガ何人ト云フヤウ

ナ大體ノ區切ヲシタ表ヲ戴キタイ、昨年ノ

議會デモ出テ居ルヤウデアリマスガ、其後
變化ガアリマスカラ新タニ戴ケレバ結構ダ
ト思ヒマス、ソレカラ産業組合長及副組合
長ニシテ組合員以外ノ者ノナッテ居ルモノ、
産業組合ノ定款及産業組合法ニハ組合長及
副組合長ダケハ組合員デナクテモナレルト
云フ規定ガアリマス、ソレニ依ッテナッテ居
ル組合長、副組合長ハ全體デ何人アリマス
カ、ソレカラ當テ官吏デアッタ人デ、組合
長副組合長ニナッテ居ル人ガ何人アリマス
カ、之ヲ一ツ表ニシテ資料トシテ御提供ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○服部委員 只今ノ質問ニ關聯シテ……

○東委員長 簡單ナラ許シマス

○服部委員 勿論質疑ハ順ヲ逐ウテ申上ゲ
ルコトニ致シマスガ、其質疑ニ當ッテ必要
デアルト考ヘマスカトガ今中村委員ヨリ
發セラレマシタノデ、其質疑ニ對スル農林
大臣ノ御答辯ノ中ニ於キマスル事柄ニ付テ
一、二承ッテ見タイト思フノデアリマス、
先程中村君ノ質疑ノ中デ販賣組合ノ代行規
定ニ依ッテ統制米ヲ精白シテ小都市ニ進出
致ス場合ニ於テハ、米穀業者ガ非常ナル脅
威ヲ受ケル結果トナリハシナイカト云フ意
味ノ御質疑ガアッタノデアリマス、之ニ對

シマシテ農林大臣ハ本案ノ實施ノ曉ニ於テ適當ナル處置ヲ執ルト云フ意味ノ御答ガアツタト思ヒマス、其適當ナル處置トハ如何ナル處置ノコトヲ言ハレルノデアリマスカ、私ハ最モ産業組合ノ問題ト中小商業者ノ現狀トニ理解深キ農林大臣デアリマスカラ、アナタノ御在任中ノコトハ少シモ心配ハ要シナイト思フノデアリマス、併シ御在任幾百年モスルト云フコトノ出來ナイノハ固ヨリト言ハナケレバナラスト存ジマス、隨テ將來ハ的確ナル法規ニ依ッテ其運用ヲ定メテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、隨ヒマシテ其點ニ關シマシテハ如何ナル御考ヲ有デオキデニナリマスカ、即チ適當ナル處置トハドウ云フ意味ヲ御指シニナルノデアリマスカ、之ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス、尙ホ産業組合ノ精白ニ依ッテ都市ニ進出致シマスコトニ付テ中村委員ガ極メテ御心配ノヤウニ思フノデアリマス、横濱ニ於キマスル精白所設置ト云フコトガ可ナリヤカマシク言ハレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、火ノ無イ所ニ煙ガアルトハ考ヘラレナイト、私共ハ常識的ニ判斷ヲ致シマス、隨テ其實ハ全然ナイカドウカ、尙又唯單ニ横濱ニ於ケル問題ノミデナク、我國ノ如何ナル都市ト雖モ産業組合ノ

精白所ガナシト御認ニナッテオキデニナリマスカ、更ニ將來横濱ニ設置スルガ如キコトガ實現スル場合ニ於テハ如何ナル處置ヲ執ラレマスルカ、其點ヲ伺ヒタイト存ジマス

服部君ハ能ク實際ヲ御承知デアラウト思ヒマスカラシテ、其事ヲ統計ヲ舉ゲテ爭フト云フコトハ致シマセヌガ、現狀ニ於テハソシナコトハ大シテナイノデス、唯將來ト云フ問題デアリマスガ、現在ニ於テ既ニサウデアルシ殊ニ此代行團體、信用組合ニシマシテモ農會ニシマシテモ、代行團體ノ扱フ米ニ付キマシテハ、ヤハリ其方針ヲ以テ米商人ニ扱ハシムル、斯ウ云フ方針デ行クノデス、其モノニ付テ若シ是ガ必要デアルト云フ場合ニハ、是ハ命令ヲ以テヤラシメルコトモ出來ル譯デアリマスカラ、其點ニ付テハ何等サウ心配ニナル程度ノコトニナラスト思フノデアリマス、唯問題ヲ假定致シマシテ、サウシタラドウカ、サウシタラドウカト云フ場合ヲ想像シマスト、色々ナ想像ガアリマスケレドモ、先ヅ當局ト致シマシテハ、現狀ニ於テ、サウシテ産業組合ニ對スル政府ノ監督權ト言ヒマスカ、其モノ、運用ニ於テ誤リナキヲ期スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、組合法ノ改正案トカ、サウ云フモノヲ同時ニ出ス出サナイト云フ問題ニ付テハ考ヘナカタ次第デアリマス、監督權ヲ以テ出來ル、左様ニ信ジテ居リマス

洩シタ點ガアリマスカラ……
○東委員長 ズット本流デ行ッテ居ルノデスカラ、關聯事項バカリヤラレルト本流ノ方ガ困リマスカラ……
○中村委員 ソレデハ又私ノ時ニ……
○三宅委員 一寸資料ヲ御願シタイ、小作料ノ全國平均ノ反當リ及ビ各縣ノ小作料ノ平均ノ反當リ、其表ヲ戴キタイ、ソレカラ米作水田一反ニ對スル肥料代ノ反當リ、是モ年々違ヒマセウガ戴キタイ、ソレカラ農業要覽デモ戴ケバ直グアルデセウガ、時間ノ關係上書出シテ戴キタイノデスガ、農家ノ耕作反別ノ比較表ヲ戴キタイ、ソレハ後カラ議論ヲ致シマスル上ニ於テ、小作農ハ一町、自作農ハ五反以上ノ水田耕作者ト云フコトガ組合員ノ標準ダサウデアリマスカラ、其點ニ付テ必要デアリマスノデ、五反歩以下ノ小作農ノ戶數ガ何軒デ反別ガ幾ラ、ソレカラ五反歩以上一町歩マデノ同ジ表、ソレカラ一町歩以上一町五反マデノ同ジ表、一町五反以上二町歩マデノ同ジ表、二町歩以上二町五反マデノ同ジ表、ソレ以上ノモノ表、斯ウ云フヤウニシテ小作農ノ所謂耕作反別ノ區別ニ依ル戶數表及ビ其耕作反別ノ統計、ソレカラ同ジ統計デ、自作農ニ付テノ統計、及ビ自作兼小作デアリマスレバ、

精白所ガナシト御認ニナッテオキデニナリマスカ、更ニ將來横濱ニ設置スルガ如キコトガ實現スル場合ニ於テハ如何ナル處置ヲ執ラレマスルカ、其點ヲ伺ヒタイト存ジマス

○島田國務大臣 横濱ニ産業組合ガ工場ヲ拵ヘルト云フコトハ是ハ無イコトデアリマス、先頃私共サウ云フコトガアルカト思ッタノデスガ、全然無イコトデアッタト云フノデ、是ハ所謂「デマ」ト云フヤウニ承知シ現在モサウ云フヤウニ考ヘテ居リマスカラシテ、將來ト雖モ左様ナコトハナカラウ、斯ウ思ッテ居リマス、隨テ有ル場合ニト云フヤウナ意味デ、假定ヲ置イテ申上ゲルコトハ甚ダ困難デアルト云フコトヲ申上ゲマス、無イト思ッテ居リマス、ソレカラ只今ノ産業組合ガ都市ニ精白米ヲ拵ヘテ進出スル、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、既ニ省ト致シマシテハ此事ニ付テ注意スベキ事柄ヲ各地ノ産業組合ニ對シマシテ注意ヲ喚起シタ通牒ヲ出シテ居リマス、ソレカラ此自治管理ニ依ル統制ヲシタヤウナ場合ニ於キマシテ、其米ニ付キマシテハ是ハヤハリ大體——尤モ大體現狀ニ於テ組合ガ扱ッテ居リマス米ハ八、九割ト云フ程度マデハ商人ニ扱ハシテ居ルト云フ實狀ナンデス、是ハ

服部君ハ能ク實際ヲ御承知デアラウト思ヒマスカラシテ、其事ヲ統計ヲ舉ゲテ爭フト云フコトハ致シマセヌガ、現狀ニ於テハソシナコトハ大シテナイノデス、唯將來ト云フ問題デアリマスガ、現在ニ於テ既ニサウデアルシ殊ニ此代行團體、信用組合ニシマシテモ農會ニシマシテモ、代行團體ノ扱フ米ニ付キマシテハ、ヤハリ其方針ヲ以テ米商人ニ扱ハシムル、斯ウ云フ方針デ行クノデス、其モノニ付テ若シ是ガ必要デアルト云フ場合ニハ、是ハ命令ヲ以テヤラシメルコトモ出來ル譯デアリマスカラ、其點ニ付テハ何等サウ心配ニナル程度ノコトニナラスト思フノデアリマス、唯問題ヲ假定致シマシテ、サウシタラドウカ、サウシタラドウカト云フ場合ヲ想像シマスト、色々ナ想像ガアリマスケレドモ、先ヅ當局ト致シマシテハ、現狀ニ於テ、サウシテ産業組合ニ對スル政府ノ監督權ト言ヒマスカ、其モノ、運用ニ於テ誤リナキヲ期スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、組合法ノ改正案トカ、サウ云フモノヲ同時ニ出ス出サナイト云フ問題ニ付テハ考ヘナカタ次第デアリマス、監督權ヲ以テ出來ル、左様ニ信ジテ居リマス

洩シタ點ガアリマスカラ……
○東委員長 ズット本流デ行ッテ居ルノデスカラ、關聯事項バカリヤラレルト本流ノ方ガ困リマスカラ……
○中村委員 ソレデハ又私ノ時ニ……
○三宅委員 一寸資料ヲ御願シタイ、小作料ノ全國平均ノ反當リ及ビ各縣ノ小作料ノ平均ノ反當リ、其表ヲ戴キタイ、ソレカラ米作水田一反ニ對スル肥料代ノ反當リ、是モ年々違ヒマセウガ戴キタイ、ソレカラ農業要覽デモ戴ケバ直グアルデセウガ、時間ノ關係上書出シテ戴キタイノデスガ、農家ノ耕作反別ノ比較表ヲ戴キタイ、ソレハ後カラ議論ヲ致シマスル上ニ於テ、小作農ハ一町、自作農ハ五反以上ノ水田耕作者ト云フコトガ組合員ノ標準ダサウデアリマスカラ、其點ニ付テ必要デアリマスノデ、五反歩以下ノ小作農ノ戶數ガ何軒デ反別ガ幾ラ、ソレカラ五反歩以上一町歩マデノ同ジ表、ソレカラ一町歩以上一町五反マデノ同ジ表、一町五反以上二町歩マデノ同ジ表、二町歩以上二町五反マデノ同ジ表、ソレ以上ノモノ表、斯ウ云フヤウニシテ小作農ノ所謂耕作反別ノ區別ニ依ル戶數表及ビ其耕作反別ノ統計、ソレカラ同ジ統計デ、自作農ニ付テノ統計、及ビ自作兼小作デアリマスレバ、

ソレニ付テモ同ジ統計、是ダケノ資料ノ提出ヲ御願致シマス

○東委員長 永山君

○永山委員 本案ガ極メテ重大ナル地位ヲ持ッテ居ルト云フコトハ既ニ各種ノ質問ニ於キマシテモ了承サレルノデアリマスガ、何故ニ重大ナル地位ヲ持ッテ居ルノデアリマセウカト云フコトヲ私考ヘマスノニ、即チ自由經濟ノ組織ニ於キマシテ非常ニ農民ガ虐ゲラレテ居ルノデアリマス、弱者ノ地位ニ在ル所ノ農民ヲ、少クトモ商賣人ト同一ナル狀態ヘ引戻サウト云フ政策ノ現ハレノ一端デアアルガ故ニ重大ナル地位ヲ占メテ居ルノデアアルト私ハ思フノデアリマス、即チ自由組織ノ經濟デハ弱肉強食ガ行ハレテ居ルノデアリマス、此弱イ部門ノ農民、弱者ヲ救済スルト云フ政治、是ガ今日行ハレナケレバナラヌ政治ノ重點デアアルト考ヘルノデアリマス、現内閣ガ標榜サレテ居リマス國政一新ノ方針モ、所謂自由經濟組織ノ變革ヲナシテ國家權威ヲ以テ虐ゲラレテ居ル部門ヲ引上ゲヤウト云フ此政策ニ外ナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、此見地ヨリ眺メマシタ時ニ於テ、島田農林大臣ノ御答辯ハ極メテ躊躇逡巡サレテ居ルヤウニ考ヘラレマスコトヲ極メテ遺憾ニ思ッテ居ルノデ

アリマス、何人モ今日農村ハ商工業者ノ奴隸デアアル、工業者ノ方ノ豫備軍トシテ農村ハ置カレテ居ルノデアアル、對等ノ地位ニ置カレテ居ラナイノデアリマス、私ハ重農主義デ行ッテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲルノデハアリマセヌ、少クトモ同一ナル狀態ニ引戻スト云フ政策デナケレバナラスト思フノデアリマスガ、此米穀自治管理法案ハ米穀統制法案ノ補強案デアリマス、米穀統制法案ハ即チ虐ゲラレテ居ル農民ニ國家ノ權威ヲ以テ此生活狀態ヲ引戻サウト云フ一ツノ政策ノ現ハレデアアル、所ガ此米穀統制法ノ運用ノ結果ニ於キマシテモ、非常ニ缺陷ヲ見出サレタルコトハ申ス迄モアリマセヌ、先年豐作ノ際ニ於テ最低價格デ政府ヘ納入シ得ル所ノ權利ヲ農民ハ持ッテ居ルノデアリマス、ソレダケノ特典ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、ソレカラ農民ハナスコトガ出來ナカッタノデハアリマセヌカ、産業組合及ビ農會ノ手ヲ通ジテ政府ヘ納メ得タ米數量僅ニ三割五分デハアリマセヌカ、而モ産業組合、農會ハ商人ト結託ヲシテ三割五分ヲ納メテ居ルト云フ事實ヲ私ハ承知シテ居リマス、眞ニ農村ガ此最低價格デ政府ヘ納メ得ルコトガ出來ルト云フ其恩惠ニ浴シテ居ルモノハ一割内外デアアルト私ハ想像スル

ノデアリマス、斯様ニ統制法ノ缺陷ヲ補強サレルノデアリマスカラ、農林大臣ハ斷乎トシテ本案ノ通過ニ全力ヲ舉グベキデアアルト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ關シテ一二點御伺シタイト思フノデアリマス、經濟機構ノ變革ニ關スル問題デアリマスカラ、根本的ノ問題ニ觸レテ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマスガ、今日ノ經濟組織デ最モ缺陷ダト稱セラレルモノハ、中間商人ノ數ガ非常ニ多イト云フコトデアリマス、恐ラク世界ノ各國ヲ調べマシテモ、日本ノ如ク中間商人ガ多イ所ハナイデアリマセウ、生産者ト消費者トノ間ヘ介在致シテ居ル商人ハ、或ル學者ヲ以テ言ハセマス、五十分ノ一ニ減ズル必要ハナイカト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、即チ中間商人漸減ノ政策ヲ御採リニナルト云フコトガ消費者ト生産者トノ今日ノ配給關係ヲ最モ圓滑「スムーズ」ニスルモノデアアルト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ對スル答辯ヲ御願シタイト思フノデアリマス、中間商人即チ消費者ト生産者トノ間ニ介在シテ居ル商人、之ヲ漸減主義デ行クト云フコト、是ガ一ツノ重大ナル問題デアアルト私ハ思フノデアリマス、是ガ今日自由競争デ弱肉強食ガ行ハレテ居ル點ヲ是正スル所ノ大キナ政策ト考ヘ

ルノデアリマス、言フ迄モアリマセヌ、中間商人ハ一ツノ投機商デアアル、組織ノ缺陷ニ乘ジ、農民ノ極メテ無知ナル點ニ乘ジマシテ、サウシテ利潤ヲ莫大ニ得テ居ル所ノ商賣デアアル、私ハ之ヲ全面的ニ排斥スルモノデハアリマセヌ、即チ猶太人ガ排斥ヲ受ケルト云フコトモソレナンデアル、此意味ニ於キマシテ私ハ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、私ハ全國ノ總テノモノガ全部ノ消費者デアアルト思フノデアリマスカラ、生産ト消費トノ間ノ配給ヲ圓滑ニシ、其利潤ヲ少クスルト云フコトガ全國ノ人々ガ生活上生活ノ安定ヲ得ル上ニ於テ大切ナコトデアアルト考ヘテ居ルノデアリマスカラシテ、中間商人漸減ノ方針ニ對シマス農林大臣ノ御答辯ヲ御願シタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 社會組織トシマシテ、統計ニ現レル各種ノ業者、マア大別シマスト、農業、商業工業或ハ自由業等ニ別レル譯デアリマスガ、此業者ノ統計ニ現レテ居ル社會現象ヲ政治上ドウ云フ風ニ導イテ行ク方針デアアルカト云フコトニ付テハ、是ハ國ノ事情ニ依リマシテハ左様ナコトヲ根本ノ方針ニ樹テ、考ヘナケレバナラヌ場合モ無論アルト思フノデアリマス、例ヘバ我國

ニ於キマシテ農家ノ戸數ガ五百何萬戸アル、マア大數五百何十萬ノ戸數ガアル、之ヲ農村ノ現存ノ農家戸數ト致シマシテ、我國ノ國情カラシテ、此現在ノ農家ノ戸數ヲ其程度ヨリ減ラセテ、サウシテ農村ガ淋シクナルヤウニスルト云フコトニ付テハ、政府トシテモ考ヘナケレバナラヌト云フヤウナ事柄ガ隨分言ハレテ居ルノデアリマス、左様ナ事柄ハ無論議論トシテ之ヲ言ヒ、理想トシテ言フ場合ニ、方針トシテ考ヘル時ニ考ヘ得ラレナイコトデハナイノデアリマスルカラシテ、政治ニ關係スル者トシマシテハ、之ヲ考ヘザルヲ得ナイ場合モアルノデアリマスガ、併シ只今御話ノヤウナ意味ニ於テ、商人ガ日本ニハ多過ギルカラシテ、之ヲ漸減スルト云フヤウナ抽象的ナコトヲ以テ、直チニソレノ可否ヲ申上ゲルト云フコトハ、非常ニ困難ナコトデアラウト思フノデアリマス、固ヨリ生産者ト消費者ノ間ニ人類ノ社會ガアル以上ハ、其間ニ介在ヲシテ其生産者、消費者ノ間ヲ取次イデ、ソレヲ生業トシ、ソレヲ本旨トシテ居ル所ノ職業、即チ商業デス、サウ云フ者ガ生ジテ來ルコトハ當然ナコトデゾリマシテ、此社會機構ヲ全然排除スルコトノ出來ナイコトハ固ヨリデアリマシテ、而シテソコニドレ

ダケノ割合ニサウ云フモノガ出來上ッテ來ルカト云フコトハ、全國的ニモアリマセウ、又地方的ニモアルコトデアリマシテ、之ヲ或方針ノ下ニ如何様ニスルト云フコトハ困難ナコトデアアルノミナラズ、左様ナ方針ヲ政府トシテ立テテ、第一ニ商人ノ數ガ多過ギル、斯ウ云フ前提ヲ置クト云フコトハ政府トシテ隨分危險ナ肯定ダト考ヘマス、故ニ是ハ御互ニ政治ヲ議論スル上ニ於テノ研究ノ事項トシテ、政府ノ答辯トシテ此場合ニ之ニ付テ御答ヲスルコトハ留保ヲ致シテ置キタイト考ヘマス

○永山委員 私ハ中間商人ノ絶滅ヲ期ス目的デハナイノデアリマス、是ガ漸減ヲヤラナケレバナラヌト云フコトハ經濟機構ノ變革上、現代ノ時代相カラ見マシテ必然的ニ行ハレネバナラヌト云フヤウナ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、此場合御答辯ヲ差控ヘルト言ハレルコトニ對シマシテハ、別ニ追求ハ致サナイノデアリマスガ、已ムヲ得ズシテ、好ムト好マザルトヲ問ハズシテ、配給關係ニ居ル中間商人、少クトモ米穀商ノ如キモノハ自然的ニ減少シツ、アルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイノデアリマス、是ガ今日經濟機構ノ變革上必然的ニ起ル現象デアルト云フ此實在ヲ認メルナラ

バ、茲ニ御問ヲシタイト云フコトハ、此中間商人ノ特ニ社會機構ノ變革上犧牲的地位ニ在ル所ノ氣ノ毒ナル人々ニ對シマシテハ、當局ハ是ガ轉業ニ關シ特別ナル指導方針ヲ御持チニナッテ居ルヤ否ヤ、或ハ是ガ補償ニ關シテ相當ナル御考慮ヲ爲スノ意思アリヤ否ヤト云フ點ヲ第一ニ御伺致シタイノデアリマス、同時ニ第二ノ點デ御伺致シマスコトハ、農業方面ノ重要農産物ノ配給關係デアリマス、重要農産物ノ配給ガ舊來中間商人ノ手ニ依ッテ行ハレテ居ル爲ニ、多數農民ガ其利潤ヲ詐取サレテ、生産費ニ償ハナイ所ノ、洵ニ安價ナル所ノ價ヲ以テ投賣ヲシテ居ッタト云フ其事實ヲ農林大臣ハ御認メニナルカ否カデアリマス、中間商人ノ漸減方針ニ對シテ明答ヲ得ルコトガ出來ナイ私ハ、第二ノ點、即チ農村ノ疲弊ノ大キナル問題ハ中間商人ノ利潤、詐取、即チ農民ガ無智デアアル缺陷ニ乗ジマシテ行ハレテ居ル所ノ此利潤詐取ト云フコトニ依ッテ、生産費ニ償ハナイ所ノ農産物價デ投資ヲスル狀態ニアル、此現狀ヲ御認メニナルカ否カデアリマス、私ハ恐ラク此點ニ對シマシテ農林大臣ハ御認メニナラナイトハ御言ヒニナラヌダラウト思フノデアリマス、然ル時ニ第二ノ質問ヲ發シテ見タイノデアリマ

スガ、サウナルト結局此販賣機關ヲ農民ガ握ル、農民ガ自治的ニ把取スルト云フコトガ農村更生ノ根本デハアリマスマイカ、中間機關ヲ農村ガ之ヲ持ツト云フ其原動力トナルモノハ何デアリマセウ、即チ農會ト産業組合デアラネバナラヌト私ハ思フノデアリマス、然ラバ其農會ト産業組合トノ將來ノ發展ニ對シマシテ、當局ハ動モスレバ本案ノ通過ヲ急ガレル爲ニ有ユル言質ヲ殘シ、産業組合ノ擴充強化ニ對シマシテ洵ニ不安ヲ懷カシムルノ言辭ガアルコトヲ私ハ遺憾ニ思フ者デアリマス、今日農村ハ働ケド働ケド食ヘナイノデアリマス、日給僅ニ五十錢ヲ以テ五人ノ家族ヲ養フテ居ル現狀ハ如何ニ思ヒマスカ、雪ノ降ル日ニ我ガ村ノ小學校ノ子供デモ外套ヲ著ラザル子供ガ三割アルデハアリマセヌカ(缺食兒童ノコトヲ知ラヌカト呼フ者アリ)護謨靴ヲ履キ得ズ學校ニ通フテ居ル現狀ヲ如何致シマスカ、教育ニ於テ稼グニ追付ク貧乏ナシト云フコトヲ言ッテ居リマス、然レドモ今日稼グニ追付ク貧乏ナシデヤナイ、幾ラ稼イデモ稼イデモ貧乏ニナッテ居ル、働イテ物ヲ作レバ、其作ッタ物ガ安クシカ賣レナイデハアリマセヌカ、此意味ニ於キマシテ、農會ヲシテ生産ノ統制ヘカヲ向ケサセナケレバナ

ラスト同時ニ、産業組合ヲシテ販賣ノ統制ヘカヲ向ケサセナケレバナラスト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ關シマシテ、農會即チ農民ノ自主團體デアル農會ト云フモノハ國家權威ヲ以テ統制サレテハ居ラヌ、公認サレテ居ル農會ト云フモノヲ、國家權威ヲ統制シテ、力強イモノニシテ、農會ヲシテ生産統制ノ中樞ニ成スダケノ施設ヲ爲サル御考ヲ御持チニナッテ居リマスガ、即チ國ニ於キマシテハ經濟更生町村ト云フモノヲ御作リニナッテ居リマスガ、經濟更生町村ヲ全國ノ町村ハ擴張ラレマシテ、農會ヲシテ之ヲ統制シテ經濟更生ノ案ヲ樹立サセ、此案ニ依ッテ生産ノ統制ヲ爲スダケノ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカドウカ、今日ノ經濟更生ノ結果ハドウ云フコトニ陷ッテ居リマスガ、當局ノ指導方針ハ生産増ト消費減デアリマス、物ヲ澤山作リナサイト云フ宣傳ト、質素儉約ヲナサイト云フ二ツノ宣傳デオヤリニナッテ居リマス、物ヲ澤山作ル生産増ト消費減、故ニ益、過剰生産ニ陥ルト云フ状態デアルデハアリマセヌカ、私ハ生産制限ヲ主張スル者デハアリマセヌ、生産ハ之ヲ増サナケレバナラヌ、ケレドモ増スニ付テハ販賣シテ利潤ヲ得ル物ヲ増サナケレバナラヌノデアリマス、

ス、即チ外國ヘドン／＼ト出テ居リマス所ノ諸種ノ農産物ノ生産増ヲ圖リ、諸外國カラ入ッテ居ル所ノ農産物ニ對シマシテ助長獎勵ヲ爲スト云フ方法ヲ以テ行クナラバ、尙ホ多クノ生産増ヲヤラナケレバナラヌ點ガアルノデアリマス、然ルニ當局ニ於テハ米穀自治管理法案乃至ハ米穀統制法案ガ出來シテカラ、農林省自體デ減反ナド、言ッテ居ルデヤアリマセヌカ、此法案ヲ通過サセンガ爲ニ農村ニ全面的ノ迫害ヲ加ヘントスルノ状態ニアルコトヲ私ハ遺憾ト思ッテ居ル、即チ農會ヲシテ販賣統制ノ實ヲ舉ゲシメントスレバ、少クトモ今日帝國農會ガ主張シテ居リマス如ク、農會技術員ニ半額國家ガ補助スベキデアリマセウ、或ハ慾ヲ言ヘバ全額補助ヲ爲シ、國家統制ノ權ヲ握ルベキデアル、斯クシテ生産統制ノ具體案ヲ作ッテ一絲不紊、ドノ地方ニ於テハ綿ノ生産ニ力ヲ入レル、關西地方ニ於テハ除蟲菊ニ力ヲ入レヨ、長野縣方面ニ於テハ蔬菜ノ方ニ力ヲ入レヨトカ、即チ各農産物ノ生産統制ヲヤルベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマス

○東委員長 永山君、農林大臣ハ競馬法案ガ本會議ニ上程サレルノデ呼ビニ來テ居ルカラ、其邊デ段々切ッテ答辯ダケ農林大臣ニ願ッタラ如何デスカ

○永山委員 結構デス

○島田國務大臣 米穀商ガ漸減ノ實情ニアルガ、之ニ對シテ補償ヲスルトカ、或ハ何カ其救済ノコトニ付テ考ヘテ居ルカト云フヤウナ點ニ付キマシテノ御質問デアリマシタガ、私ハマダ正確ナ統計ヲ持ッテ居リマセヌカラ、米穀商ガ漸減シテ居ルト云ニヤウナ狀況ニアルト云フコトニ付テハ正確ニ申上ゲ兼マス、併ナガラ或ル業者ガ社會ノ實情ノ推移カラ漸増漸減スルト云フ場合ニ付テハ、是ハ機械的ニ政府ノ處置ニ依ッテ左様ナ結果ヲ生ズル場合ト、然ラザル場合トニ付テ考ヘナケレバナラスト思ウテ居リマスカラ、其事ニ付テハ更ニ事實ヲ取調ベマシタ上デ、或ハ其方針ヲ考ヘテ行ク場合ニ御答申上ゲル方ガ宜カラウカト思フノデス、ソレカラ重要農産物ノ配給ニ付テ生産者、消費者ノ間ニ於テ商人ガ搾取スル、斯ウ云フ意味ノ御意見デアリマス、是ハ言葉ノ使ヒ方ニ依ッテ色々ニナリマスガ、商業ト云フモノハ生産者ト消費者ノ間ニ介在シテ、其取次ヲスルコトヲ目的トシテ居ルモ

ノデアリマスカラ、此間ニ立ツ者ガ一方或ハ双方ノ利益ヲ搾取スルト云フ意味ニ、斷定的ナ結論ヲ與ヘルコトハ出來兼ネルヤウニ思ヒマスガ、凡ソ只今マデ永山君ノ御述ベニナリマシタ事柄ハ、此經濟機構竝ニ現時ノ經濟狀態ニ對スル永山君ノ御意見ト考ヘテ居リマスノデ、此御意見ニ對シマシテハ謹ンデ御意見ヲ拜聴致シマシテ、尙ホ之ニ付テ政府ノ執ルベキ處置ニ關シマシテハ、之ヲ參考ト致シマシテ研究ヲスルト、斯様ニ申上ゲル外ハナイカト思フノデアリマス

産業組合ニ付キマシテモ之ヲ擴大強化ト云フコトニ付テ、組合ノ使命ヲ忠實ニヤルト云フ意味ニ於テ産業組合ノ必要ナコトハ固ヨリ政府モ認メテ居リマスカラ、其意味ニ於テ擴大シ、其意味ニ於テ強化スルト云フコトニ付テハ政府ハ躊躇スルモノデモナイ、左様ニ思フノデアリマス、唯茲ニ注意スベキコトハ、ソコガ永山君ガ御不滿ノヤウデアリマスケレドモ、不當ナル擴大、不當ナル強化、斯ウ云フ意味ニナリマシタ場合ニ付テ、政府ハ注意シナケレバナラヌ、ソレガ此附帶決議ニ現レテ居ル趣意ト斯様ニ諒解ヲ致シテ居リマス、其點ダケハ弱イト云フ御言葉デアリマスケレドモ、サウデ

○島田國務大臣 永山君、一寸アナタノ質問ヲ其邊デ切ッテ戴キタイ、本會議ニ行カナケレバナリマセヌカラ……

ナイ、正シイ意味ニ於テ發達セシムルコト
ガ最モ或ハ強イ意味デアラウト、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス、ソレダケヲ申上ゲテ
置キマシテ、一寸本會議ノ方ニ行キマスカ
ラ少シ失禮致シマス

○東委員長 今拓務大臣ノ出席ヲ要求シテ
居リマスガ、若シ拓務大臣ガ出席サレ、バ
永山君ノ質問モアリマシタシスルノデ、其
質問ヲ繼續シテ、サウシテ適當ナル時間ガ
参リマシタナラバ、成ベク本日ハ散會スル
ヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○三宅委員 進行ノ都合デスガ、事務的ノ
質問ガ二、三アリマスノデ、ソレヲ大臣ガ
居ラレヌ時ニヤッテシマッタドウデスカ
○東委員長 結構デス、元來永山君ノ質問
ガ終ッタトスレバ今度ハ三宅君ノ順序ニナ
テ居ルノデス——三宅君

○三宅委員 ソレデハ二、三ノ點ニ付テ事
務的ノ質問ヲ致シマス、本法ハ米穀法ヲ施
行シ、之ヲ第一次ニ改正シ、第二次ニ改正
シ、米穀統制法トナリ、米穀自治管理法ト
ナッテ來タノデアリマスガ、米穀法時代ニ
國庫ノ受ケマシタ損失ガ、昭和八年末ニ二
億三千萬圓餘アッタト承知シテ居ルノデア
リマスガ、是ハ一般會計ニ移シテ切捨テラ
レタノデスカ、ドウデスカ、此點ヲ一寸參

考ニ御同致シマス

○荷見政府委員 米穀統制法ヲ施行致シマ
ス時ニ、丁度二億二千萬圓程度ノ缺損ガア
タカト思ヒマスガ、ソレハ特別會計ガ其儘
引續キ負擔シテ居ル譯デアリマス

○三宅委員 サウシマス、現在三億ニ近
イ損害ガアルト言ハレテ居リマスガ、ソレ
ハ當時ノ二億二千萬圓ヲ加ヘテ稍、三億ニ
ナッテ居ルト云フ風ニ諒解シテ宜シイノデ
スカ、サウスレバ米穀統制法ニナッテカラ、
殆ド損害ハナイト云フ風ニ見テ宜イノデス
カ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマ
スカ

○荷見政府委員 只今ノ損害ハ三億圓程ニ
ナッテ居リマセヌ、詳シク申上ゲマスガ、ア
ノ計算推定ハ大體二億五千何百萬圓、六千萬
圓バカリニナッテ居ルカト思ヒマス、而シテ
其損失ノ中ニハ只今申シマシタ二億二千
萬圓ト云フモノガ加ハリマスカラ、統
制法ニナリマシテカラノ御話ノヤウニ損失
ノ金額ハ極メテ少クナッテ居リマス

○三宅委員 サウスルト米穀統制法ニナ
テカラノ損失ト云フモノハ甚ダ少イノダカ
ラシテ、損失ガ將來非常ニアルカラト云フ
コトヲ杞憂サレテノ外地米ノ統制ヲ含シ
米穀自治管理法ヲ作ルト云フコトハ非常ニ

意味ガ輕イヤウニ考ヘルノデアリマスガ、
其點ハ如何デアリマスカ

○荷見政府委員 ソレハ偶、昭和八年ニハ
非常ナ多額ノ米穀證券ヲ發行致シマシテ米
ヲ買ッタノデゴザイマスガ、九年十年ト二箇
年間、是ハ又異常ナル凶作デゴザイマシテ、
隨テ政府所有米ノ處分モ相當數量進ミマシ
タ結果、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリ
マスカラ、斯ウ云フ事ガ必シモ常態ノヤウ
ニアルトハ考ヘラレマセヌノデ、ヤハリ平
年作以上ノ豐作ガ参リマスレバ可ナリ國庫
ノ負擔ハ増加スルコトト思ヒマス、唯僅ニ
米穀統制法ヲ施行致シマシテカラ二三年ノ
間デアリマスノデ、其間偶、斯ウ云フ狀態
ヲ生ジタノデアリマスガ、原則ト致シマシ
テ普通ノ場合ニハ左様ナ輕イ經費デハ中々
行キ惡イデハナイカト考ヘテ居リマス

○三宅委員 是ハ今度ノ法律ノ解釋デ決
テ居ルヤウナ事デアリマスガ、勅令デ決メ
テ居ラレマスル小樽デアルトカ、名古屋デ
アルトカ、十箇所位ノ大都市ヲ除キマシタ
其他ノ地方ニ於テハ米穀商ノ統制組合ト云
フモノハ絶對ニ出來ナイ譯デスカ、今回ノ
法律デ行キマスレバ……

○荷見政府委員 サウ云フ譯デハゴザイマ
セヌガ、大體米穀商ノ組合ナドヲ作リマス

ニハ大キナ商人ガ多數居リマス所デ設ケマ
スルコトガ適當ト考ヘラレマシタノデ斯様
ナ狀態ニナッテ居リマス、此外ニモ必要ニ應
ジマシテハ又増加致ス都合ニナルト考ヘテ
居リマス

○三宅委員 第四十二條米穀自治管理委員
會ノ組織デゴザイマスガ、米穀自治管理委
員會ト云フモノハ組織、權限、構成ハドウ
云フコトニナッテ居リマスカ、ソレヲ一ツ御
同致シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 大體權限ハ此法律ニ書イ
デアリマスヤウナ事ガ主ニナッテ參ルモノ
ト思ッテ居リマス、詰リ四十一條第一項ノ米
穀需給推算及統制スベキ米穀ノ數量竝ニ同
條第三項ノ割當ト云フヤウナ事ガ諮問ヲ受
クベキ事項ノ主ナモノダト思ヒマスガ、其
他必要ガアリマスレバ他ノモノモ加ハルコ
トト考ヘテ居リマス、ソレカラ組織ハ大體
午前中御手許ニ差上ゲマシタ勅令ヲ以テ命
令ニ規定スベキ主要事項案ノ所ニ、第四十
二條第二項ノ勅令事項ト致シマシテ、關係
官廳高等官、學識經驗者等ヲ以テ之ヲ組織
スト云フコトニナッテ居リマスノデ、是ガ具
體的ニ書キマス時ニハ法文化スルコトニナ
ルト考ヘテ居リマス

○三宅委員 サウシマス、是ハ意見ニナ

リマスケレドモ、私意見ヲ申述ベテ當局ノ御意向ヲ承テ見タイト思ヒマス、私共ハ米穀統制法、竝ニ今度ノ法律モサウデゴザイマスガ、特ニ米穀統制法ノ政府ノ豫期セラレナカタ所ノ大キナル效果ト云フモノハ、所謂今日飯米ニ困テ居リマスル農民及ビ一般ノ勤勞大衆ニ對シマスル屢ナル貸下、拂下、交付等ガ、是ハ私ハ或ル意味ニ於テハ僅カ統制法ガ施行サレテ六、七千萬圓ノ金ヲ以テ食糧暴動等ヲ阻止シタト云フ程ニ大キナ一ツノ社會政策トシテノ效果ガアッタト思フノデアリマス、此點ハ反對スル立前ノ方ノ御意見ヲ聽イテ居リマシテモサウデゴザイマスケレドモ、貧農ニ對スル所謂米穀統制法竝ニ米穀自治管理法案ト云フモノガ實ハ却テ桎梏ニナルノデヤナイカト云フ點ガ屢々指摘サレテ居ル、是ハ私ハ米穀統制法ノ改正等ヲ行ハナイ限リニ於テ、此指摘ハ明ニ其意所ヲ衡イテ居ルト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ學識經驗者ノ中ヘモト廣ク一項ヲ加ヘラレテモ宜シイシ、或ハ學識經驗者ヲ廣ク解釋シマシテモ宜シイノデアリマスガ、非常ナ耕作反別ノ少イ勤勞農民及ビ勤勞者ノ利害ヲ代表シ、其意見ヲ反映シ得ル者ヲ此自治管理委員會ノ中ヘ加ヘラレルト云フコトハ非常ニ必要ナコト

デヤナイカ、ソレニ依ッテ折角重農政策トシテ行ハレマスル而モ米屋其他ニ對シマシテ是ダケノ反對ガアリ相當ノ苦痛ヲ忍ンデ御承認ヲ願ハナケレバナラヌ法規トシテ、實際貧農ニ對シテ役ニ立タナクテハ仕樣ガナイノデアリマスカラ、其運用ニ對シテ其意見ガ反映シマスカラ、御考慮ヲ願ヒマスコトガ極メテ必要ダト思フノデアリマス、此點ハ後カラ大臣ガ來マスレバ申上ゲルノデアリマスケレドモ、今日マデノ農林省ノ所謂農村振興政策ト云フモノハ地主本位デアル、是ハ否定スベカラザル事デアリマシテ、單リ私共ガ之ヲ指摘スルバカリデナシニ、例ヘバ民政黨ノ村松久義君ノ本會議ニ於ケル質問ニモソレヲ言デ居ラレル、是ガ今日ノ農村政策ノ致命的ノ缺陷デアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其點ニ於テモ一ツ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ是ハ私ノ無智ヲ暴露スルノデアリマスガ、朝鮮ニ於ケル含音ト云フノハ一體ドウ云フモノデスカ

○荷見政府委員 小作地ノ管理人ヲ云フノダサウデアリマス

○三宅委員 サウスルト支配人デスカ

○荷見政府委員 簡單ニ申上ゲルト土地ノ差配人ダサウデアリマス

○三宅委員 是ハ私共想像デ申上ゲルノデアリマスガ、例ヘバ東京アタリニ不在地主ガ非常ニ澤山居ル、華族ナドガ利權トシテ取ッテ居ル、政治家ガ利權トシテ取ッテ居ル、ソレ等ノ植民地的ナ大農場ニ於ケル其不在地主ノ番頭ガ含音デスカ、露骨ニ言ヘバ：

○荷見政府委員 内地人ニハ無イサウデアリマス、朝鮮人ノ地主ノ差配ヲシテ居ル者ダサウデアリマス

○三宅委員 スンナモノモ入レナケレバナラナカタカモ知レスト思ヒマスケレドモ、私ハ立法技術トシテモ初メ讀ミマシテ何ノ事カ薩張り分ラナカタノデス、第二條デスガ、命令ヲ以テ指定スル、之ニ準ズル者ハトナッテ居ルノデスカラ、何ヲ一體命令デ指定サレルノカ、含音ナラ含音ト御書キニナリマスレバ直グ分ルノデアリマスケレドモ、命令ヲ以テ指定スル、之ニ準ズル者ト云フコトデ、何カ色々ノモノガ入ルノデハナイカト私共ハ誤解ヲシテ居ッテ、特ニ斯ウ云フ事ハ渡邊サンナドハモット誤解サレ、ドウセ悪ク、解釋サレルノデスカラ、非常ニ誤解ヲ招キマス(笑聲)斯ウ云フコトハ攻撃材料ニナル、能ク一ツ立法技術トシテオ氣ヲ付ケテ願ヒタイト思ヒマスルシ、ソ

レカラ私今聞イタゲノ話デ能ク分リマセヌケレドモ、含音ナント云フモノヲ加ヘルコトガ適當カドウカト云フコトニ付キマシテモ、私ハ疑問ヲ持ツ者デアリマス

ソレカラ今度ハ自治管理法デナシニ、統制法第二條デアリマス、本會議デモ御説明ニナッタガ、能ク意味ガ分ラナカタガ、第二條ノ「政府ハ第一項ノ最低價格ノ決定ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得」ト云フ意味ハ、斯ウ云フ意味ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、例ヘバ最低價格ヲ決定致シマスルノニ、十一月ニ於ケル最低價格ハ二十二圓ナラ二十二圓、ソレカラ十二月ニナリマス、金及ビ保管料ガ入ルカラシテ二十二圓五上ツ錢ニナル、斯ウ云フコトデ一定ノ標準ヲ以テ、月ニ依ッテ段々上ゲテ行カレル、ソレハ出來秋ノ買上米ガ政府ニ殺到スルコトヲ防グト云フ意味モアッテ、サウオヤリニナルモノト解釋シテ宜シイノデアリマスカ、ソレデ間違ヒナイトスレバ、一體保管料及ビ倉敷料ハ月別幾ラ位ヅ、上ゲテ行カレテ、一番高イ時ハ幾ラニナルノカ、斯ウ云フ點ヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 是ハ大體御尋ノ通りノヤウナ筋合ナンデゴザイマスガ、簡單ニ御説

明ヲ申上ゲマス、米穀生産費ヲ調査ヲ致シマシテ、ソレヲ公定價格ノ決定ニ使ヒマスル關係上、公定價格ハ毎年十二月ニナラナイト決リマセヌ、ソレデ十二月ニ最低價格ガ決ルノデゴザイマスルガ、ソレガ假ニ石當リ二十四圓ト決ツタモノト致シマス、只今御問ヒノ通りニ、金利及ビ保管料ノ合計額ガ、例ヘバ一月十錢デゴザイマスレバ、一月ガ二十四圓十錢ニナリ、二月ハ二十四圓二十錢、三月ハ二十四圓三十錢トナル譯

デゴザイマシテ、是ハ出廻期ニ於テ、一般ニ安心ヲ與ヘマシテ、投資ヲ防止スル、又政府ヘノ申込等モ之ニ依ッテ取急イデ賣ラナクテモ、金利、保管料ガ掛ツタダケハ加ハルカラ宜シイト云フヤウナ考カラ、出來テ居ルコトト承知致シテ居リマス、是ガ一箇月何程ニナリマスかと云フコトハ、只今チヨット明確ニ申上ゲラレマセヌハ、金利等ノ關係ガ色々ニ變リマスル關係モゴザイマスノト、又保管料等モ、是ガ又時々ニ増減致シマスノデ、大體其ノ決定シマスル時ノ金利保管料ト云フヤウナモノヲ見マシテ、別々ニ決メテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマシテ、只今何ボト申上ゲルコトハ困難デゴザイマス

○三宅委員 サウシマスルト、其點ハ了解

致シマシタガ、永山君ガ本會議デモ御質問ニナッテ居リマシテ、是モ一ツノ大キナ眞理ト思ッテ居ルノデアリマスルガ、十二月ニ決ル、ソレデ十一月ニ出來マシタ米ヲ直グ一ツ政府ヘ買ッテ吳レト云フ時ニハ前年度ノ最低價格デ買ハレルノデスカ

○荷見政府委員 ソレハ前年度ノ最低價格デ買ハレルコトニナリマス、併シ其前年度ノ最低價格ハ作柄等ガ同一デアリマス、ヤハリ十二月カラ始マリマシテ一二三ト三箇月分ハ金利及ビ保管料ヲ加ヘタモノニナッテ居リマスノデ、ソレガズツ新シイ公定價格ガ決リマスマデ繼續致スコトニナリマスノデ、十一月ノ最低價格デ買ハレルコトニナッテ居リマス

○三宅委員 永山君ノ演說ノ中ニモアッタノデスガ、十一月若クハ十月ノ末頃ニ早稻ヲ作リマシテ換金急ギラ致シマスル、金ノ手取ガ欲シイ爲ニ、早稻ヲ作ッテ商人ニ投資ヲシテ居ルノガザラニアル、之ヲ救ハナケレバ駄目デヤナイカト云フ話ガアッタ、全クサウデアル、サウ云フ點ガ政府ノ米穀政策ノ致命的ナ弱點デアリマシテ、全クサウデアリマスガ、ソレデ十月末ナリ十一月マデニ出來マシタモノハ、今申シマシタヤウナ基準デ、ヤハリ政府デハ最低價格ナラ買

上ゲテ吳レルノデアリマスカ

○荷見政府委員 只今申上ゲマシタノハ、最低價格デ買上ゲル時ニハ、前年度ノ最低價格ニ依ルト云フコトヲ申上ゲタ譯ニナルノデゴザイマスガ、御話ノヤウニ、早稻米ヲ作ッテ早ク賣出ス者ガゴザイマス、是ハ御承知ノ通りニ八月ノ末頃カラ九月十月ト所謂早場地方ノ米ガ市場ニ出ル譯デゴザイマスガ、作柄ガ同ジモノデゴザイマス、其頃ハ大體ニ於テ端境ニ接近致シマスノデ、出來秋ヨリハ可ナリ有利ニ賣レルコトガ多いコト、是マデモ考ヘテ居リマス、尤モ次ノ年ガ豐作デ、米價ガ非常ニ下落致シマスル場合ハ最近屢「ゴザイマシテ、サウ云フ場合ニハ御話ノヤウニ非常ナ不利益ナンデス、併シ何レニ致シマシテモ、其時ノ買上價格ハ、政府ノ最低價格ニ依ッテ新シイ米モ買入レ得ルコトニナリマス

○三宅委員 有難ウゴザイマシタ

○東委員長 ソレデハ農林大臣ノ出席モ不可能デアルト思ヒマスシ、拓務大臣モ今出席ヲ要求致シマシタケレドモ出席出來マセヌ、本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前正九時カラ更ニ開會致シマス

午後五時散會

昭和十一年五月十二日印刷

昭和十一年五月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社